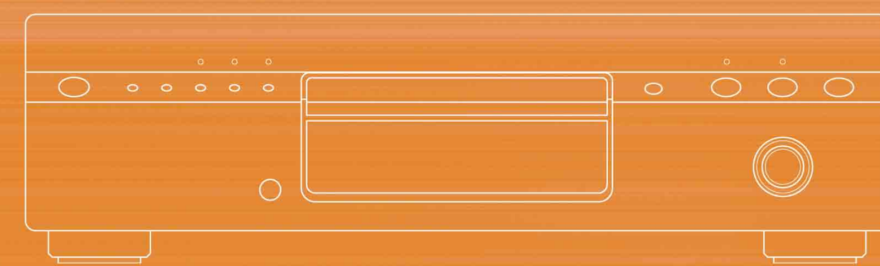
SONY

2-633-249-04(1)



CD/DVDプレーヤー

DVP-NS9100ES

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX ……………………… 0466-31-2595
受付時間　：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

Printed in Malaysia

目次

使用上のご注意

設置について

次のような場所には置かないでください。

- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。その場合は離して使用してください。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

ディスクを入れたまま、本機を動かさないでください。ディスクを入れたまま動かすと、ディスクを傷めることがあります。

電源コードを抜くときは

本機がディスクの情報を読み込んだり、保存したりする場合があるので、常にデータが適切に保存されるよう、スタンバイモードに設定してから電源コードを抜いてください。

音量を調整するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調整すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。演奏を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再び電源を入れ直してから使ってください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

クリーニングディスク、ディスククリーナーについて

市販のレンズ用のクリーニングディスクやディスククリーナー（湿式またはスプレー式）は、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

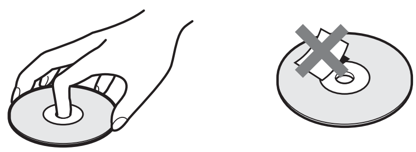
CD/DVDプレーヤーは、コンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、不具合が生じた時はすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

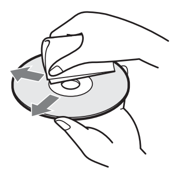
ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプラズマテレビやプロジェクションテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

ディスクの取り扱い上のご注意

- 再生面に手を触れないように持ちます。



- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。



- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- ラベル印刷したディスクは印刷面が乾いてからお使いください。

この取扱説明書の使いかた

- この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。
  リモコンと同じなまえの本体のボタンも同じように使えます。
- DVDビデオ、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RWを総称して「DVD」と表現することもあります。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
DVD-V	DVDビデオ/DVD-R/DVD-RW（ビデオモード）、DVD+R/DVD+RWで使える機能
DVD-RW	DVD-RW（VRモード）で使える機能
VIDEO CD	スーパービデオCD/ビデオCDまたはスーパービデオCD/ビデオCDフォーマットのCD-R/CD-RWで使える機能
Super Audio CD	スーパーオーディオCD（Super Audio CD）で使える機能
CD	音楽用CD/音楽用CDフォーマットのCD-R/CD-RWで使える機能
DATA-CD	CD-ROM/CD-R/CD-RWのMP3（エムピースリー）*音声とJPEG画像で使える機能

* MPEG（エムペグ）1 Audio Layer3：MPEG によって規定された音声のデジタル圧縮規格のひとつです。再生できる MP3 のサンプリング周波数は 44.1kHz と 48kHz です。

再生できるディスクについて

ディスクの種類	
DVDビデオ（74ページ）	DVD VIDEO
DVD-RW（74ページ）	DVD RW
スーパーオーディオCD（72ページ）	SUPER AUDIO CD
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO

「DVD VIDEO」、「DVD-RW」のロゴは商標です。

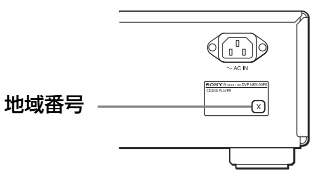
CDについてのご注意

本機では次のフォーマットで記録されたCD-ROM/CD-R/CD-RWを再生できます。
- 音楽用フォーマット
- ビデオCDフォーマット
- ISO9660*レベル1/レベル2/Joliet準拠のMP3音声またはJPEG画像
- コダックピクチャー CDフォーマット

* 国際標準化機構（ISO）が制定した CD-ROM の論理フォーマット。

再生可能なDVDの地域番号（リージョンコード）について

DVDには (2) のように地域番号が表示されているものがあります。表示中の数字は再生できるプレーヤーの地域番号を表しています。この表示に「2」が含まれていない、または (ALL) の表示のないDVDは、本機で再生できません。このようなDVDを再生しようとしたときは、「このディスクは地域制限により再生を禁止されています」と画面に表示されます。
また地域番号の表示がないDVDでも地域制限されている場合があり、本機で再生できないことがあります。



再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを再生できません。
- 前のページに記載されているフォーマット以外で記録されたCD-ROM/CD-R/CD-RW
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVD-ROM
- DVDオーディオ

次のようなディスクも再生できません。
- 本機では再生できない地域番号(リージョンコード)のDVDビデオ
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL/SECAM)対応のディスク(本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため)
- 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型など)をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕のあるディスク
- VRモードで記録されたDVD-R
- CPRM*対応のDVD-Rに録画した1回だけ録画可能な番組

* CPRM(Content Protection for Recordable Media)とは、1 回だけ録画可能な番組に対する著作権保護技術です。

DualDiscについて

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。
なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)の規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

DVD、ビデオCD再生操作について

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

著作権について

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW 再生時のご注意

CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW ドライブで記録されたディスクには、傷や汚れ、また記録状態や記録機、CD/DVD 書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。全ての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。
DVD+RW/DVD+R によっては、適切にファイナライズ作業がされていても本機のいくつかの再生機能が使えないことがあります。その場合には、ノーマル再生でご覧下さい。また、パケットライト方式で作成されたデータ CD には、再生できないものがあります。

CD 再生時のご注意

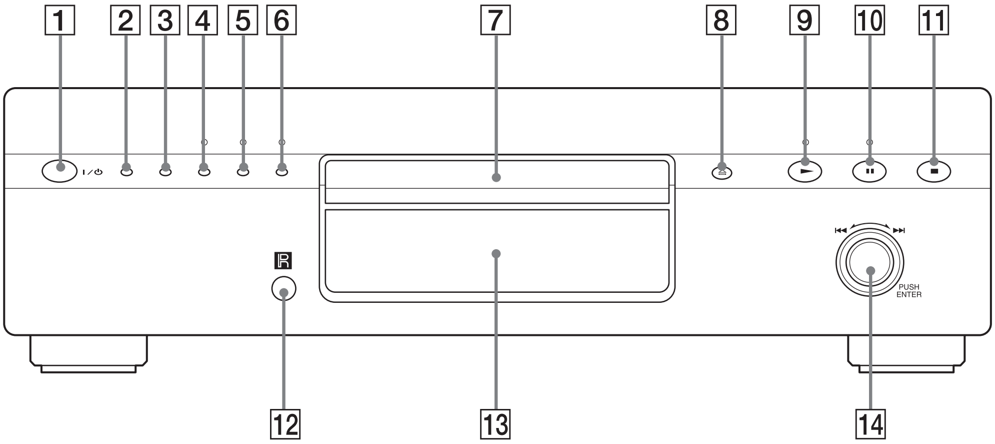
本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中には CD 規格に準拠していないものがあり、本製品で再生できない場合があります。

各部のなまえ

詳しい説明は（　）内のページをご覧ください。

本体前面

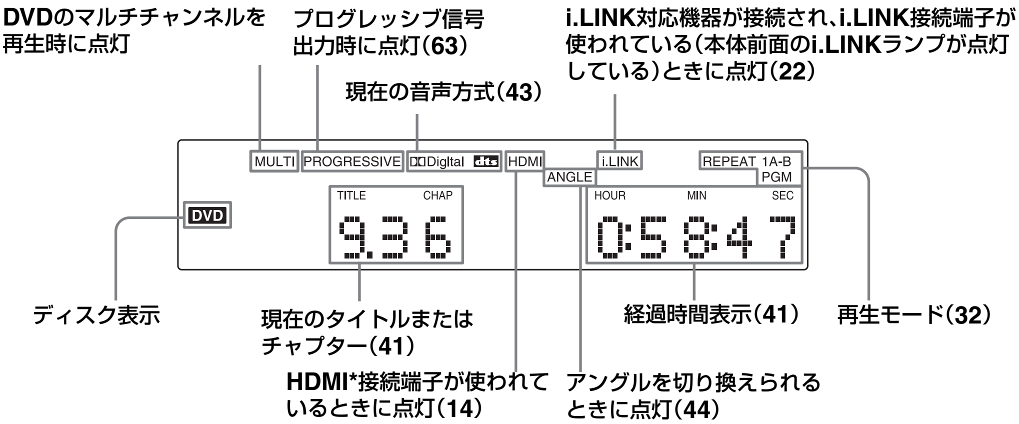
ランプの明るさは、DIMMER機能（8ページ）と連動しています。
「DARK」、「AUTO DARK」または「FL OFF」を選ぶと、ランプは暗くなります。



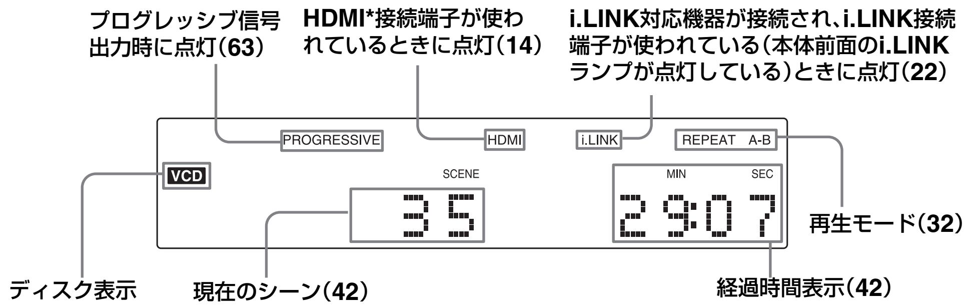
1	I/⏻（電源）ボタン（27）
2	MULTI（マルチ）/2 CH（チャンネル） ボタン（30）
3	SA-CD（Super（スーパー） Audio（オーディオ） CD）/CDボタン（30）
4	DIMMERボタン/ランプ（8）
5	VIDEO（ビデオ） OFF（オフ）ボタン/ランプ（27）
6	i.LINKボタン/ランプ（22）
7	ディスクトレイ
8	⏏（開/閉）ボタン（27）
9	►（再生）ボタン/ランプ（27）
10	❚❚（一時停止）ボタン/ランプ（28）
11	■（停止）ボタン（28）
12	🅁（リモコン受光部）（13）
13	表示窓（7）
14	⏮/⏭（前/次）/PUSH ENTERつまみ（28）

本体の表示窓

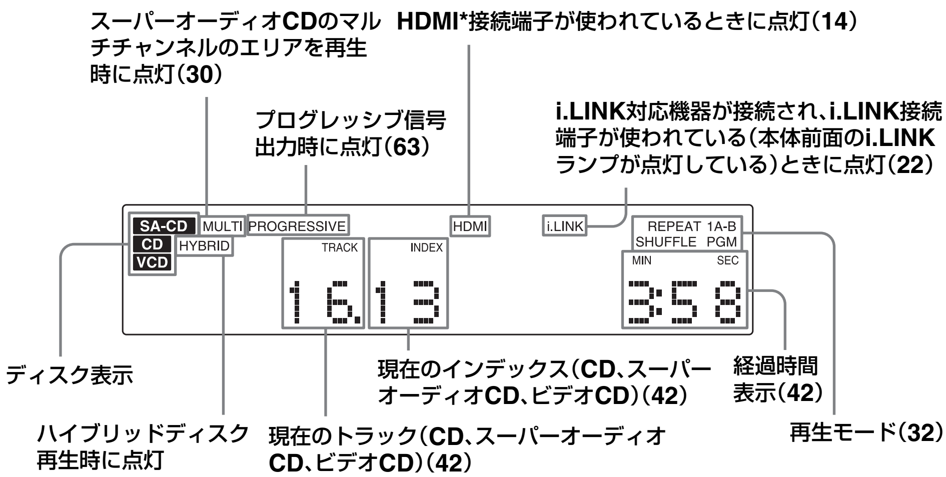
DVD ビデオ /DVD-RW 再生中



ビデオ CD の PBC（Playback Control）再生中（31）

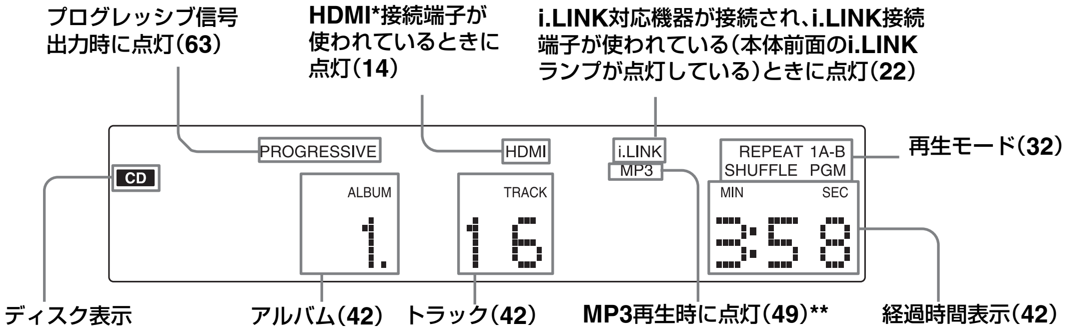


スーパーオーディオ CD/CD/ ビデオ CD 再生中（PBC 再生時以外）



つづく

データ CD（MP3 音声）再生中



* 本機は、HDMI（High-Definition Multimedia Interface）規格の Ver.1.1 に準拠しています。

DVD プレーヤーは、HDMI（HDMI™）技術を搭載しています。

HDMI、HDMI ロゴ、及び High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。

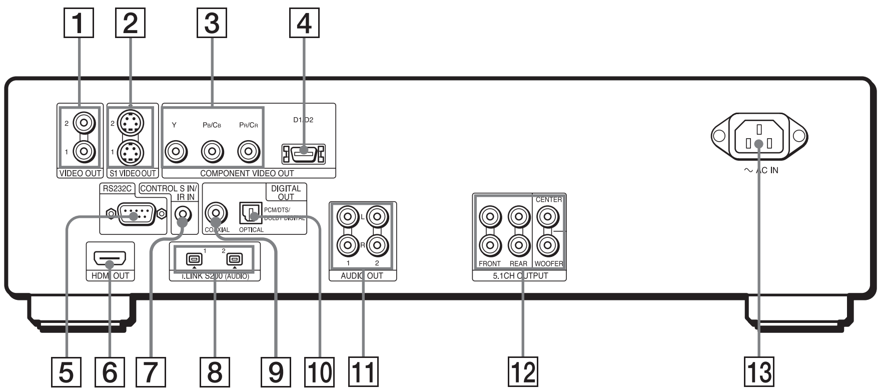
** JPEG 画像を再生しているとき、表示窓に「JPEG」が表示されます。

表示窓の明るさを調整するには（DIMMER機能）

本体のDIMMERボタンを繰り返し押して選びます。

- BRIGHT：明るくする
- DARK：暗くする
- AUTO DARK：しばらくの間操作しないときに暗くする
- FL OFF：本体の表示窓の表示を消す

本体後面



1 VIDEO OUT（1、2）（映像出力）端子（14）

2 S1 VIDEO OUT（1、2）（S1 映像出力）端子（14）

3 COMPONENT VIDEO OUT Y、PB/CB、PR/CR（コンポーネント映像出力）端子（14）

4 D1/D2端子

5 RS232C端子*

6 HDMI OUT（Hi-Definition Multimedia Interface out）端子

7 CONTROL S IN（コントロールS入力）/IR IN端子（14）

8 i.LINK S200（AUDIO）（音声）端子

9 DIGITAL OUT（COAXIAL）（音声デジタル出力（同軸））端子（18）（19）（20）

10 DIGITAL OUT（OPTICAL）（音声デジタル出力（光））端子（18）（19）（20）

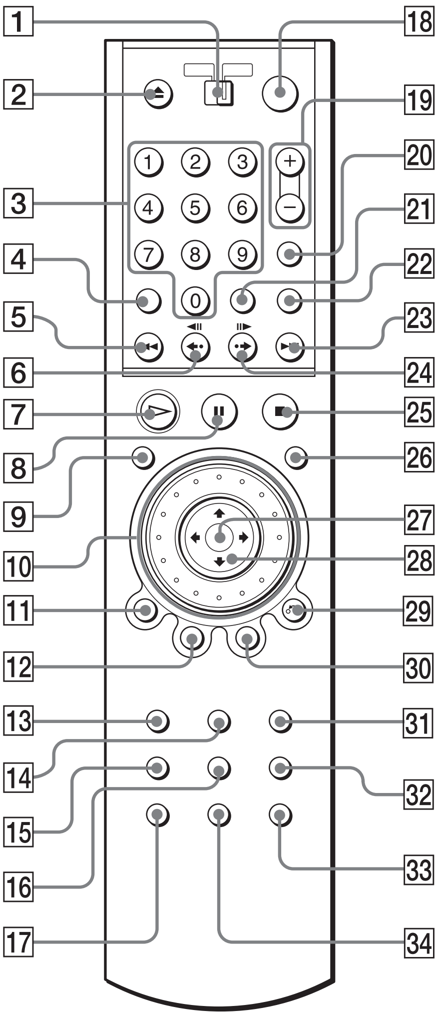
11 AUDIO OUT L/R（1、2）（音声出力）端子（17）（18）（19）

12 5.1CH OUTPUT端子（20）

13 AC IN端子（24）

* 保守、サービス用です。

リモコン



1	TV/DVDスイッチ（58）
2	⏏（開/閉）ボタン（28）
3	数字ボタン*（29） 数字ボタンは「5」のみ、凸点（突起）が付いています。
4	クリアボタン（32）
5	⏮（前）ボタン（28）
6	◀II ←•（ステップ/リプレイ）（28）（36）
7	▷（再生）ボタン*（27） ▷ボタンは、凸点（突起）が付いています。
8	II一時停止ボタン（28）
9	ピクチャーナビボタン（39）
10	クリックシャトル（36）
11	画面表示ボタン（10）
12	トップメニューボタン（29）
13	SA-CD MULTI/2CH（スーパーオーディオCD マルチチャンネル/2チャンネル）（30）
14	SA-CD/CD（スーパーオーディオCD/CD）ボタン（31）
15	ズームボタン（51）
16	くり返しボタン（34）
17	音声ボタン（43）
18	I/⏻（電源/スタンバイ）ボタン（27）
19	音量+/−ボタン*（58） 音量+ボタンは、凸点（突起）が付いています。
20	入力切換/時間/テキストボタン（40）（58）
21	決定ボタン
22	ワイド切換/i.LINKボタン（22）（58）
23	⏭（次）ボタン（28）
24	•→ II▶（アドバンス/ステップ）ボタン（28）（36）
25	■（停止）ボタン（28）
26	ジョグボタン（36）
27	決定ボタン（24）
28	←/↑/↓/→ ボタン（29）
29	⤺リターンボタン（28）（31）
30	メニューボタン（29）
31	ビデオオフボタン（27）
32	ビデオコントロールボタン（45）
33	アングルボタン（44）
34	字幕ボタン（44）

* 操作の目印としてお使いください。

コントロールメニュー画面の使いかた

コントロールメニューを使って、いろいろな機能の設定をしたり、情報を見たりすることができます。画面表示ボタンを繰り返し押すと、コントロールメニューは次のように変わります。

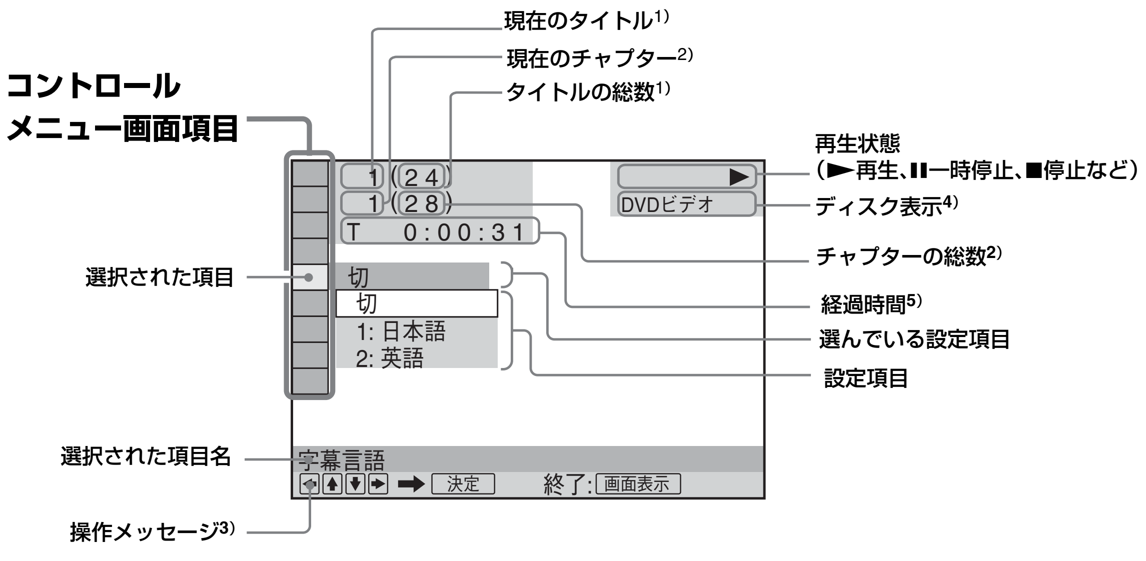
→ コントロールメニュー画面 1
↓
コントロールメニュー画面 2*
↓
コントロールメニュー画面　切

* コントロールメニュー画面 2 はディスクの種類によって、表示されない場合があります。

コントロールメニュー

コントロールメニュー画面1と2では表示される項目が異なります。また、項目はディスクの種類によって異なります。各項目の詳しい説明は、(　)内のページをご覧ください。

例：DVDビデオ再生時のコントロールメニュー画面1



1) ビデオ CD(PBC 再生時)のときはシーン番号、ビデオ CD/ スーパーオーディオ CD/CD のときはトラック番号、データ CD のときはアルバム番号が表示されます。

2) ビデオ CD/ スーパーオーディオ CD/CD のときはインデックス番号、データ CD のときは、MP3 音声のトラック番号または JPEG 画像番号が表示されます（JPEG 画像番号はコントロールメニュー画面 2 で表示されます）。

3) タイトル情報がディスクに含まれている場合、ディスクメモや CD テキストが表示されます。

4) スーパービデオ CD は、「SVCD」と表示されます。

5) JPEG 画像では日付が表示されます（日付はコントロールメニュー画面 2 で表示されます）。

コントロールメニュー画面項目一覧

項目	項目名・機能・対応するディスク	
	**タイトル（37ページ）/シーン（37ページ）/トラック（37ページ）** 再生するタイトルやシーン、トラックを選びます。	DVD-V DVD-RW VIDEO CD
	**チャプター（37ページ）/インデックス（37ページ）** 再生するチャプターやインデックスを選びます。	DVD-V DVD-RW VIDEO CD
	**アルバム（37ページ）** 再生するアルバムを選びます。	DATA-CD
	**トラック（37ページ）** 再生するトラックを選びます。	CD DATA-CD Super Audio CD
	**インデックス（37ページ）** 再生するインデックスを選びます。	CD Super Audio CD
	**ファイル（37ページ）** 再生するJPEGファイルを選びます。	DATA-CD *
	**日付（51ページ）** デジタルカメラでとった写真の日付を表示します。	DATA-CD *
	**オリジナル/プレイリスト（30ページ）** 再生するタイトルの種類を選びます。	DVD-RW
	**時間/メモ（37ページ）** 経過時間および残り時間を調べます。 タイムコードを入力して映像や曲を探します。 あらかじめ入力したディスクメモを表示します。	DVD-V DVD-RW VIDEO CD CD Super Audio CD
	**時間/テキスト（37ページ）** 経過時間および残り時間を調べます。 タイムコードを入力して映像や曲を探します。 DVDテキスト、スーパーオーディオCDテキストやCDテキスト、データCDのトラック名、ボリュームラベルを表示します。	DVD-V DVD-RW VIDEO CD CD DATA-CD Super Audio CD
	**マルチ/2CH（30ページ）** スーパーオーディオCDの再生エリアを切り換えます。	Super Audio CD
	**音声（43ページ）** 音声を切り換えます。	DVD-V DVD-RW VIDEO CD CD DATA-CD
	**字幕言語（44ページ）** 字幕を表示します。 字幕の言語を切り換えます。	DVD-V DVD-RW
	**アングル（44ページ）** アングルを切り換えます。	DVD-V
	**アドバンスト（42ページ）** 再生中のディスクの情報（ビットレート）を見ます。	DVD-V DVD-RW
	**視聴制限（55ページ）** 本機での再生を禁止する設定をします。	DVD-V DVD-RW VIDEO CD CD DATA-CD Super Audio CD

つづく

設定(60ページ)
クイック設定(24ページ)
簡易設定をします。
DVD再生時の字幕言語やメニューの表示言語や画像、音声の出力、使っているスピーカーの大きさについて設定します。
カスタム設定(60ページ)
簡易設定の項目に加え、さまざまな設定をします。
リセット
「設定」での設定内容をお買い上げ時の設定に戻します。
スリープ
設定した時間がたつと、本機の電源を自動的に切り、再生を止めることができます。
DVD-V DVD-RW VIDEO CD CD DATA-CD SuperAudioCD

全アルバム/1アルバム(32ページ)
「全アルバム」または「1アルバム」を選びます。
DATA-CD

プログラム(32ページ)
タイトルやチャプター、トラックを選んで好きな順に再生します。
DVD-V VIDEO CD CD DATA-CD** SuperAudioCD

シャッフル(34ページ)
タイトルやチャプター、トラックをランダム(無作為)な順番で再生します。
CD DATA-CD** SuperAudioCD

リピート(34ページ)
ディスク全体(全タイトル/全トラック/全アルバム)または1つのチャプター/トラック/アルバムだけを繰り返し再生します。
DVD-V DVD-RW VIDEO CD CD DATA-CD SuperAudioCD

A-Bリピート(35ページ)
再生したい部分を指定して、繰り返し再生します。
DVD-V DVD-RW VIDEO CD CD DATA-CD** SuperAudioCD

ビデオコントロール(45ページ)
本機からの映像信号を調整します。見たいプログラムに合った設定を選びます。あるいは色調や明るさ、その他について個別に詳しく設定できます。
DVD-V DVD-RW VIDEO CD DATA-CD *

スライド送り時間(53ページ)
画像が切り換わる間隔を選びます。
DATA-CD *

スライド効果(53ページ)
スライドショー中に画像が切り換わるときの効果を選びます。
DATA-CD *

音声映像選択モード(51ページ)
データCDを再生するとき、再生するデータの種類(MP3音声またはJPEG画像)を選びます。
DATA-CD

* JPEG のみ
**MP3 のみ

ちょっと一言
「切」以外を選んでいるとき、コントロールメニューアイコンが緑に点灯します。
→ (「プログラム」、「シャッフル」、「リピート」、「A-B リピート」のみ)。
その他のコントロールメニューアイコンは、次のとき緑に点灯します。
— 「アングル」:アングルを切り換えられるとき
— 「ビデオ コントロール」:「スタンダート」以外の設定が選ばれているとき
— 「オリジナル / プレイリスト」:「プレイリスト」が選ばれているとき
— 「マルチ /2CH」:「マルチ」が選ばれているとき

本機を接続する

手順1～6に従って、本機の接続や設定をします。

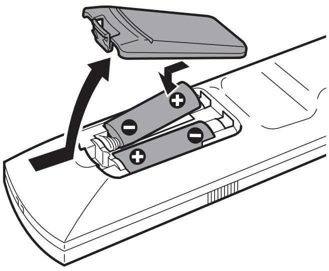
手順 1：付属品を確認する

次の付属品がそろっているかを確認してください。
- 電源コード（1）
- 映像音声コード（ピンプラグ×3 ←→ ピンプラグ×3）（1）
- リモコン（1）
- 単3形乾電池（R6）（2）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- 保証書（1）

付属品がそろっていないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

手順 2：リモコンを準備する

⊕と⊖の向きをリモコンの表示に合わせて、単3形乾電池（R6、付属）2個を入れてください。
本機を操作するときは、本機のリモコン受光部 ⧈ にリモコンを向けて操作してください。

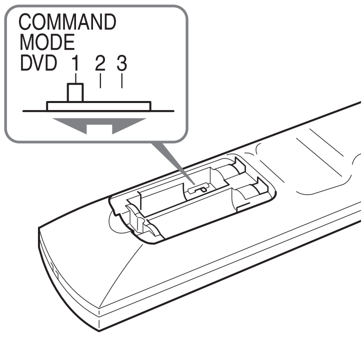


2台以上のソニー DVDプレーヤーをお持ちのときは

付属のリモコンに他のDVDプレーヤーが反応するときは、本機と付属のリモコンに他のDVDプレーヤーと違うリモコンモードを設定してください。
本機はお買い上げ時に「DVD1」に設定されています。

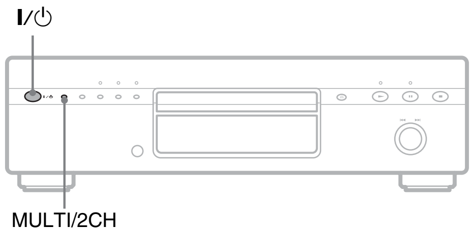
リモコンの設定を変えるには

1 リモコンの COMMAND MODE スイッチを切り換えて、コマンドモードを選ぶ。
他のDVDプレーヤーと違う設定にします。
例えば他のDVDプレーヤーが本機の付属リモコン（DVD1）に反応するときは、DVD2またはDVD3に設定します。

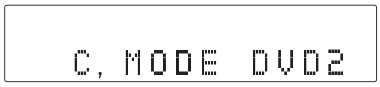


本体の設定を変えるには

1 本体の I/⏻ を押して電源を切る。



2 MULTI/2CHボタンを押したまま、I/⏻を押す。
本体の表示窓にコマンドモードが表示されます。

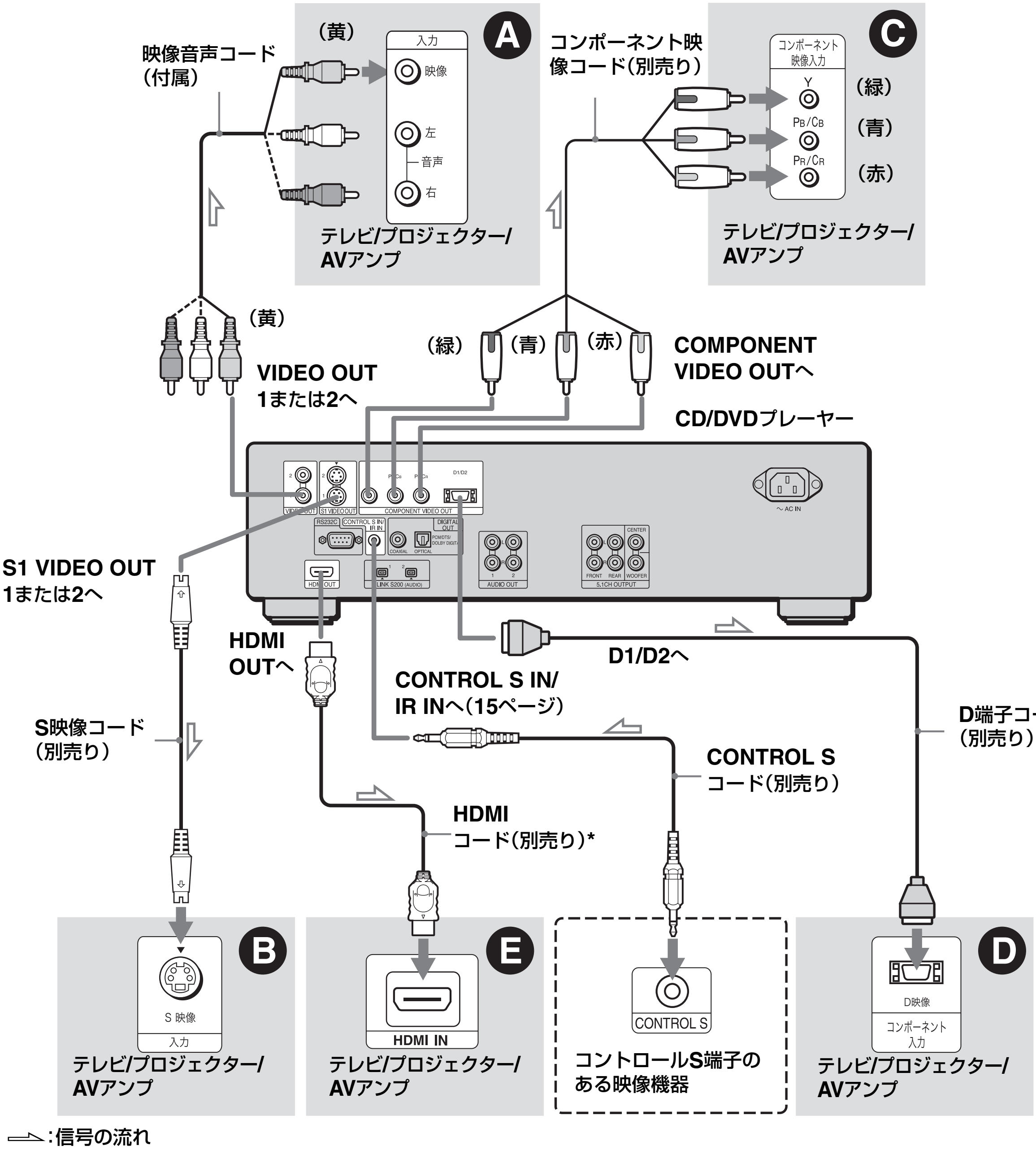


3 付属のリモコンと同じコマンドモードが表示されるまで、手順1～2を繰り返す。

ご注意
- 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 極端に暑いところや乾燥したところに置かないでください。
- リモコンのケースに異物を落とさないでください（特にバッテリーを交換するとき）。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部 ⧈ に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。
- 長い間リモコンを使わないときは、液漏れやさびを防ぐために、乾電池を取り出してください。

手順 3：映像 /HDMI コードをつなぐ

本機とテレビやモニター、プロジェクター、AVアンプなどを映像コードでつなぎます。お手持ちの機器の入力端子によって、Ⓐ～Ⓔの5種類のつなぎかたから1つ選んで接続します。
プログレッシブ（525p）方式に対応したテレビ、モニター、プロジェクターに接続して、プログレッシブ映像をお楽しみになる場合はⒸまたはⒹの接続をしてください。
HDMI入力端子を搭載したテレビ、プロジェクター、AVアンプを接続するときは、Ⓔの接続をしてください。
Ⓐ→Ⓔとなるにつれて、高画質になります。ただし、ⒸとⒹの画質は同等です。



* ソニー製のコードを使用してください。

ご注意
- ノイズや雑音の原因となるのでプラグは端子にしっかりと差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機はビデオ入力端子のないテレビとは接続できません。
- 接続する前にそれぞれの機器の電源を必ず切ってください。

Ⓐ 映像入力端子のある機器とつなぐ

映像音声コード(付属)の黄プラグを、黄(映像)端子につなぎます。



赤プラグと白プラグは音声入力端子とつなぐとき(17ページ)に使います。

Ⓑ S映像入力端子のある機器とつなぐ

S映像コード(別売り)を使ってつなぎます。



Ⓒ コンポーネント映像(Y、P_B/C_B、P_R/C_R)入力端子のある機器とつなぐ

コンポーネント映像コード(別売り)、または映像コード(別売り)の同じ種類で同じ長さのものを3本使ってつなぎます。輝度(Y)、色差(P_B/C_B、P_R/C_R)信号それぞれ独立して出力されるので、映像の本来の色を忠実に再現します。プログレッシブ(525p)方式に対応したテレビとこの接続をしたとき、「画面設定」の「コンポーネント出力」を「プログレッシブ」に設定してください。



Ⓓ D映像入力端子のある機器とつなぐ

D端子コード(別売り)を使ってつなぎます。



Ⓔ HDMI/DVI入力端子のある機器とつなぐ

HDMIコード(別売り)を使ってつなぎます。HDMI OUT端子で、より高画質なデジタル映像や音声を楽しめます。
スーパーオーディオCDの音声はHDMI OUT端子から出力されません。

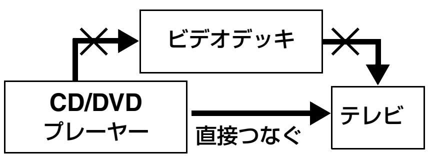


接続したテレビのアスペクト比を変えるには

ディスクやテレビの種類(標準4:3画面テレビまたはワイド画面テレビ)によって、映像がご希望の形に表示されないことがあります。表示画面を切り換えるには、62ページをご覧ください。

ご注意

- 本機とテレビの間にビデオデッキなどを接続しないでください。ビデオデッキを経由して本機の映像をテレビに映すと、画像が乱れることがあります。



- 本機をプログレッシブ(525p)方式に対応するテレビ等につなぎプログレッシブ出力したときに、画像の乱れなどの問題が生じた場合は、インターレース方式でご覧になることをおすすめします。本機とテレビの互換性に関しては、ソニーサービス窓口にお問い合わせください。

ちょっと一言

- DVI 入力端子でテレビに接続するには、HDMI-DVI 変換コード(別売り)を使ってつなぎます。DVI 端子は音声信号を受信しないため、この接続に加えて、音声コードの接続が必要です(16 ページ)。また、HDMI OUT 端子を HDCP に対応していない DVI 端子(例:パソコンの DVI 端子)には接続できません。
- コントロール S OUT 端子のあるテレビは、テレビに向かってリモコンを操作することで、本機をコントロールできます。テレビと本機を離れた場所に置いてあるとき便利な機能です。テレビに本機を、Ⓐ 〜 Ⓔ の方法でつないでから、コントロール S コード(別売り)で CONTROL S IN/IR IN 端子につないでください。詳しくはつないだテレビの説明書をご覧ください。

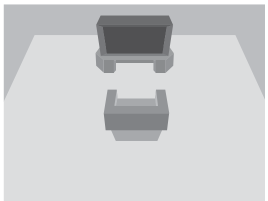
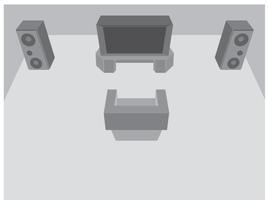
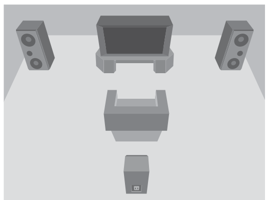
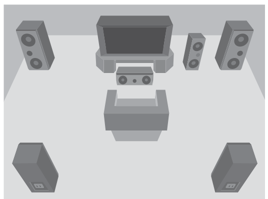
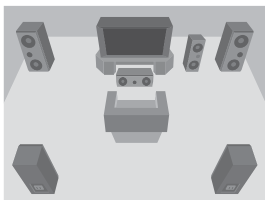


手順 4：音声コードをつなぐ

お手持ちの機器に応じた接続方法を選んで、音声コードをつないでください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続方法を選ぶ

A～E のつなぎかたから1つを選んでください。

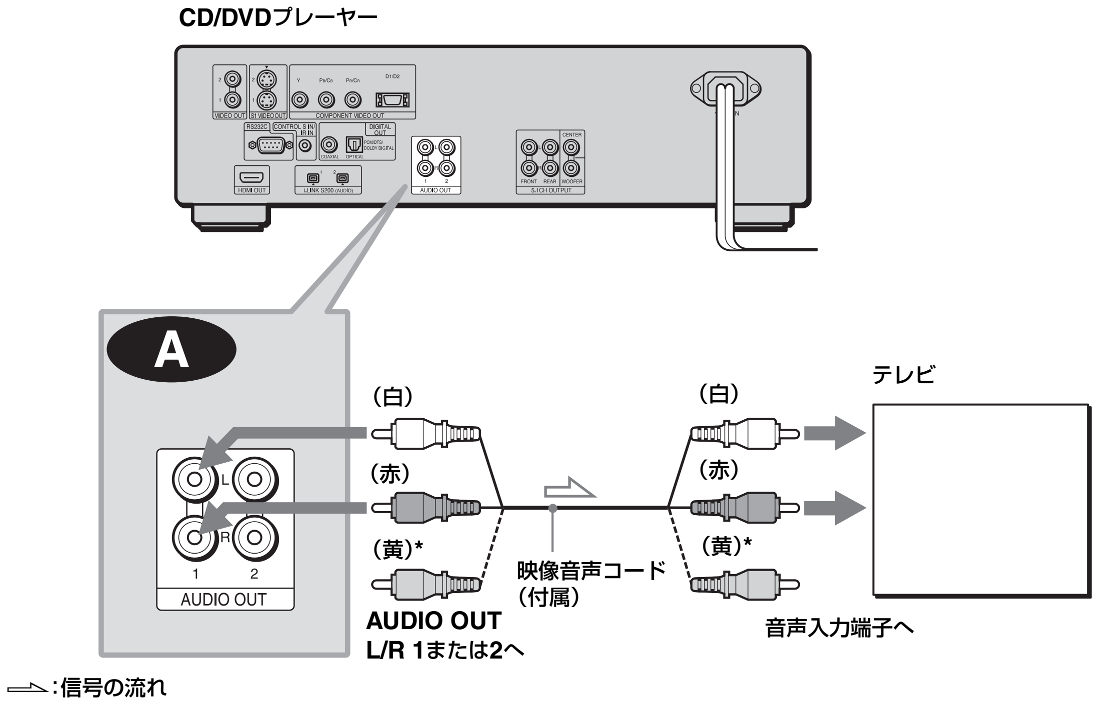
接続する機器	接続	接続（例）
テレビ	A（17ページ）	
ステレオアンプと2台のスピーカー MDデッキ/DATデッキ • サラウンド効果：なし	B（18ページ）	
ドルビー*サラウンド（プロロジック）デコーダー付きAVアンプと3～6台のスピーカー • サラウンド効果：ドルビーサラウンド（プロロジック）（73ページ）	C（19ページ）	
5.1チャンネル入力端子付きAVアンプと4～6台のスピーカー • サラウンド効果： ドルビーデジタル（5.1ch）（73ページ）、DTS（5.1ch）（74ページ）、 スーパーオーディオCDマルチ音声（72ページ） または ドルビーデジタルまたはDTS**付きAVアンプ（デジタル入力端子付き）と6台のスピーカー • サラウンド効果：ドルビーデジタル（5.1ch）（73ページ）、DTS（5.1ch）（74ページ）	D（20ページ）	
i.LINKコンポーネント（TA-DA9000ES/TA-DA7000ESのみ）	E（22ページ）	

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
** DTS および DTS Digital Surround は、デジタルシアターシステムズ社の商標です。

ちょっと一言
96kHz 対応のアンプとつなぐときは D のつなぎかたをご覧ください。

Ⓐ テレビとつなぐ

テレビのスピーカーから音を出すときの接続です。



* 映像音声コードの黄プラグは、映像入力端子とつなぐとき（14 ページ）に使います。

ご注意

i.LINKランプが点灯しているとき、i.LINK端子以外のすべての音声出力端子（HDMI OUT端子を含む）から音声は出力されません。

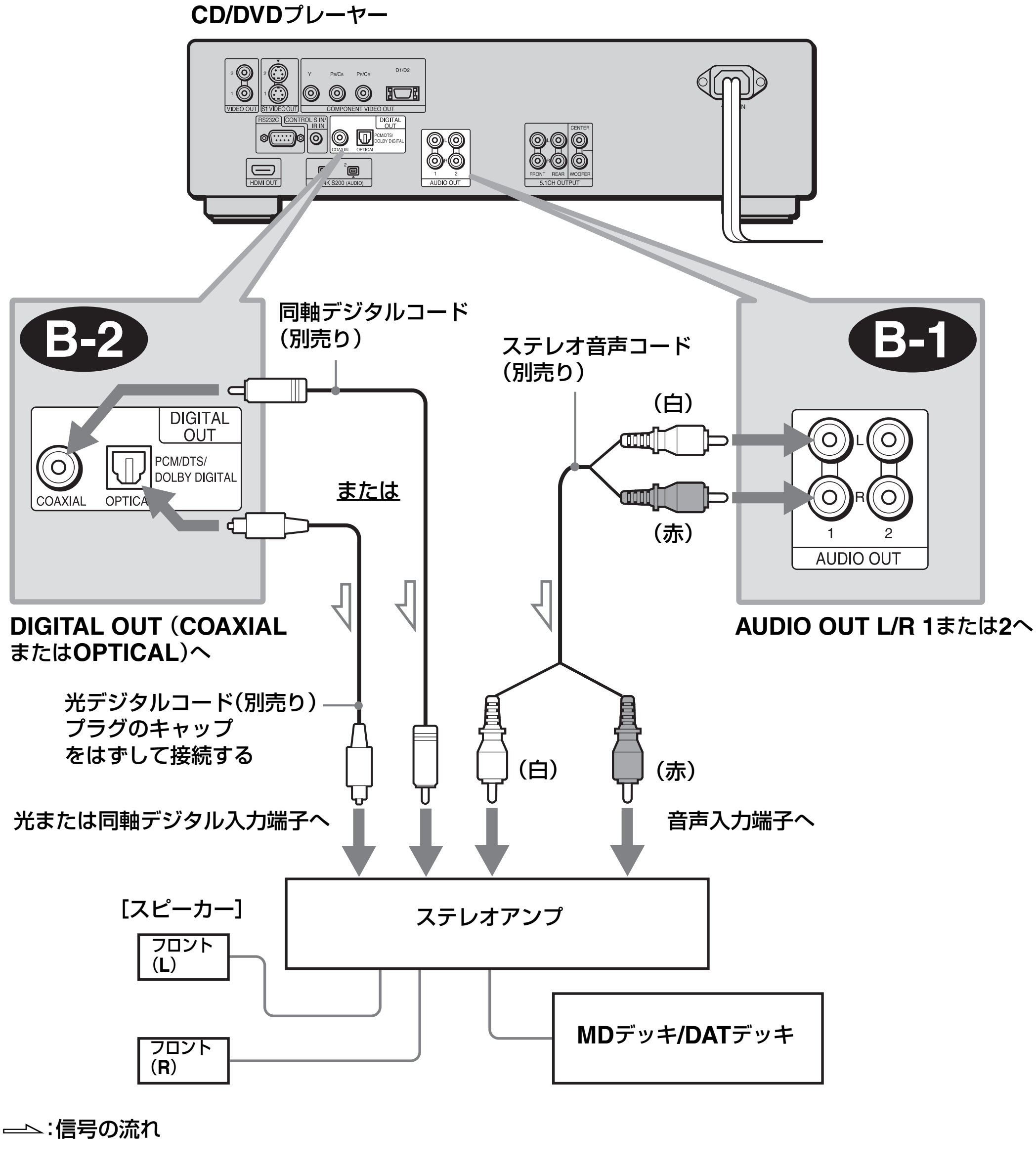
ちょっと一言

モノラルテレビと接続するときは、別売りのステレオ・モノラル変換コードを使います。本機の AUDIO OUT L/R 1 または 2 端子とテレビの音声入力端子をつなぎます。

つづく

B ステレオアンプと2台のスピーカーにつなぐ/MDデッキ、DATデッキとつなぐ

ステレオアンプの音声入力端子がL、RのみのときはB-1でつなぎます。
デジタル入力端子もついているとき、またはMDデッキやDATデッキとつなぐときはB-2でつなぎます。
アンプを経由せず、直接本機とMDデッキやDATデッキをつなぐこともできます。

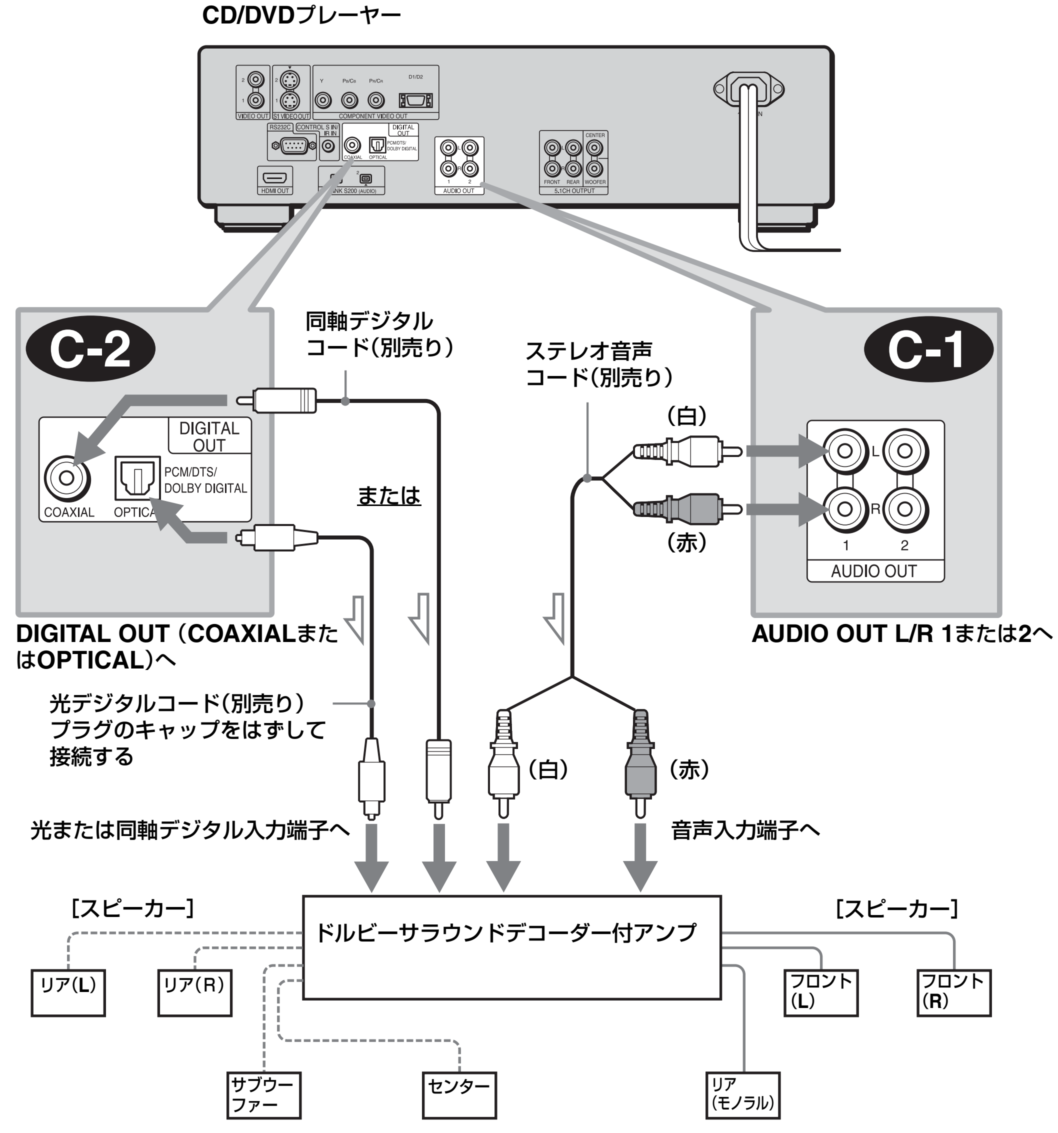


ご注意
- スーパーオーディオ CD は DIGITAL OUT（COAXIAL または OPTICAL）端子からは出力されません。
- i.LINK ランプが点灯しているとき、i.LINK 端子以外のすべての音声出力端子（HDMI OUT 端子を含む）から音声は出力されません。

ちょっと一言
充分な音声効果を楽しむために、リスニングポジションがスピーカーの間に位置するようにスピーカーを設置してください。

C ドルビーサラウンド(プロロジック)デコーダー付きAVアンプと3〜6台のスピーカーにつなぐ

ドルビーサラウンド音声、またはマルチチャンネル音声(ドルビーデジタル)を再生するときに、サラウンド効果が得られます。
アンプの音声入力端子が、L、Rのみのときは C-1 でつなぎます。
デジタル入力端子がついているときは C-2 でつなぎます。



:信号の流れ

ご注意

- 6台のスピーカーをつなぐときは、リア(モノラル)はつなぎません。
- スーパーオーディオ CD の音声は DIGITAL OUT (COAXIAL または OPTICAL)/HDMI OUT 端子から出力されません。
- i.LINK ランプが点灯しているとき、i.LINK 端子以外のすべての音声出力端子(HDMI OUT 端子を含む)から音声は出力されません。

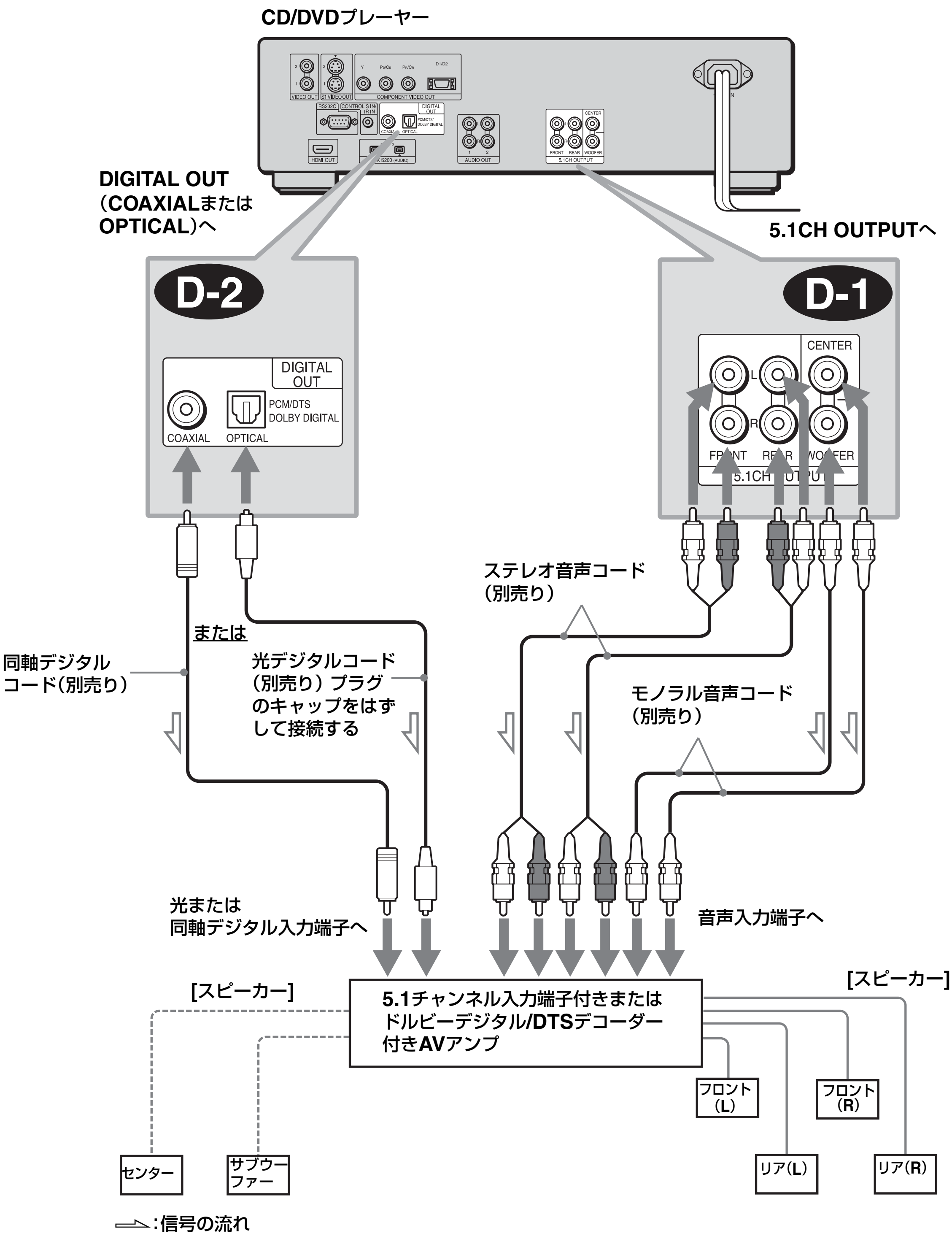
ちょっと一言

スピーカーの配置についてはつなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。

つづく

D 5.1チャンネル入力端子付きAVアンプと4～6台のスピーカーにつなぐ/ドルビーデジタルまたはDTS付きAVアンプ(デジタル入力端子付き)と6台のスピーカーにつなぐ

5.1チャンネル入力端子が付いているときは D-1 でつなぎます。
アンプにドルビーデジタルまたはDTSデコーダーが付いているときは D-2 でつなぎます。
ご自宅でより臨場感のある音像を楽しめます。



D-1 5.1チャンネル入力端子付きAVアンプと接続した場合

本機のドルビーデジタルまたはDTSデコーダーを使ったサラウンド音声や、スーパーオーディオCDのマルチチャンネルがお楽しみいただけます。

D-2 ドルビーデジタルまたはDTSデコーダーとデジタル接続した場合

お使いのアンプのドルビーデジタルまたはDTSデコーダー機能を使ったサラウンド音声がお楽しみいただけます。

ご注意

- i.LINK ランプが点灯しているとき、i.LINK 端子以外のすべての音声出力端子（HDMI OUT 端子を含む）から音声は出力されません。

D-2 接続した場合

- この接続をしたときは、クイック設定で「ドルビーデジタル」を「ドルビーデジタル」に、「DTS」を「DTS」にします（24 ページ）。
- 96kHz に対応したアンプにつないでいるときは、設定画面の「オーディオ設定」で「48kHz/96kHz PCM」を「96kHz/24bit」にしてください（66 ページ）。
- スーパーオーディオ CD の音声は DIGITAL OUT（COAXIAL または OPTICAL）/HDMI OUT 端子から出力されません。

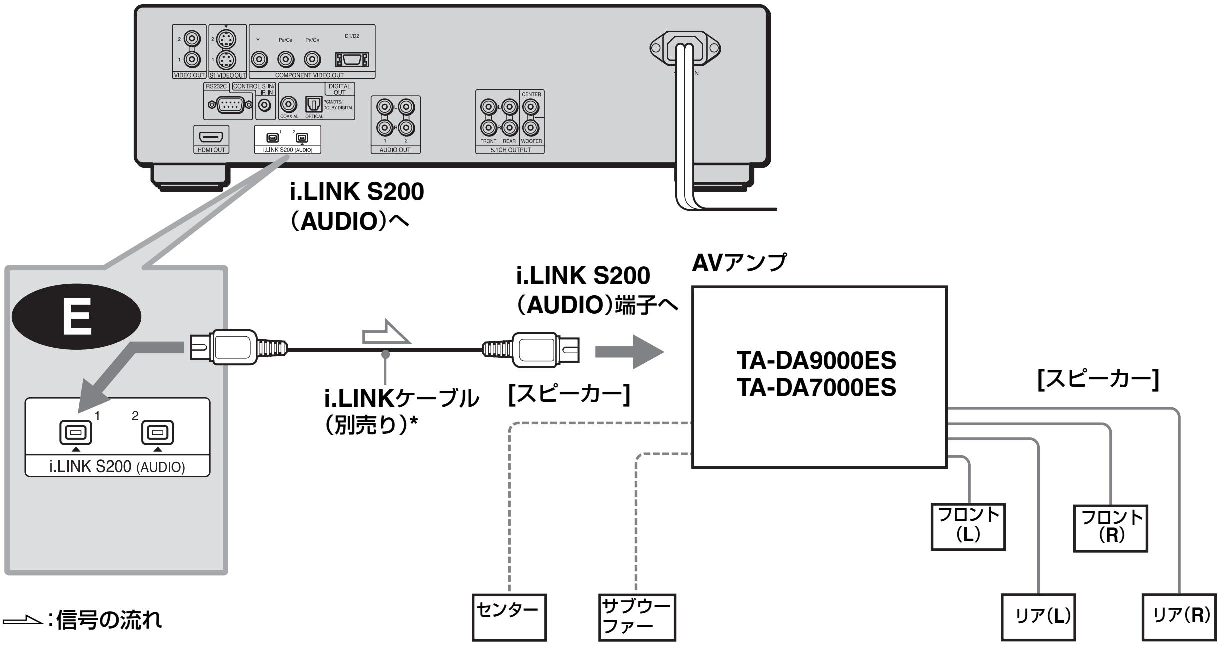
ちょっと一言

- スピーカーの配置についてはつなぐ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 充分なサラウンド音効果を楽しむために
  — 高品質のスピーカーをお使いください。
  — フロントスピーカー、リアスピーカー、センタースピーカーは同サイズ、同品質のものをお使いください。
  — サブウーファーはフロントスピーカー（右）とフロントスピーカー（左）の間に設置してください。

つづく

Ⓔ i.LINK端子のある機器につなぐ

TA-DA9000ES/TA-DA7000ESはi.LINKケーブル（別売り）を使って本機とつなぎます。
本機のi.LINK端子はTA-DA9000ES/TA-DA7000ESとの接続のみ対応しています。
i.LINK端子のあるソニー製他機器への接続について、詳しくは各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。



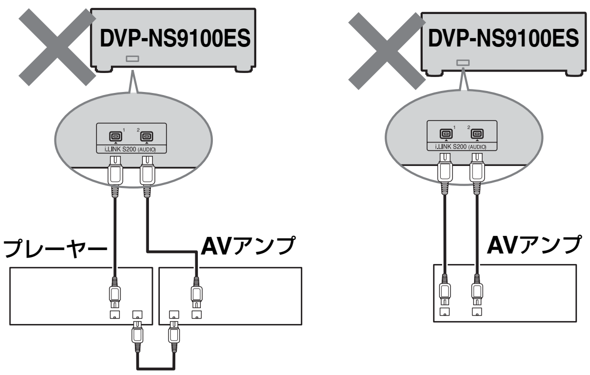
* ソニー製の i.LINK ケーブルを使ってください。

i.LINKを使って接続するには

停止中にi.LINKボタンを押して、i.LINKランプを点灯させます。接続をやめるには、i.LINKボタンをもう一度押します。

ご注意

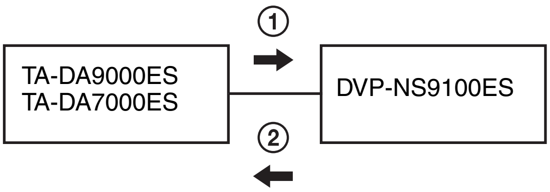
- 本機は TA-DA9000ES または TA-DA7000ES のみ、i.LINK でつなぐことができます。本機は、i.LINK の機能を一部制限しているため、TA-DA9000ES または TA-DA7000ES 以外と i.LINK 接続した場合は正常に動作しないことがあります。
- i.LINK で音声信号を入力する機器のみ、本機とつなげます。映像信号を扱う機器、PC 関連機器または他の AV アンプはつなげません。
- 本機の電源を切っているとき、または i.LINK ランプが消えているときは i.LINK 接続できません。
- i.LINK 表記のない IEEE1394 関連機器の音声信号は送受信できません。
- 他社の AV アンプ、i.LINK 音声出力付き DVD プレーヤー、スーパーオーディオ CD/CD プレーヤーと接続した場合の動作については保証していません。
- i.LINK S200（AUDIO）端子に金属が触れるとショートし、接続した機器にトラブルが生じる場合があります。
- プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な接続は誤動作の原因となります。
- i.LINK 対応機器の中には、コピー･プロテクション技術に対応し、暗号化した信号を扱う機器があります。本機は DTLA のコピー･プロテクション技術（Revision1.3）に対応しています。
- 本機が i.LINK S200（AUDIO）端子から音声信号を出力できる状態のとき、表示窓の「i.LINK」が点灯します。
- i.LINK ランプが点灯しているとき、i.LINK 端子以外のすべての音声出力端子（HDMI OUT 端子を含む）から音声は出力されません。
- 接続が輪（ループ）にならないようにつないでください。



「LINCする」とは？

i.LINK対応機器間をi.LINKケーブルで接続しただけでは、音楽信号の送受信をすることはできません。音楽信号を送信する機器と受信する機器をLINC（Logical INterfaceConnection）する必要があります。「LINCする」とは、送受信を行う機器間に「音楽信号の論理的な経路を確立する」ことを意味します。この論理経路には識別番号があり、送信側はこの経路に音楽信号を出力し、受信側はこの経路の音楽信号を入力します。送受信を行う機器は、この経路を互いに知っている必要があります。LINCするとき、i.LINK対応機器間で、以下のようなやりとりが行われます。

例
①TA-DA9000ESまたはTA-DA7000ESから本機（DVP-NS9100ES）をLINCするとき
本機に対して、「これから、音楽信号の論理的な経路を確立してください」と、音楽信号の経路の識別情報を送る。



② 「了解です」と本機が信号を送る。
以上のようなやりとりが行われ、LINCが完了して初めて、i.LINK対応機器間で音楽信号を送受信することができるようになります。

高音質で聞く（H.A.T.S.機能）

H.A.T.S.とは、High quality digital Audio Transmission Systemの略です。
TA-DA9000ESまたはTA-DA7000ESのH.A.T.S.設定を「On」にすると、デジタルオーディオ信号をバッファに蓄え、精度の高いタイミングでバッファから信号を読み出しアナログ信号に変換します。このため、デジタルオーディオ信号転送時に生じるジッター（信号を読み取るタイミングの時間軸のゆれ）の影響を受けず、音質が良くなります。この機能を使っているときはデジタル音声信号がAVアンプに入力されると、TA-DA9000ESまたはTA-DA7000ESの表示窓に「H.A.T.S.」が点灯します。
この機能を使わないときはTA-DA9000ESまたはTA-DA7000ESのH.A.T.S.設定を「Off」にします。詳しくはTA-DA9000ESまたはTA-DA7000ESの取扱説明書をご覧ください。

著作権について

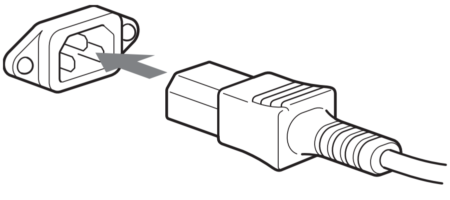
著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。
この技術のひとつは、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー･プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像／音声／データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。
また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINKでのデジタルの映像／音声／データのやりとりができない場合があります。
i.LINK は、IEEE1394-1995 と IEEE1394a-2000 を示す呼称です。
i.LINK と i.LINK ロゴ “ ” は、ソニー株式会社の商標です。

ご注意

- H.A.T.S. 機能の性質により、再生機の操作（例：再生ボタンを押す、停止ボタンを押す、一時停止ボタンを押す、など）をしてから音が変わるまで少し時間の遅れがあります。また、CD とスーパーオーディオ CD とでは遅れる時間が異なる場合があります。
- H.A.T.S. 機能は、H.A.T.S. 機能に対応する機器にのみ働きます。
- H.A.T.S. 機能に対応しているのは、音楽用 CD とスーパーオーディオ CD のみです。

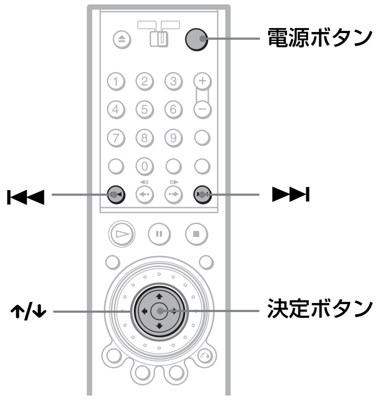
手順 5:電源コードをつなぐ

付属の電源コードを本体後面のAC IN端子につなぎ、プラグを壁のコンセントに差し込みます。



手順 6:クイック設定をする

本機で、以下の手順に沿って基本の設定をします。
1つの設定をとばして次の設定に進むには、▶▶Iを押します。1つ前の設定に戻るには、I◀◀を押します。



1 テレビの電源を入れる。

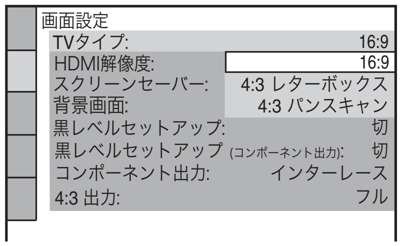
2 電源ボタンを押す。

3 本機の画像が映るように、テレビの入力を切り換える。

画面の下に「クイック設定するには[決定]を押してください」が表示されます。このメッセージが表示されないときは、コントロールメニュー画面で「設定」の「クイック」を選んで、クイック設定を始めます(60ページ)。

4 ディスクが入っていない状態で決定ボタンを押す。

接続したテレビの種類を設定する画面が表示されます。



5 ↑/↓ で接続したテレビに合った設定を選ぶ。

ワイドテレビまたはワイドモードのある4:3画面のテレビと接続したとき

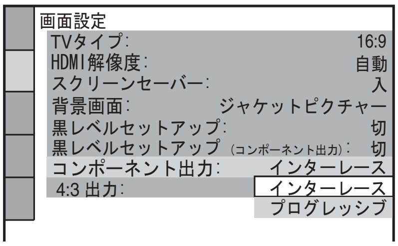
- 「16:9」(62ページ)

従来の4:3画面のテレビと接続したとき

- 「4:3レターボックス」または「4:3パンスキャン」(62ページ)

6 決定ボタンを押す。

映像方式の種類を設定する画面が表示されます。



7 ↑/↓ で接続したテレビへ出力する映像方式の種類を選ぶ。

ⒸとⒹの接続（14ページ）でプログレッシブ映像を楽しみたい場合、「プログレッシブ」を選んでください。

インターレース方式に対応するテレビ（従来のテレビ）と接続したとき

- インターレース（63ページ）

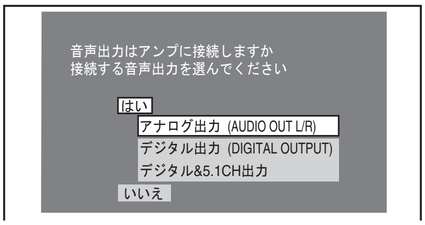
プログレッシブ方式に対応するテレビと接続したとき

- プログレッシブ（63ページ）

設定を変えた場合、確認画面が表示されます。10秒以内に「はい」または「いいえ」を選ばなかった場合、設定が中止され、設定画面に戻ります。

8 決定ボタンを押す。

アンプの接続について設定する画面が表示されます。



9 ↑/↓ でアンプをつなぐときの接続端子を選んで決定ボタンを押す。

17～22ページで選んだ音声コードの接続（A～E）に適した項目を選びます。

A

- 本機をテレビとだけつないでいる場合は「いいえ」を選びます。クイック設定が終了します。接続と設定はこれで完了です。

B-1 C-1

- 「アナログ出力（AUDIO OUT L/R）」を選びます。クイック設定が終了します。接続と設定はこれで完了です。

B-2 C-2 D-2 E

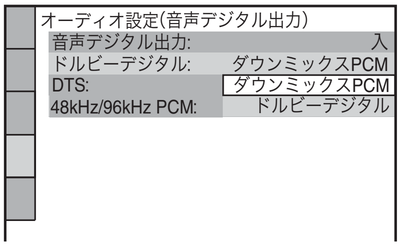
- 「デジタル出力（DIGITAL OUTPUT）」を選びます。ドルビーデジタル音声の出力を設定する画面が表示されます。

D-1、D-1とD-2

- 「デジタル＆5.1CH出力」を選びます。ドルビーデジタル音声の出力を設定する画面が表示されます。

10 ↑/↓ で接続したアンプへ出力するドルビーデジタル音声信号の種類を選び、決定ボタンを押す。

18～22ページで選んだ音声コードの接続（B～E）に適した信号を選びます。



B-2 C-2

- 「ダウンミックスPCM」（66ページ）

D-2 E

- 「ドルビーデジタル」（ドルビーデジタルデコーダー付AVアンプと接続したときのみ）（66ページ）

11 ↑/↓ で接続したアンプへ出力するDTS音声信号の種類を選ぶ。

18～22ページで選んだ音声コードの接続（B～E）に適した項目を選びます。

B-2 C-2

- 「ダウンミックスPCM」（66ページ）

D-2 E

- 「DTS」（DTSデコーダー付AVアンプと接続したときのみ）（66ページ）

12 決定ボタンを押す。

手順11で「デジタル出力（DIGITAL OUTPUT）」を選んだとき

- クイック設定が終了します。接続と設定はこれで終わりです。

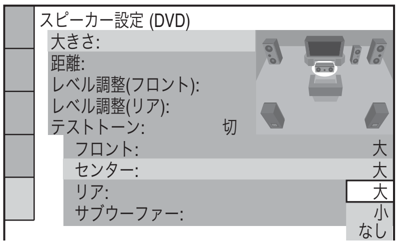
手順11で「デジタル＆5.1CH出力」を選んだとき

- スピーカーを設定する画面が表示されます。

つづく

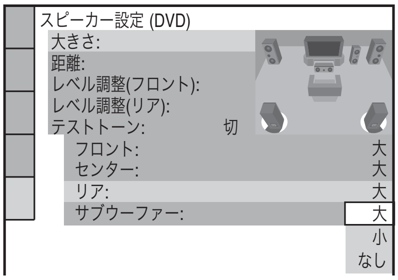
13 ↑/↓ でセンタースピーカーの大きさを選ぶ。

センタースピーカーを接続していないときは「なし」を選びます（67ページ）。



14 決定ボタンを押す。

リアスピーカーの大きさを設定する画面が表示されます。

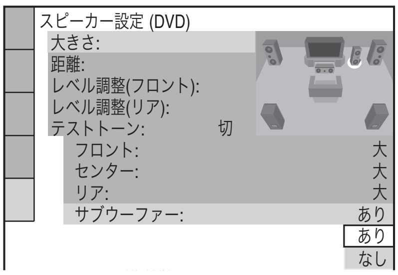


15 ↑/↓ でリアスピーカーの大きさを選ぶ。

リアスピーカーを接続していないときは「なし」を選びます。

16 決定ボタンを押す。

サブウーファーを設定する画面が表示されます。



17 ↑/↓ でサブウーファーをつないでいるかどうかを選ぶ。

18 決定ボタンを押す。

クイック設定が終了します。接続と設定はこれで終わりです。

音声効果をより楽しむ

音声効果をより楽しむには、18〜22ページで選んだ音声コードの接続（B〜E）にあわせて以下のように設定します。これらはお買い上げ時の設定のため、最初に本機を接続した時に設定を変える必要はありません。設定の操作については「設定画面を使う」（60ページ）をご覧ください。

音声コードの接続（17〜22ページ）

A

- 必要な設定はありません。

B-1 C-1 E

- 「ダウンミックス」を「ドルビーサラウンド」に設定する（66ページ）。

B-2 C-2 D-2

- 「ダウンミックス」を「ドルビーサラウンド」に設定する（66ページ）。
- 「音声デジタル出力」を「入」に設定する（66ページ）。

D-1

- 「距離」と「レベル調整」を接続したスピーカーに合わせて設定する（68ページ）。

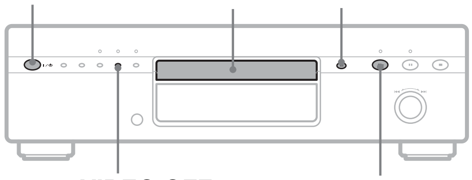
ちょっと一言

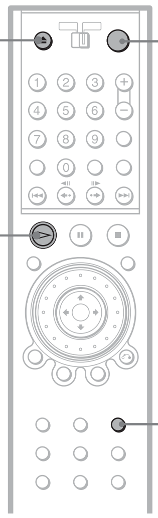
- **B-1 C-1 D-1 接続をした場合**
  音量を下げても音が歪む場合は、「オーディオ ATT」を「入」にしてください（65 ページ）。
- **B-2 C-2 D-2 E 接続をした場合**
  接続したアンプが 96kHz サンプリング周波数に対応しているときのみ「48kHz/96kHz PCM」を「96kHz/24bit」に設定してください（66 ページ）。

ディスクを再生する

DVD-V　DVD-RW　VIDEO CD　Super Audio CD　CD　DATA-CD

再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。ディスクによっては、禁止されている操作もあります。





1 テレビの電源を入れる。

2 電源ボタンを押す。

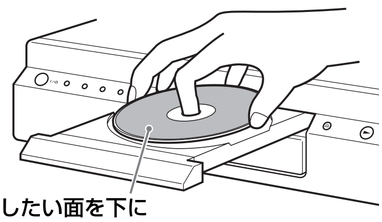
本機の電源が入ります。

3 本機の画像が映るように、テレビの入力を切り換える。

アンプを使うときは

アンプの電源を入れ、本機の音声が出るようにアンプの入力を切り換えます。

4 ⏏を押してディスクトレイを開けて、ディスクを置く。



5 ▷ を押す。

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。テレビまたはアンプで音量を調整します。
ディスクによっては、テレビ画面にメニューが表示されることがあります。DVDビデオ再生の場合は29ページ、ビデオCDの場合は31ページをご覧ください。

電源を切るには

電源ボタンを押します。本機はスタンバイモード（待機状態）になります。

CDやスーパーオーディオCDをより高音質で再生するには

停止中に、ビデオオフボタンを押します。VIDEO OFFランプが点灯します。
これで映像が出力されなくなり、映像のデジタルおよびアナログ回路が音声に与える影響を抑えます。
設定を止めるには、ビデオオフボタンをもう一度押します。

ご注意

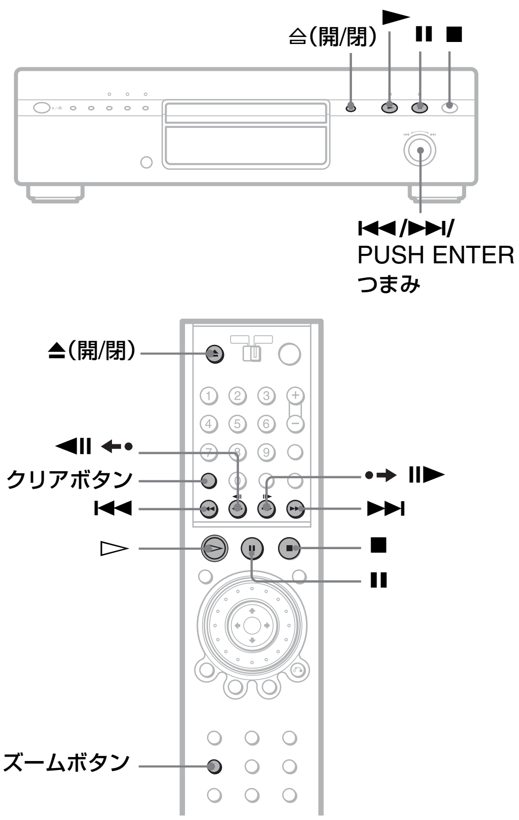
- 本機を運ぶときは、本機からディスクを取り出してください。ディスクを取り出さないと、本機にダメージを与えることがあります。
- ビデオオフ機能が設定されているとき、HDMI OUT 端子からは映像、音声ともに出力されません。
- スーパーオーディオ CD の音声は DIGITAL OUT（COAXIAL または OPTICAL）/HDMI OUT 端子からは出力されません。

ちょっと一言

- ディスクを再生していないときに 30 分以上本体またはリモコンを操作しないと、自動的にスタンバイモードになります（オートパワーオフ機能）。「視聴設定」の「オートパワーオフ」を「入」にしてください。
- 本機で再生できる MP3 音声の種類や再生する順番について詳しくは、「MP3 音声と JPEG 画像を楽しむ」（48 ページ）をご覧ください。

つづく

いろいろな操作方法



こんなときは	こうする
止める	■を押す
途中で止める	❚❚を押す
途中で止めた後、つづきを再生する	❚❚または▷を押す
再生中にチャプターや映像、曲を進める	本機：I◄◄/►►I/PUSH ENTERつまみを右に回す リモコン：►►Iを押す
再生中にチャプターや映像、曲を戻す	本機：I◄◄/►►I/PUSH ENTERつまみを左に回す リモコン：I◄◄ を2回押す
再生を止めて、ディスクを取り出す	本機:≙(開/閉)を押す リモコン:⏏(開/閉)を押す
少し前の画像に戻る[1)	◄II ←•を押す(リプレイ)
少し先の画像に進む[1)	•→ II►を押す(アドバンス)
画像を拡大する[2)	ズームボタンを押す 拡大を止めるにはクリアボタンを押します。

[1) DVD ビデオ /DVD-RW のみ

[2) DVD ビデオ /DVD-RW/ ビデオ CD/ データ CD(JPEG)のみ

ディスクトレイをロックする(チャイルドロック)

子供がディスクトレイを誤って開けるのを防ぐために、ディスクトレイが開くのをロックします。

スタンバイモード時にリモコンの ↶ リターンを押し、続けて決定ボタン、電源ボタンを順に押す。

電源が入り、本体表示窓に「LOCKED」が表示されます。チャイルドロックが働いているときは、本機とリモコンの⏏ボタンを使うことができません。

チャイルドロックを解除するには

スタンバイモード時にもう一度、リモコンの↶リターンを押し、続けて決定ボタン、電源ボタンを順に押す。電源が入り、本体表示窓に「UNLOCKED」が表示されます。

ご注意

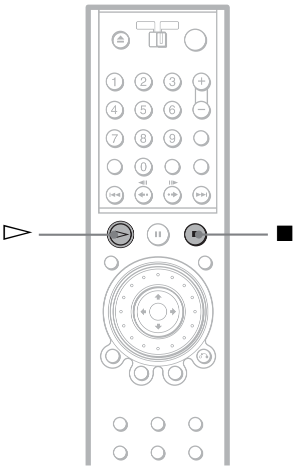
- 再生場面によっては、リプレイ機能やアドバンス機能が使えないことがあります。
- DVD+RW(VR モード)ではリプレイ機能が使えません。
- チャイルドロックの設定はコントロールメニューの「設定」で「リセット」(61 ページ)を選んでも、解除されません。

ちょっと一言

- リプレイ機能は、セリフを聞き直すときなどに使うと便利です。
- アドバンス機能は、不要な場面を少しだけとばしたいときなどに便利です。

再生を止めたところから再生する(つづき再生機能) DVD-V VIDEO CD

再生を止めた後、電源を切ったり、ディスクを取り出しても、40枚まで停止した場所を記憶し、そのつづきから再生することができます。41枚目以降は、1枚目の停止場所から順に記録を自動的に消去して、新しいディスクの停止場所を記録します。



1 ディスクの再生中、■ を押して、再生を止める。

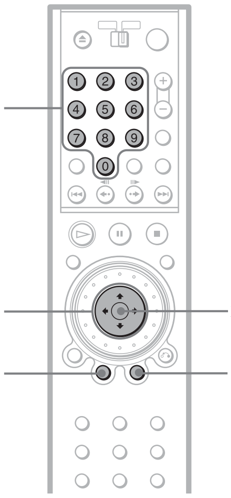
表示窓に「RESUME」が表示されます。

2 ▷ を押す。

手順1で再生を止めたところから、再生が始まります。

DVD のメニューを使う DVD-V

DVDには、DVD独自のメニューが記録されているものがあります。
複数のタイトル(映像や曲)が記録されているDVDはトップメニューボタンを、ディスクの内容(字幕や音声の言語など)をメニューで選べるDVDはメニューボタンを使って再生できます。



1 トップメニューボタンまたはメニューボタンを押す。

ディスクのメニューが表示されます。
メニューの内容はディスクによって異なります。

2 ←/↑/↓/→ または数字ボタンで項目を選ぶ。



3 決定ボタンを押す。

ご注意

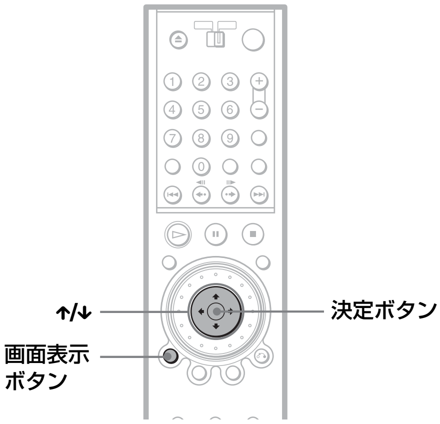
- つづき再生機能を使うには、設定画面の「視聴設定」で「つづき再生機能」を「入」(お買い上げ時の設定)にしておく必要があります(64 ページ)。
- 次の場合、現在再生しているディスクについては、つづき再生が解除されます。
  — 再生モードを変えたとき
  — 設定画面で設定を変更したとき
- DVD-RW の VR モードと CD、スーパーオーディオ CD、データ CD は現在再生しているディスクのみつづき再生が働きます。次の場合、停止位置が消去されます。
  — ディスクトレイを開けたとき
  — 電源コードを抜いたとき
  — スタンバイモードにしたとき(CD/ スーパーオーディオ CD/ データ CD のみ)
- シャッフル再生中とプログラム再生中には、つづき再生機能は働きません。
- ディスクによっては、つづき再生ができない場合があります。

ちょっと一言

ディスクを最初から再生したいときは、■ を 2 回押してから、▷ を押します。

DVD-RW のオリジナルとプレイリストを選ぶ DVD-RW

DVD-RW(VRモード)には、ディスクに実際に記録される「オリジナル」のタイトルと、DVDレコーダー等で編集して作成される「プレイリスト」という2種類のタイトルがあります。
このようなディスクでは、再生するタイトルの種類を選んで再生することができます。

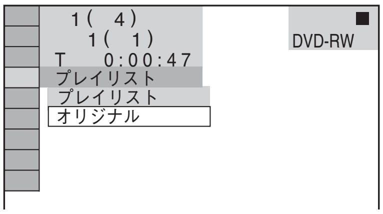


1 **停止中に画面表示ボタンを押す。**

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 **↑/↓ で （オリジナル / プレイリスト）を選び、決定ボタンを押す。**

「オリジナル/プレイリスト」の設定項目が表示されます。



3 **↑/↓ で項目を選ぶ。**

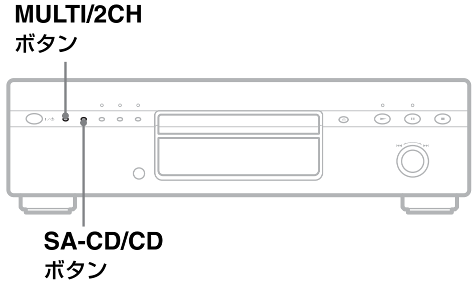
- プレイリスト：オリジナルを元に編集して作られたタイトルを再生します。
- オリジナル：実際に記録されているタイトルを再生します。

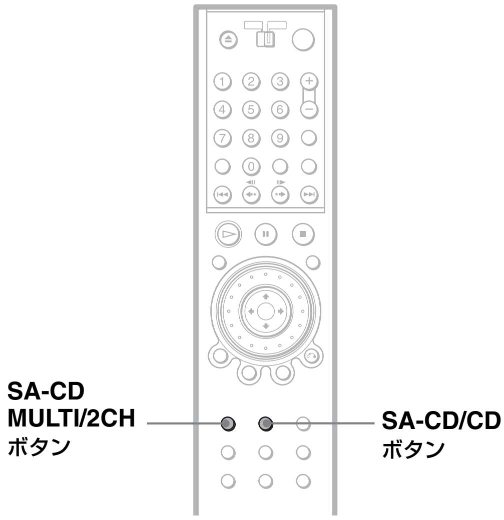
4 **決定ボタンを押す。**

画面表示を消すには

画面表示が消えるまで、画面表示ボタンを繰り返し押します。

スーパーオーディオ CD の再生エリアを選ぶ Super Audio CD



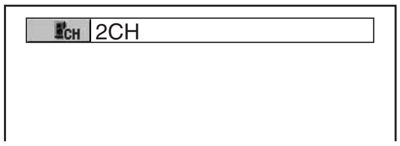


スーパーオーディオCDの再生エリアを選ぶ

スーパーオーディオCDに2チャンネルエリアとマルチチャンネルエリアが記録されているときは、どちらかを選んで再生することができます。

1 **停止中に SA-CD MULTI/2CH ボタンを押す。**

以下の画面が表示されます。



ちょっと一言

- スーパーオーディオ CD について詳しくは、72 ページをご覧ください。
- 再生モードは、ここで選んだレイヤーまたは再生エリアの範囲内で働きます。
- コントロールメニューを使って、スーパーオーディオ CD の再生エリアの「マルチ /2CH」を選べます（11 ページ）。

2 SA-CD MULTI/2CH ボタンを繰り返し押して、項目を選ぶ。

- マルチ：マルチチャンネルエリアを再生します。
- 2CH：2チャンネルエリアを再生します。

マルチチャンネルエリアのディスクを再生時は、表示窓に「MULTI」が点灯します。

ハイブリッドディスク再生時に再生するレイヤーを選ぶ

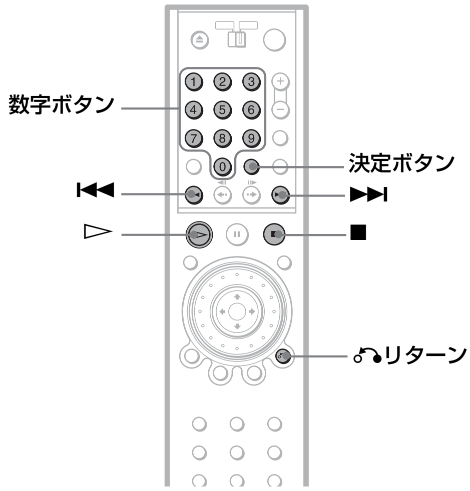
スーパーオーディオCDに、スーパーオーディオCDレイヤーとCDレイヤーが記録されているときは、どちらかを選んで再生することができます。

停止中に SA-CD/CD ボタンを押す。

ボタンを押すたびに、スーパーオーディオCDレイヤーまたはCDレイヤーに切り換わります。
CDレイヤーを再生時は、表示窓の「CD」が点灯します。

プレイバックコントロール機能を使う（PBC 再生） VIDEO CD

テレビ画面に表示される選択用のメニューにしたがって、ビデオCDの再生や検索ができます（Playback Control—PBC機能）。



1 PBC 対応ビデオ CD を再生する。

選択用のメニュー画面が表示されます。

2 項目の番号またはトラックを数字ボタンで選ぶ。

3 決定ボタンを押す。

4 テレビ画面に表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、操作する。

操作の方法はビデオCDによって異なることがあります。ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。

選択用のメニュー画面に戻るには

↺リターンを押します。

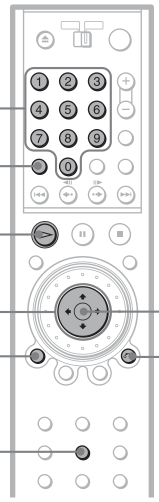
ちょっと一言

- PBC 機能を使うとき、ディスクによっては手順 3 で決定ボタンを押すことを「選択ボタンを押す」と表示するものがあります。そのときは、▷ を押してください。
- PBC 機能を使わないで再生するときは、停止中に ⏮ や ⏭ を押して再生したいトラックを選んでから、▷ または決定ボタンを押します。画面上に「PBC を切って再生します」と表示され、通常の再生（トラック番号順に再生）が始まります。このとき、選択用のメニューなどの静止画は再生できません。
  PBC 再生に戻すには、■ を 2 回押してから ▷ を押して再生を始めます。

再生モードを使う（プログラム / シャッフル / リピート /A-B リピート）

再生モードには次の種類があります。

- プログラム再生（32ページ）
- シャッフル再生（34ページ）
- リピート再生（34ページ）
- A-Bリピート再生（35ページ）



ディスクモードを選ぶ（全アルバム/1アルバム） DATA-CD

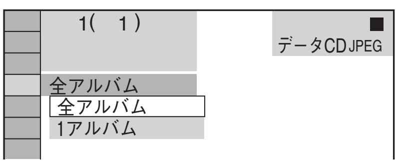
ディスクに入っている全アルバムまたは1アルバムを選んで再生できます。
シャッフル/リピート再生を設定する前に、「全アルバム」または、「1アルバム」を選んで再生する範囲を設定してください。

1 画面表示ボタンを 2 回押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （全アルバム /1 アルバム）を選び、決定ボタンを押す。

「全アルバム/1アルバム」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓ で設定項目を選ぶ。

- 全アルバム：ディスク全体を再生します。
- 1アルバム：選んだアルバムを再生します。

4 決定ボタンを押す。

好きな順に再生する（プログラム再生）

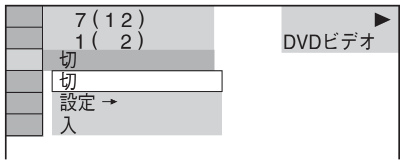
DVD-V VIDEO CD Super Audio CD CD DATA-CD

タイトルやチャプター、トラックを好きな順に再生できます。最大99個のタイトルやチャプター、トラックをプログラムできます。

1 コントロールメニューで、（プログラム）が表示されるまで画面表示ボタンを繰り返し押す。

2 ↑/↓ で （プログラム）を選び、決定ボタンを押す。

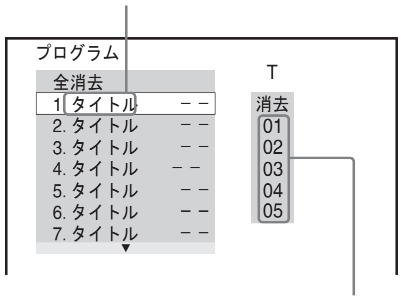
「プログラム」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓ で「設定 →」を選び、決定ボタンを押す。

プログラム画面が表示されます。

ビデオCD/スーパーオーディオCD/CDでは、「トラック」と表示される



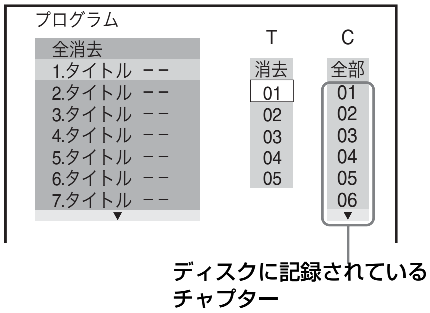
ディスクに記録されているタイトルまたはトラック

ご注意

- 設定した再生モードは、次の場合に解除されます。
  - ― ディスクトレイを開いたとき
  - ― 電源ボタンを押して、本機がスタンバイモード（待機状態）になったとき
- スーパーオーディオ CD の再生モードを設定する前に、再生するレイヤーまたはエリアを選んでください。
  再生モードはここで選んだレイヤーまたは再生エリアの範囲内で働きます。
- プログラム再生とシャッフル再生は同時にできません。

4 → を押す。

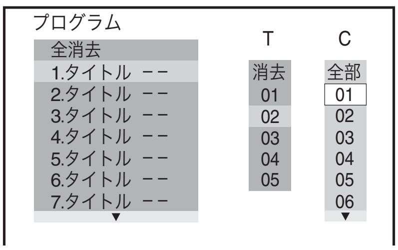
タイトルまたはトラック(「T」)にハイライトが移ります(この場合「01」)。



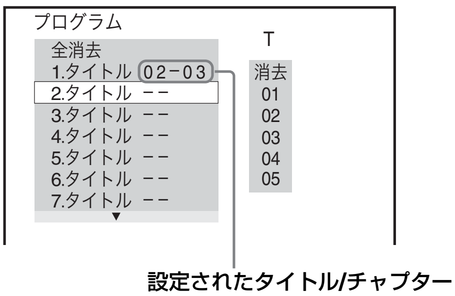
5 プログラム再生したいタイトル/チャプター / アルバムまたはトラックを設定する。

DVDビデオまたはMP3のとき

例)タイトル「02」のチャプター「03」を設定する(DVDビデオ)。
↑/↓または数字ボタンで「T」の「02」を選び、決定ボタンを押します。



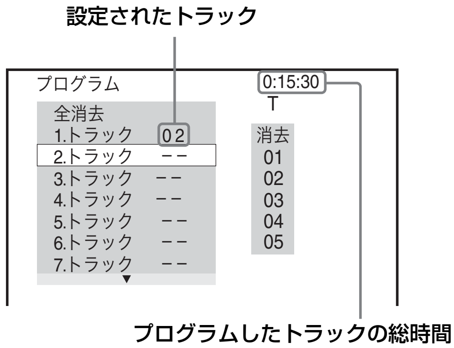
次に↑/↓または数字ボタンで「C」の「03」を選び、決定ボタンを押します。



MP3音声の場合は、タイトルやチャプターの代わりに、アルバムやトラックを選びます。

ビデオCD/スーパーオーディオCD/CDのとき

例) トラック「02」を設定する。
↑/↓または数字ボタンで「T」の「02」を選び、決定ボタンを押します。
スーパーオーディオCDのときは、トラックが3桁の数字で表示されます。



6 続けて再生するタイトル / チャプター/ トラックを設定したいときは、手順 4 ~ 5 を繰り返す。

タイトル/チャプター /トラックが選んだ順に表示されます。

7 ▷ を押す。

プログラム再生が始まります。
プログラム再生が終わっても、▷を押せば同じプログラムを再生します。

プログラム再生を止めるには

クリアボタンを押します。または手順3で「切」を選びます。

画面表示を消すには

画面表示が消えるまで、画面表示ボタンを繰り返し押します。

プログラムの設定を変更または消すには

1 「好きな順に再生する(プログラム再生)」(32 ページ)の手順 1 ~ 3 の操作を行う。

2 ↑/↓を使って変更または消したいトラックのプログラム番号を選ぶ。

ご注意

JPEG画像は、プログラム再生できません。

ちょっと一言

設定したプログラムで「リピート再生」(34 ページ)もできます。プログラム再生中に「リピート再生」(34 ページ)の手順に沿って操作をします。

つづく

3 次の操作を行う。

プログラムの設定を取り消したいときは
クリアボタンを押す。

プログラムの設定を変更したいときは
➔を押し手順5の操作で新しい設定を入力する。

設定したプログラムをすべて消すには

1 「好きな順に再生する（プログラム再生）」（32 ページ）の手順 1 ～ 3 の操作を行う。

2 ↑を押し「全消去」を選ぶ。

3 決定ボタンを押す。

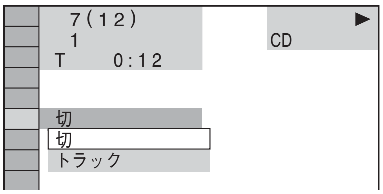
順不同に再生する（シャッフル再生）

SuperAudioCD　CD　DATA-CD

本機が自動的にトラックの順番を選んで、再生します。再生する順番は、シャッフル再生をするたびに変わります。

1 画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （シャッフル）を選び、決定ボタンを押す。
「シャッフル」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓ で 順不同にして再生する項目を選ぶ。

スーパーオーディオCD/CDのとき
- トラック

データCD（MP3音声）のとき
- 全アルバムのとき
  ーアルバム
  ートラック
- 1アルバムのとき
  ートラック

4 決定ボタンを押す。

通常の再生に戻すには

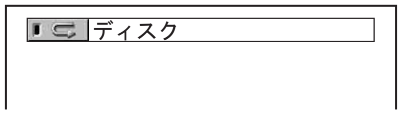
クリアボタンを押します。または手順3で「切」を選びます。

繰り返し再生する（リピート再生）

DVD-V　DVD-RW　VIDEO CD　SuperAudioCD　CD　DATA-CD

ディスクのすべてのタイトルまたはトラック、または1つのタイトル/チャプター/トラックを繰り返し再生できます。シャッフル再生やプログラム再生と組み合わせて使うこともできます。

1 くり返しボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



2 くり返しボタンを繰り返し押して、リピート再生する項目を選ぶ。

DVDビデオのとき
- ディスク：すべてのタイトル
- タイトル：再生中のタイトル
- チャプター：再生中のチャプター

DVD-RWのとき
- ディスク：選んだタイトルの種類（オリジナルまたはプレイリスト）内すべてのタイトル
- タイトル：再生中のタイトル
- チャプター：再生中のチャプター

スーパーオーディオCD/ビデオCD/CDのとき
- ディスク：すべてのトラック
- トラック：再生中のトラック

データCD（MP3音声）のとき
- 全アルバムのとき
  — ディスク：すべてのトラック
  — トラック（MP3音声のみ）：再生中のトラック
- 1アルバムのとき
  — アルバム：再生中のアルバム
  — トラック（MP3音声のみ）：再生中のトラック

ご注意
- プログラム再生とシャッフル再生は同時にできません。
- JPEG 画像はシャッフル再生できません。
- 99 を越えるトラックをシャッフル再生するとき、1 回以上再生するトラックと全く再生しないトラックが出てくる場合があります。

ちょっと一言
- 停止中にリピート再生を設定できます。リピート再生の項目を選び、▷ を押します。リピート再生が始まります。
- コントロールメニューを使って「リピート」を選べます（12 ページ）。

プログラム再生/シャッフル再生をしているとき
- 入:プログラム再生、シャッフル再生をリピート再生します。

通常の再生に戻すには

クリアボタンを押します。または手順2で「切」を選びます。

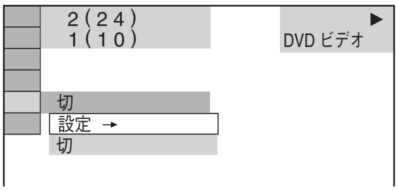
再生したい部分だけを繰り返す(A-B リピート) DVD-V DVD-RW VIDEO CD Super Audio CD CD DATA-CD

再生したい部分を1か所指定して、タイトルやチャプターまたはトラックを繰り返し再生できます。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。

1 再生中にコントロールメニューで (A-B リピート)が表示されるまで画面表示ボタンを押す。

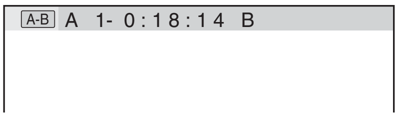
2 ↑/↓ で (A-B リピート)を選び、決定ボタンを押す。

「A-Bリピート」の設定項目が表示されます。



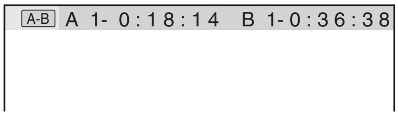
3 ↑/↓ で「設定 →」を選び、決定ボタンを押す。

「A-Bリピート」を設定する画面が表示されます。



4 再生中に繰り返す部分の始点(A 点)で A-B ボタンを押して決定ボタンを押す。

始点(A点)が設定されます。



5 繰り返す部分の終点(B 点)で決定ボタンをもう一度押す。

指定した部分が表示され、繰り返して再生します。

通常の再生に戻すには

クリアボタンを押します。または手順2で「切」を選びます。

画面表示を消すには

画面表示ボタンを繰り返し押します。

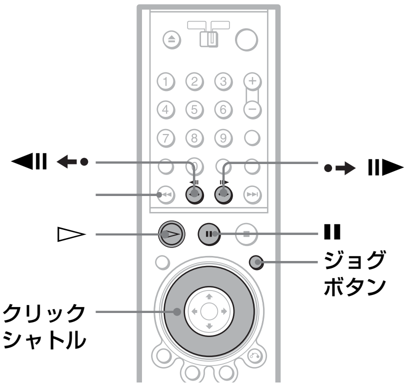
ご注意
- A-B リピートを設定すると、シャッフル再生やリピート再生、プログラム再生は解除されます。
- 複数のタイトル、シーンまたは MP3 のトラックをまたぐ A-B リピート再生はできません。
- DVD-RW(VR モード)で静止画を含むタイトルは A-B リピート再生できません。
- スーパーオーディオ CD で A-B リピート再生中に早送り / 早戻しのシャトルモードにする、または ⏮、■、⏸ を押すと、A-B リピート再生は解除されます。
- DTS CD で A-B リピート再生中に早送り / 早戻しのシャトルモードにすると(36 ページ)、A-B リピート再生は解除されます。

頭出しする

見たいところ、聞きたいところをさがす

（シャトルモード / ジョグモード / コマ送り）

再生しながら早送りや早戻しをして、見たいところや聞きたいところをさがしたり、スロー再生をすることができます。



速さを変えて再生する（シャトルモード） DVD-V DVD-RW VIDEO CD SuperAudioCD CD DATA-CD

リモコンでクリックシャトルを回す。
回す向きに応じて次のように再生の速さが変わります。

■再生中

3▶▶　早送り*（2▶▶より速い）
↕
2▶▶　早送り（1▶▶より速い）
↕
1▶▶　早送り
↕
×2▶（約2倍速）
↕
▶再生（通常の再生）
↕
×2◀（逆方向：約2倍速）
↕
1◀◀　早戻し
↕
2◀◀　早戻し（早戻し1◀◀より速い）
↕
3◀◀　早戻し*（早戻し2◀◀より速い）

すばやく回すと2▶▶（3▶▶*）または2◀◀（3◀◀*）になります。
* DVD ビデオ /DVD-RW/ ビデオ CD のみ

■一時停止中（DVDビデオ/DVD-RW/ビデオCDのみ）

1I▶（再生方向）
↕
2I▶（再生方向：1I▶より遅い）
↕
II一時停止
↕
2◀I（逆方向：1◀Iより遅い）（DVDのみ）
↕
1◀I（逆方向）（DVDのみ）

通常の再生に戻すには

▷を押します。

速さを変えてコマ送りする（ジョグモード） DVD-V DVD-RW VIDEO CD

1 ジョグボタンを押す。
ジョグボタンが点灯します。

2 クリックシャトルを回す。
回す速さに応じて、回した方向でコマ送りされます。時計回しで再生方向にコマ送りします。反時計回しで逆方向にコマ送りします（DVDのみ）。
一定以上の速さになると、スローまたは通常の再生になります。

通常の再生に戻すには

▷を押します。

ジョグモードをやめるには

ジョグボタンをもう一度押します。
ジョグボタンが消灯します。

コマ送りで見る DVD-V DVD-RW VIDEO CD

一時停止中に次のコマに送るには•→ II▶を押します。前のコマに戻るには、◀II ←•を押します（DVDのみ）。押し続けると、連続してコマ送りします。▷を押すと通常の再生に戻ります。

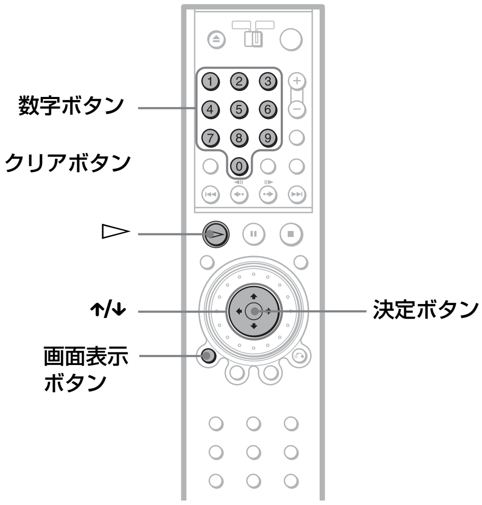
ご注意

DVD、ビデオ CD の場合、ディスクによっては操作が禁止されている場合があります。

タイトル / チャプター/ トラック / シーンをさがす

DVD-V DVD-RW VIDEO CD SuperAudioCD CD DATA-CD

DVDのタイトル/チャプター /タイトルの経過時間、ビデオCDやスーパーオーディオCD、CD、データCDのトラック/インデックス/シーンで映像や曲を探すことができます。
タイトルやトラックなどには、ディスク上で番号がつけられているので、その番号を選んで頭出しします。
また、タイトルの経過時間をタイムコードで入力して場面を探すこともできます。



1 **再生中に画面表示ボタンを押す。**

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 **↑/↓ で繰り返し押して、検索項目を選ぶ。**

DVDビデオ/DVD-RWのとき

タイトル
チャプター
時間/テキストまたは、
時間/メモ

タイムコードを入力して場面を探すときは、「時間/テキスト」を選びます。

ビデオCDのとき

トラック
インデックス
時間/テキストまたは、
時間/メモ

ビデオCD(PBC再生時)のとき

シーン

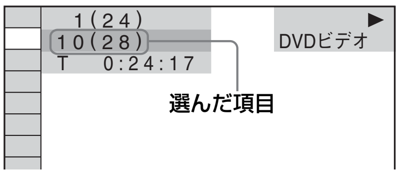
スーパーオーディオCD/CDのとき

トラック
インデックス
時間/テキストまたは、
時間/メモ

データCDのとき

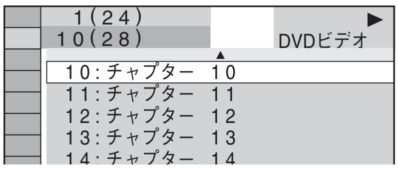
アルバム
トラック(MP3音声)
ファイル(JPEG画像)

例: (チャプター)を選んだとき
アイコンのとなりに「**(**)」が表示されます(**は数字です)。
カッコ内の数字はディスクに記録されているタイトルやトラック、インデックス、シーンなどの総数です。



3 **決定ボタンを押す。**

ディスクや項目によっては、「**(**)」が「--(**)」に変わります。



ご注意

- DVD-RW(VR モード)では、静止画はサーチできません。
- 表示されるタイトルやチャプター、トラックの番号はディスクに記録されているものと同じです。
- CD を再生中、インデックスから特定の場所を選んで再生することはできません。

ちょっと一言

数字ボタンと ENTER を押してチャプター(DVD ビデオ / DVD-RW)やトラック(スーパーオーディオ CD/CD/ ビデオ CD)を探すこともできます。

つづく

4 **数字ボタンでタイトルやトラック、インデックス、シーンの番号を入力する。**

探したい項目によりますが、数字ボタンの代わりに↑/↓も使えます。

間違えたときは

クリアボタンを押して、入れなおします。

5 **決定ボタンを押す。**

選んだ箇所の再生が始まります。

タイムコードでシーンを探すには（DVDビデオ/DVD-RW/スーパーオーディオCD/CD/ビデオCD（PBC再生時以外）のみ）

1 手順 2 で、（時間 / テキスト）を選びます。
「T **:**:**」（タイトルの経過時間）が表示されます。

2 決定ボタンを押します。
「T **:**:**」が「T --:--:--」に変わります。

3 数字ボタンでタイムコードを入力してから、決定ボタンを押します。
たとえば、タイムコードで始まりから2時間10分20秒過ぎた場面を探すには、「2、1、0、2、0」と入力します。

画面表示を消すには

画面表示が消えるまで、画面表示ボタンを繰り返し押します。

ご注意

- DVD+RW ではタイムコードで場面をサーチできません。
- ビデオ CD では、トラックをまたいでタイムコードを使ったサーチはできません。

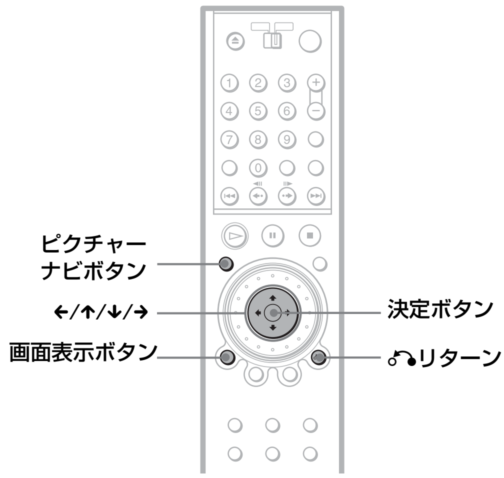
ちょっと一言

タイムコードは以下のものに有効です。
— DVD ビデオ /DVD-RW の 1 タイトル内
— ビデオ CD/ スーパーオーディオ CD/CD の 1 トラック内

見たい場面を再生する

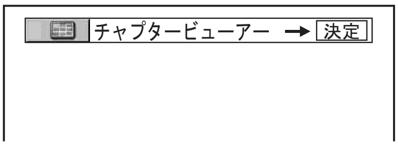
（ピクチャーナビゲーション） DVD-V VIDEO CD

画面を9分割して見たい場面を簡単に探すことができます。



1 **再生中にピクチャーナビボタンを押す。**

以下の画面が表示されます。



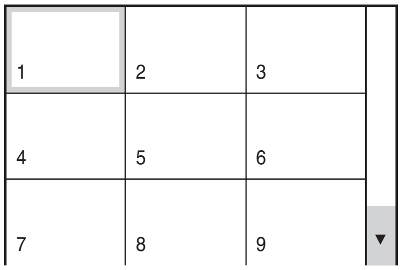
2 **ピクチャーナビボタンを繰り返し押して、項目を選ぶ。**

それぞれの項目についての詳しくは、各項目での説明をご覧ください。

- チャプタービューアー（DVDビデオのみ）
- タイトルビューアー（DVDビデオのみ）
- トラックビューアー（ビデオCDのみ）

3 **決定ボタンを押す。**

以下の画面が表示されます。



4 **←/↑/↓/→ で、タイトルやチャプター、トラックを選んで、決定ボタンを押す。**

再生が始まります。

通常の再生に戻すには

画面表示ボタンまたは リターンを押します。

ご注意

- ディスクによっては、各機能をお楽しみいただけない場合があります。
- この機能を使っているときは音声が出ません。

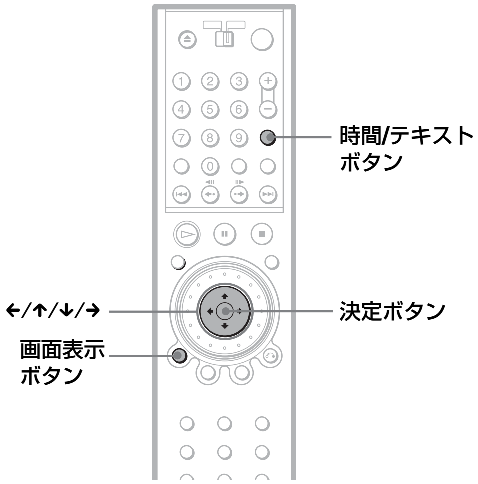
ちょっと一言

9つ以上のタイトルやチャプターがあるときは、画面の右下に▼が表示されます。一番下の行（7、8、9の位置）の場面を選び、↓で次のタイトルやチャプターを表示させます。前の画面に戻るには、一番上の行（1、2、3の位置）の場面を選び、↑を押します。

経過時間と残り時間を見る

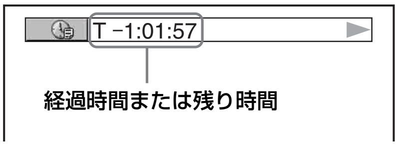
DVD-V DVD-RW VIDEO CD Super Audio CD CD DATA-CD

再生中のタイトル、チャプター、トラックの経過時間と残り時間を見ることができます。ディスクに記録されたDVDやスーパーオーディオCD、CDのテキストまたはMP3音声のトラック名を見ることもできます。



1 再生中に時間 / テキストボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



2 時間 / テキストボタンを繰り返し押して、時間表示を切り換える。

切り換えできる時間はディスクの種類によって異なります。

DVDビデオ/DVD-RWのとき
- T　＊：＊：＊（時：分：秒）
  タイトルの経過時間
- T−＊：＊：＊
  タイトルの残り時間
- C　＊：＊：＊
  チャプターの経過時間
- C−＊：＊：＊
  チャプターの残り時間

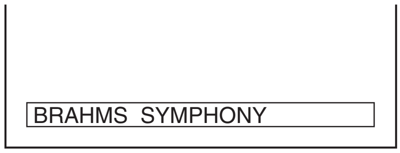
ビデオCD（PBC再生時）のとき
- ＊：＊（分：秒）
  シーンの経過時間

ビデオCD（PBC再生時以外）/スーパーオーディオCD/CDのとき
- T　＊：＊（分：秒）
  トラックの経過時間
- T−＊：＊
  トラックの残り時間
- D　＊：＊
  ディスクの経過時間
- D−＊：＊
  ディスクの残り時間

データCD（MP3音声）のとき
- T　＊：＊（分：秒）
  トラックの経過時間

ディスクメモまたは、DVD/スーパーオーディオCD/CDテキストを見るには

手順2で、時間/テキストボタンを繰り返し押します。ディスクメモ（54ページ）またはテキストがDVDビデオ/スーパーオーディオCD/CDに記録されているときのみ表示されます。テキストを変更することはできません。記録されていないと「NO TEXT」と表示されます。このとき、ディスクに名前をつけることができます（54ページ）。



ご注意
- ディスクの種類によって、DVD/スーパーオーディオCD/CDのテキストが表示できないことがあります。
- 本機はDVD/スーパーオーディオCD/CDのテキストの最初の部分（タイトル名など）のみ表示できます。
- 画面に表示されるディスクメモ/テキストはスクロールしません。

データCD（MP3音声）のビットレートまたはアルバム名/トラック名を見るには

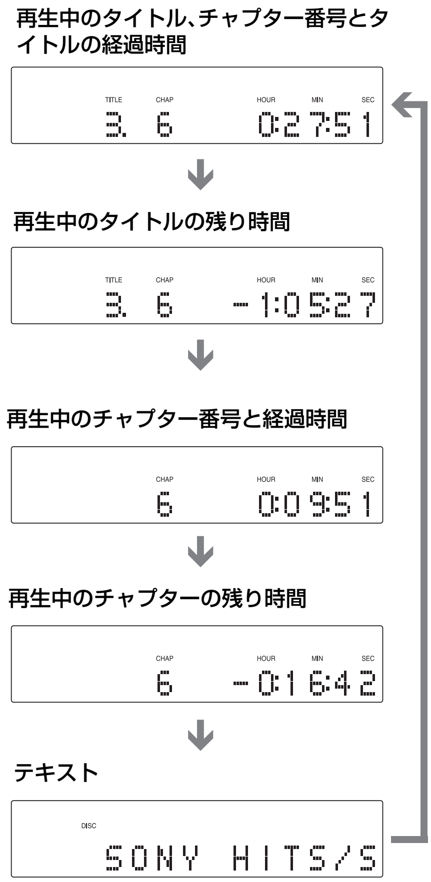
手順2で、時間/テキストボタンを繰り返し押します。
アルバム名とトラック名が表示されます。
テレビ画面に音声ビットレート（再生中の音声の1秒あたりの情報量）も表示できます。



表示窓で経過時間と残り時間を見るには

切り換えできる時間やテキストはテレビ画面や表示窓で確認できます。表示窓はテレビ画面に連動して以下のように切り換わります。

DVDビデオ/DVD-RWのとき



ディスクの情報を見る

ご注意

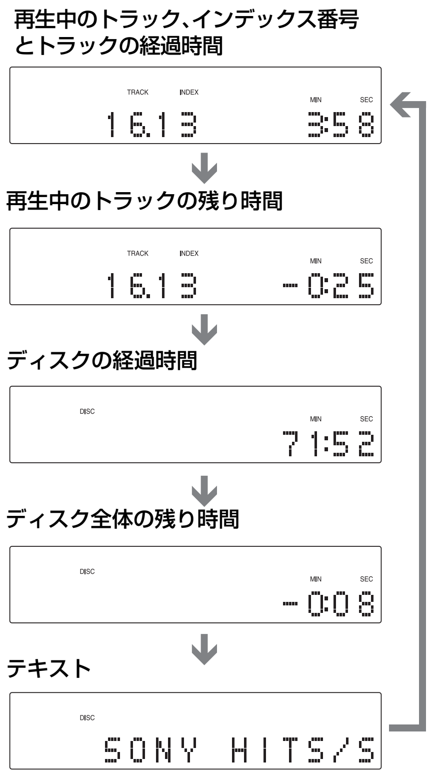
- MP3 音声のトラックの経過時間は正確に表示されない場合があります。
- MP3 音声に ID3 タグ情報がある場合、トラック名として、ID3 タグ情報が表示されます。
- JPEG 画像のみのディスクを再生する場合、「音声映像選択モード」は「画像（JPEG）」に自動的に切り換わります。MP3 音声のみのディスクを再生する場合、「音声映像選択モード」は「音声（MP3）」に自動的に切り換わります。

ちょっと一言

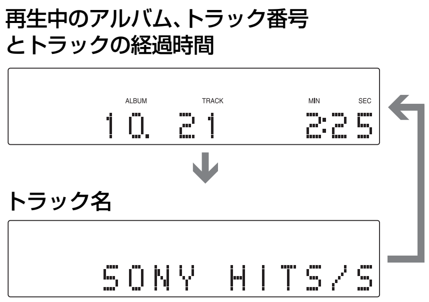
- ビデオ CD（PBC 再生時）のときは、シーン番号と経過時間が表示されます。
- 1 行で表示しきれないテキストは、表示窓にスクロールして表示されます。
- 時間 / テキストボタンを押して経過時間、残り時間またはテキストを見ることができます。
- コントロールメニューを使って経過時間、残り時間またはテキストを見ることができます（11 ページ）。

つづく

ビデオCD(PBC再生時以外)/スーパーオーディオCD/CDのとき



データCD(MP3音声)のとき



DVDの再生情報を見る(アドバンスト)

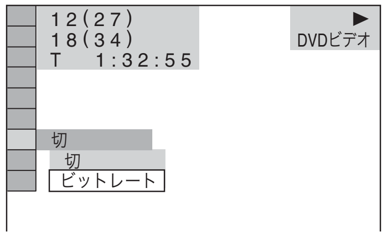
DVD-V DVD-RW

1 再生中に画面表示ボタンを押す。

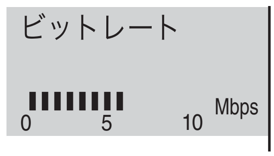
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で (アドバンスト)を選び、決定ボタンを押す。

「アドバンスト」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓で「ビットレート」を選び、決定ボタンを押す。



ビットレートはディスクに圧縮して記録されている画像の、1秒あたりのおよその情報量を示す値です。単位はMbps（Mega bit per second）で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000ビットであることを表します。この値が大きいほど情報量は多くなりますが、必ずしも画質や音質とは直接関係しません。

アドバンスト画面を消すには

手順3で「切」を選びます。

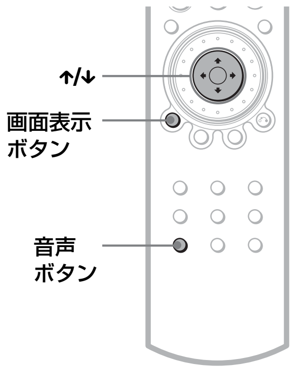
画面表示を消すには

画面表示が消えるまで、画面表示ボタンを繰り返し押します。

音声を切り換える

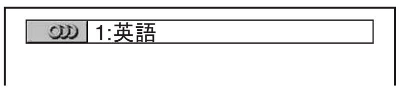
DVD-V　DVD-RW　VIDEO CD　CD　DATA-CD

複数の音声記録方式(PCM、ドルビーデジタル、DTS)で記録されたDVDビデオを再生しているときに、音声記録方式を選べます。複数の音声の言語が記録されたDVDビデオでは、言語を選ぶこともできます。
また、CDやデータCD、ビデオCD再生中は、左右どちらかのチャンネルの音を左右両方のスピーカーから出すことができます。カラオケのビデオCDなどで、伴奏だけを聞くこともできます。



1 **再生中に音声ボタンを押す。**

以下の画面が表示されます。



2 **音声ボタンを繰り返し押して、音声を選ぶ。**

DVD ビデオのとき

選べる言語はDVDビデオによって異なります。
4桁の数字が表示されたときは、「言語コード一覧表」(76ページ)を参照してください。同じ言語が2個以上表示されたときは、音声記録方式(チャンネル数など)が異なります。

DVD-RWのとき

録音された音声トラックが表示されます。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
例：

- 1:主(主音声)
- 1:副(副音声)
- 1:主(主音声) + 副(副音声)

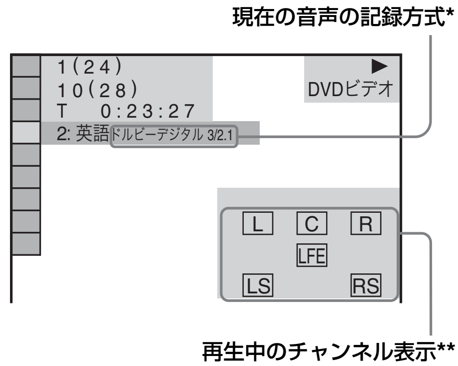
ビデオCD/CD/データCD(MP3音声)のとき

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

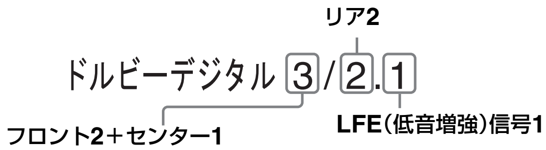
- ステレオ:通常のステレオ再生
- 1/L:左チャンネルの音(モノラル)
- 2/R:右チャンネルの音(モノラル)

再生中のチャンネルを表示する DVD-V

再生中に画面表示ボタンを押してコントロールメニュー画面を表示します。↑/↓で「音声」を選ぶと、現在再生中のDVDビデオに記録されているチャンネル数を表示することができます。例えば、ドルビーデジタルでは、信号が、モノラルから5.1chにわたって、DVDビデオに記録され、DVDビデオによってチャンネルの数字は異なります。



* 「PCM」、「DTS」または「ドルビーデジタル」が表示されます。
現在選んでいるトラックのチャンネルが次のように数字で表示されます。
ドルビーデジタル 5.1ch の場合：



** 各記号は次のチャンネルを表しています。

L:　フロント(左)
R:　フロント(右)
C:　センター(モノラル)
LS:　リア(左)
RS:　リア(右)
S:　リア(モノラル):ドルビーサラウンド処理された信号または、ドルビーデジタル信号のモノラルのリア成分です。
LFE: LFE(Low Frequency Effect:低音増強)信号

ご注意

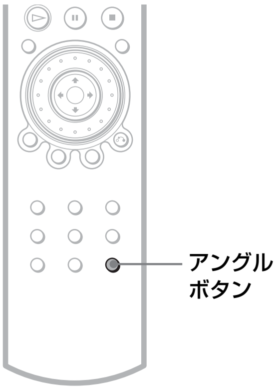
- スーパーオーディオ CD の音声は切り換えることができません。また、DVD によっては、再生中に音声を切り換えることができない場合があります。この場合は、DVD のメニューを使って音声を切り換えてください。

ちょっと一言

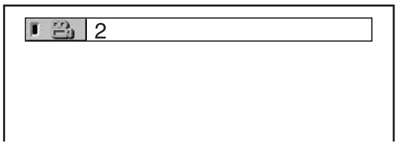
コントロールメニューを使って音声を選べます(11 ページ)。

アングルを切り換える DVD-V

複数のアングルがディスクに記録されているとき、正面から見た景色を右から見た景色に切り換えるなど、好きなアングルを選べます。
アングルを変えられるときは、表示窓に「ANGLE」が点灯します。



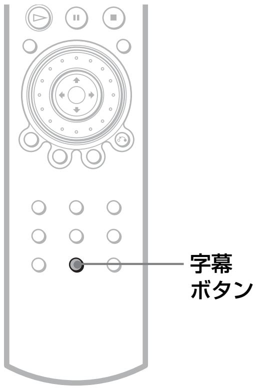
1 **再生中にアングルボタンを押す。**
アングルの番号が画面に表示されます。



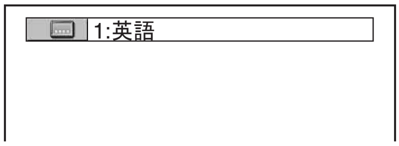
2 **アングルボタンを繰り返し押して、アングル番号を選ぶ。**
選んだアングルに切り換わります。

字幕を表示する DVD-V DVD-RW

字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり切り換えたりできます。語学の学習などに便利です。



1 **再生中に字幕ボタンを押す。**
以下の画面が表示されます。



2 **字幕ボタンを繰り返し押して、言語を選ぶ。**

DVD ビデオのとき
言語を選びます。
選べる言語はDVDビデオによって異なります。
4桁の数字が表示されたときは、「言語コード一覧表」(76ページ)を参照してください。

DVD-RWのとき
「入」を選びます。

字幕設定を解除するには

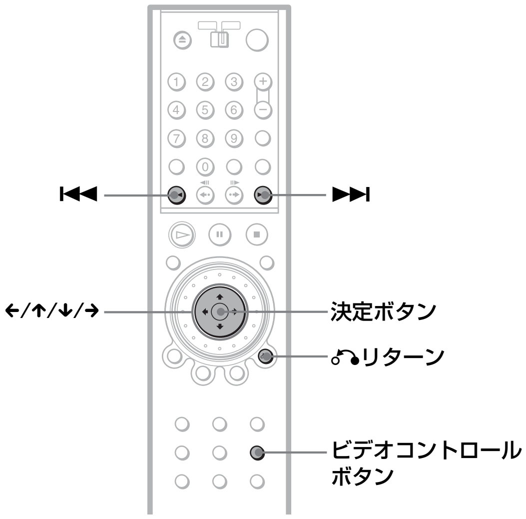
手順2で「切」を選びます。

ご注意
- DVD ビデオによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- DVD ビデオによっては字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりなどの切り換えを禁止している場合があります。

画質を調整する（ビデオコントロール）

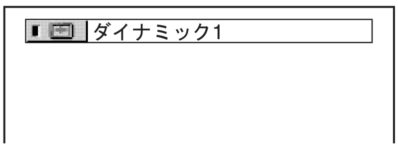
DVD-V DVD-RW VIDEO CD DATA-CD

本機から出力するDVD、ビデオCDまたはJPEG画像の映像信号を調整し、お好みの画質を設定できます。ソフトに合わせて既存のビデオコントロール設定から選べますが、「メモリー」を選ぶと色や明るさなどの画質の各項目を個別に調整できます。どちらの場合にも固定された１セットの画質調整項目が、ディスクごとに作成されます。



1 **再生中にビデオコントロールボタンを押す。**

以下の画面が表示されます。



2 **ビデオコントロールボタンを繰り返し押して、画質の設定を選ぶ。**

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

- スタンダード：標準的な画質
- ダイナミック1：コントラストの強いメリハリのある画質
- ダイナミック2：ダイナミック1よりコントラストの強いメリハリのある画質
- シネマ1：黒色を強調して暗い部分の詳細を際立たせる
- シネマ2：白色をより明るく、黒色をより強調して、色あいのコントラストをつける
- メモリー：画質を項目ごとにより細かく調整する

画質を項目ごとに調整する（メモリー）

次の項目を個々に調整できます。

- シャープネス：
  切：調整なし
  1：画像の輪郭を和らげて見せる。
  2：画像の輪郭をより鮮明にはっきり見せる。.
- Y NR：
  映像信号中の輝度成分に含まれるノイズを低減する。
- C NR：
  映像信号中の色成分に含まれるノイズを低減する。
- クロマディレイ：
  映像中の色が水平方向にずれている場合に、ずれを調整する。
- A/V SYNC：
  画像と音声のずれを調整する。
- プログレッシブ1:
  本機がプログレッシブ方式への変換方法を決定する切り換えポイントを設定する。
  本機は、ディスクがビデオ素材かフィルム素材かを自動的に検知し、素材に合わせた方法でプログレッシブ信号に変換します。設定位置が「VIDEO」に近いとビデオ素材用の、「FILM」に近いとフィルム素材用の変換方法が選ばれやすくなります。完全に「VIDEO」に合っていると素材に関係なく常にビデオ素材用の変換方法が選ばれます。ビデオ素材とフィルム素材について詳しくは「用語解説」をご覧ください（72ページ）。
- プログレッシブ2：
  ビデオ素材用の変換方法で処理される場合プログレッシブ信号を調整する。風景などの静止画が多いソフトなら「STILL」側に、カーチェイスなどのダイナミックな動画が多いなら「MOVE」側に設定します。
- ピクチャー：
  コントラストを調整する。
- 明るさ：
  全体の明るさを調整する。
- 色の濃さ：
  色をより濃く、またはより明るく調整する。
- 色あい：
  色のバランスを調整する。
- ガンマ：
  選んだ部分の明るさを調整する。「選択部分の明るさを調整する（ガンマ補正）」（46ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

映画を見るときは、「シネマ 1」または「シネマ 2」をおすすめします。

つづく

1 **ビデオコントロールボタンを繰り返し押して「メモリー」を選び、決定ボタンを押す。**

「シャープネス」調整画面が表示されます。



2 **←/→ で調整し、決定ボタンを押す。**

設定内容が保存され、「Y NR」調整画面が表示されます。

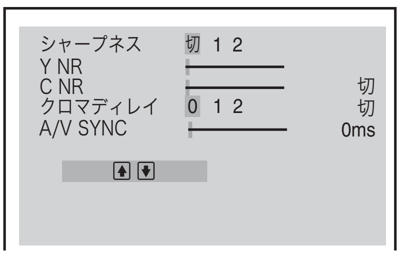
3 **手順２を繰り返し、「Y NR」または「C NR」、「クロマディレイ」などの他の項目をそれぞれ調整する。**

4 **「ガンマ →」が表示されたら、↓ を押す。**

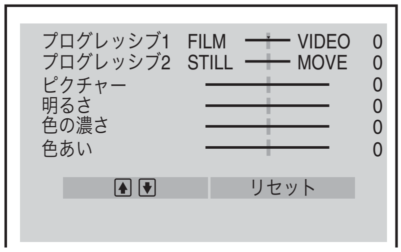
ビデオコントロール画面1が表示されます。ビデオコントロール画面2を表示するには、もう一度↓ボタンを押します。

全ての設定（ガンマ以外）の確認ができます。

ビデオコントロール画面1



ビデオコントロール画面2



画面表示を消すには

リターンを押します。

選択部分の明るさを調整する（ガンマ補正）

テレビや視聴環境によっては映像の一部が明るすぎて輪郭がぼやけたり、暗すぎて周囲の暗い部分に溶け込んだりすることがあります。ガンマ補正ではそれらの部分の明るさを調整して、より見やすい映像にすることができます。「明るさ」では映像全体の明るさが調整できますが、「ガンマ」は部分的に明るさを調整したいときに便利です。

例：陰影に富んだシーンが多い映画で、風景の隠れた細部を見たい場合

「明るさ」で調整すると映像全体が明るくなり、元から明るい部分の輪郭がぼやけてしまいます。ガンマ補正画面では暗い部分を選んで、全体の陰影を損なうことなく、その部分だけを徐々に明るくすることができます。

ご注意

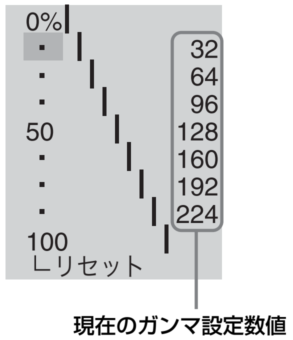
- ディスクの種類や再生している場面によっては、「Y NR」や「C NR」の効果がわかりにくいことがあります。
- DVD にはビデオ素材とフィルム素材の両方が入っているものがあります。
  フィルム素材の映画とビデオ素材の「メイキング」が１枚のディスクに入っている場合などです。
- 「メモリー」の「プログレッシブ 1」または「プログレッシブ 2」が設定されているときでも、プログレッシブ映像の画質が不自然になったりする場合、「プログレッシブ 1」を「VIDEO」に設定してみてください。
  それでも改善されない場合には、ビデオ信号をインターレース方式に切り換えて COMPONENT VIDEO OUT 端子から出力するか（63 ページ）、他の端子から出力してください。
- HDMI OUT 端子からの出力には、「クロマディレイ」は働きません。

ちょっと一言

- 調整した全ての項目をお買い上げ時の状態に戻すには、手順４の画面２で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
- 手順２で調整した内容を設定したくないときは、↑/↓ で内容を保存せずに次の画質調整項目に切り換えることができます。
- テレビドラマ、テレビアニメ、ライブソフトなどのビデオ素材の再生には、ビデオ処理が適しています。映画などのフィルム素材の再生には、フィルム処理が適しています。
- 映画などでノイズが目立つ場合は、「シャープネス 1」に設定してみてください。

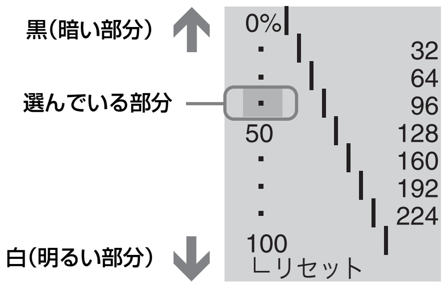
1 **「画質を項目ごとに調整する」の手順3で、↑/↓で「ガンマ→」を表示させ、決定ボタンまたは → を押す。**

ガンマ補正画面が表示されます。



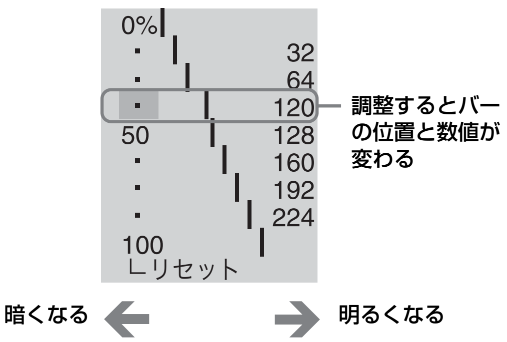
2 **↑/↓ で調整したい明るさの部分を選ぶ。**

上方向が暗い部分、下方向が明るい部分になります。



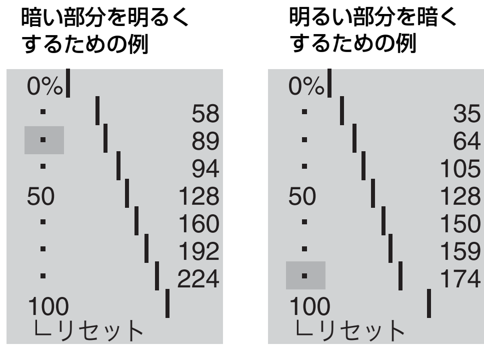
3 **←/→ で選んだ明るさの部分のレベルを調整する。**

←を押すとレベルが下がり（暗くなり）、→を押すとレベルが上がり（明るくなり）ます。
16～235の値で設定できます。暗い部分がそれより明るい部分を超えるような設定はできません。



4 **手順2と3を繰り返して、明るさの部分のレベルを調整する。**

明るさごとのレベルをつないだ線は、できるだけなだらかな曲線になるように調整します。



極端な凹凸が出るように調整すると、映像が乱れて表示されるように感じる原因となります。画面で映像を見ながら、少しずつ値を調整してください。調整を途中でやめたいときは、↶リターンを押します。

5 **決定ボタンを押す。**

「ガンマ→」が表示され、設定内容が保存されます。

ガンマ補正だけをお買い上げ時の設定に戻すには

ガンマ補正画面で↑/↓で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

ご注意

HDMI OUT端子からの出力には、ガンマ補正は働きません。

ちょっと一言

⏮ または ⏭ ボタンを押して、ガンマ補正画面の位置を左右に移動させることができます。

MP3 音声と JPEG 画像について

MP3はISO/MPEG規定に準じた音声圧縮技術です。
JPEG は映像圧縮技術です。
データCDに記録されているMP3音声やJPEG画像を再生できます。
MP3で再生可能なサンプリング周波数は、44.1kHzと48kHzです。

再生可能なデータCD

本機はデータCD（CD-ROM/CD-R/CD-RW）に記録されたMP3音声とJPEG画像を再生することができます。
ISO9660レベル1/レベル2/Joliet準拠で記録されたディスクが再生できます。マルチセッションで記録したディスクも再生できます。
記録方式について詳しくは、CD-R/CD-RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

マルチセッションディスク再生時のご注意

MP3音声やJPEG画像がディスクの最初のセッションに記録されているときは、その他のセッションのMP3音声やJPEG画像も再生します。
音楽用CDフォーマットまたはビデオCDフォーマットの音声や画像が最初のセッションに記録されているときは、最初のセッションだけを再生します。

再生可能なMP3音声とJPEG画像

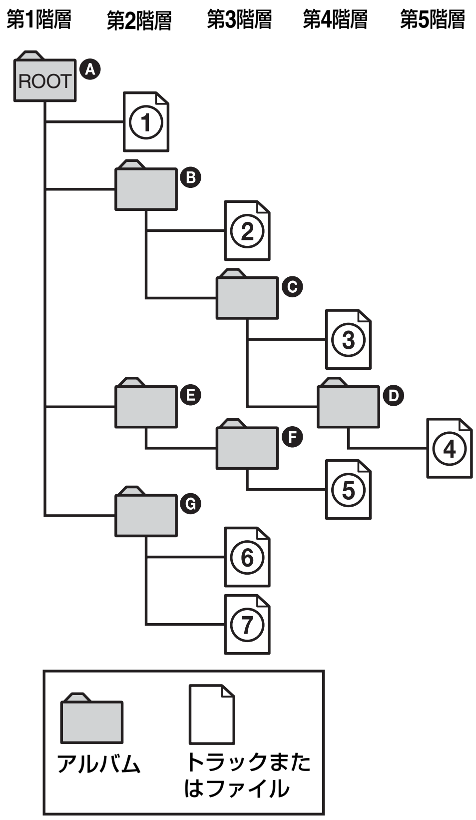
本機では次のようなMP3音声とJPEG画像を再生することができます。
— 拡張子が「.MP3」（MP3音声）のMP3音声
— 44.1kHzまたは48kHzのサンプリング周波数で記録されたMP3音声
— 拡張子が「.JPG」、「.JPEG」のJPEG画像
— DCF* 画像ファイル形式に準拠しているJPEG画像
* 「カメラファイルシステムのデザイン規定」：電子情報技術産業協会（JEITA）によって規定されたデジタルカメラの画像標準

ご注意
- 本機では、パケットライト方式で作成されたデータ CD を再生できないことがあります。
- MP3 や JPEG 形式以外のデータに「.MP3」または「.JPG」「.JPEG」の拡張子をつけると、本機はそれらを再生してしまい、雑音や故障の原因となります。
- 本機は MP3PRO で記録された音声には対応していません。
- JPEG 画像ファイルによっては、再生できないものがあります。

MP3音声とJPEG画像の再生順序

本機はデータCDに記録されたアルバム、MP3音声およびJPEG画像を次のように認識します。

ディスク内の構造

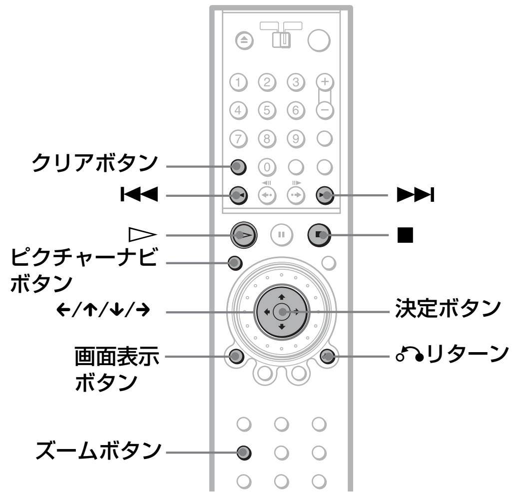


データCDを本機に入れて▷ボタンを押すと、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順序でトラックを再生します。
アルバムがサブアルバムを含んでいるときは、サブアルバムに含まれるトラックの再生が優先されます
（例：Ⓒは Ⓓを含んでいるので⑤より④が優先される）。

コントロールメニューで表示されるアルバム一覧（49ページ）では、Ⓐ→Ⓑ→Ⓒ→Ⓓ→Ⓕ→Ⓖの順でアルバム名が並びます。トラックを直下に含まないアルバム（例：Ⓔ）はアルバム一覧に表示されません。

MP3 音声と JPEG 画像を再生する DATA-CD

データCD（CD-ROM、CD-R、CD-RW）に記録されているMP3音声とJPEG画像を再生できます。MP3音声を再生するには、「MP3音声を選ぶ」（50ページ）をご覧ください。JPEG画像を再生するには、「JPEG画像を選ぶ」（50ページ）をご覧ください。
ディスク内にMP3音声とJPEG画像の両方が入っているデータCDを再生するには、「データCDの再生モードを選ぶ（音声映像選択モード）」（51ページ）をご覧ください。

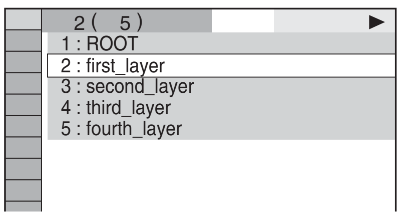


アルバムを選ぶ

1 **画面表示ボタンを押す。**

2 **↑/↓ で （アルバム）を選び、決定ボタンを押す。**

データCDに記録されているMP3音声のアルバムの一覧が表示されます。



ご注意

- MP3 音声を記録した際の書き込み用ソフトウェアによっては上図の順序で再生されないことがあります。
- ディスクに記録された合計数がアルバムが 500、トラックが 999 を超える場合は上図の順序で再生されないことがあります。
- 再生中に次のアルバム、または飛び越して他のアルバムに移るときは、再生までに時間がかかる場合があります。

ちょっと一言

- ディスクにトラックを記録するときは、あらかじめトラック名の頭に数字（01、02、03 など）を入れておくと、その数字の順番に再生することができます。
- 多くの階層を持つディスクは再生を始めるのに時間がかかります。ディスクにアルバムを記録するときは第 2 階層までにすることをおすすめします。
- MP3 音声や JPEG 画像を再生中に、ディスク情報を見ることができます（40 ページ）。

つづく

3 ↑/↓ で再生したいアルバムを選び、決定ボタンを押す。

選んだアルバムから再生が始まります。
MP3音声の選びかたについて詳しくは、「MP3音声を選ぶ」（50ページ）をご覧ください。
JPEG画像の選びかたについて詳しくは、「JPEG画像を選ぶ」（50ページ）をご覧ください。

再生を止めるには

■を押します。

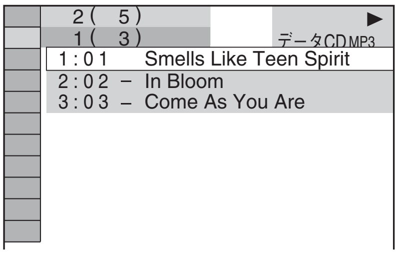
画面表示を消すには

画面表示ボタンを繰り返し押します。

MP3音声を選ぶ

1 「アルバムを選ぶ」の手順 3 の後で、↑/↓ で （トラック）を選び、決定ボタンを押す。

アルバムに記録されているトラックの一覧が表示されます。



2 ↑/↓ で再生したいトラックを選び、決定ボタンを押す。

選んだトラックから再生が始まります。

再生を止めるには

■を押します。

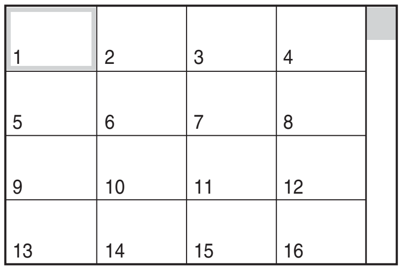
次または前のMP3音声を再生するには

再生中に、⏮ または⏭を押します。
再生中のアルバムの最後のトラックで⏭を押すと、次のアルバムの最初のトラックを選べます。

JPEG画像を選ぶ

1 「アルバムを選ぶ」の手順 3 の後で、ピクチャーナビボタンを押す。

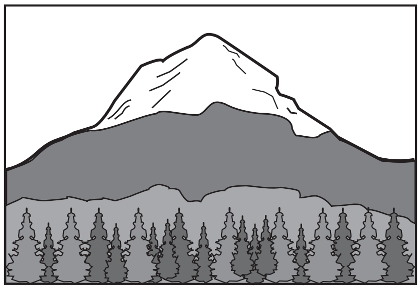
アルバム内の画像ファイルが16個の小画面で表示されます。
スクロールボックスが画面の右側に表示されます。



さらに表示したいときは、下段の画像を選び↓ を押します。前の画面に戻るには、上段の画像を選び↑ を押します。

2 ←/↑/↓/→ で再生したい画像を選び、決定ボタンを押す。

選んだ画像が画面に表示されます。
例）



次または前のJPEG画像を表示するには

再生中に、←/→ を押します。再生中のアルバムの最後のファイルで→を押すと、次のアルバムの最初のファイルを選べます。

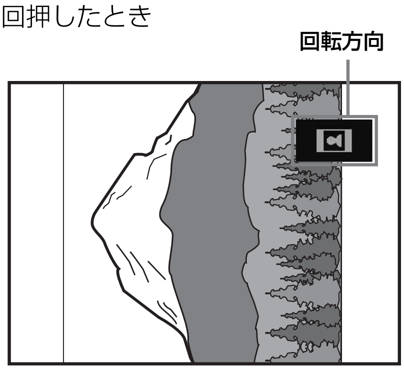
ちょっと一言

「音声映像選択モード」（51 ページ）を設定して、再生するデータの種類（MP3 音声のみ、JPEG 画像のみ）を選べます。

JPEG画像を回転させるには

画像を見ながら、↑/↓を押します。↑を押すたびに、左に90度回転します。
通常の表示に戻すにはクリアボタンを押します。
←/→で前または次の画像を選んでも、通常の表示に戻ります。

例）↑を１回押したとき

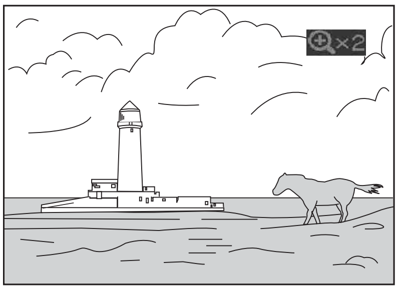


JPEG画像を拡大する（ズーム）

画像を見ながらズームボタンを押します。
画像を4倍まで拡大させることができます。←/↑/↓/→で拡大した範囲を動かすこともできます。
通常の大きさに戻すには、クリアボタンを押します。

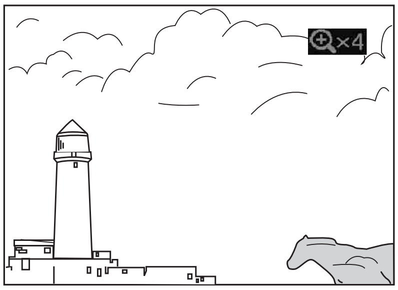
ズームボタンを1回押したとき（×2）

元の大きさの2倍に拡大します。



ズームボタンを2回押したとき（×4）

元の大きさの4倍に拡大します。



画像の表示を止めるには

■を押します。

データCDの再生モードを選ぶ（音声映像選択モード）

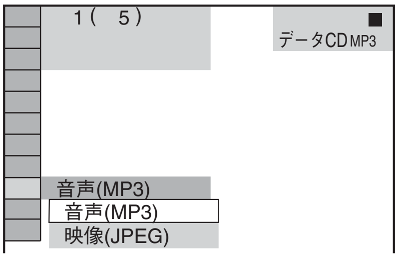
データCD内にMP3音声とJPEG画像の両方が入っているときは、MP3音声またはJPEG画像のどちらを再生するかを選びます。

1 停止中に画面表示ボタンを押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （音声映像選択モード）を選び、決定ボタンを押す。

「音声映像選択モード」の設定項目が表示されます。



ご注意

「音声映像選択モード」が「音声（MP3）」に設定されていると、ピクチャーナビボタンは使えません（51 ページ）。

ちょっと一言

- JPEG 画像ファイルを再生中に、「スライド送り時間」（53 ページ）や「スライド効果」（53 ページ）を変更することもできます。
- コントロールメニューの「日付」の欄には、デジタルカメラで撮影した日付が表示されます（11 ページ）。ただしデジタルカメラによっては表示されない場合があります。
- 「Exif*」タグが記録されている JPEG 画像の再生時、日付を確認できます。

* 「Exchangeable Image File Format」は電子情報技術産業協会（JEITA）によって規定されたデジタルカメラの画像形式です。

つづく

3 ↑/↓ で設定項目を選び、決定ボタンを押す。

お買い上げ時の設定は下線の項目です。
- 音声（MP3）：MP3音声のみを続けて再生します。
- 映像（JPEG）：JPEG画像のみを続けて再生します。

JPEG 画像をスライドショーとして楽しむ DATA-CD

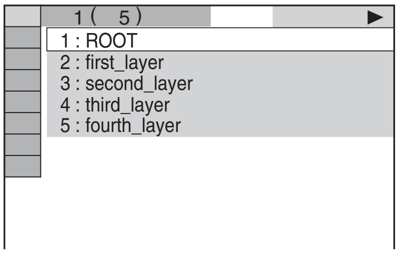
データCDに含まれているJPEG画像をスライドショーとして再生することができます。

1 画面表示ボタンを 2 回押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （アルバム）を選び、決定ボタンを押す。

データCDで記録されているアルバムの一覧が表示されます。



3 ↑/↓ で再生したいアルバムを選び、決定ボタンを押す。

選んだアルバムのJPEG画像のスライドショーが始まります。

再生を止めるには

■を押します。

ご注意
- 「音声映像選択モード」で「音声（MP3）」を選んでいるときにJPEG 画像のみのアルバムを再生しようとすると、「オーディオデータがありません」というメッセージが画面に表示されます。
- 「音声映像選択モード」で「画像（JPEG）」を選んでいるときに MP3 音声のみのアルバムを再生しようとすると、「画像データがありません」というメッセージが画面に表示されます。
- ↑/↓ またはズームボタンを押したとき、スライドショーは停止します。スライドショーを再開するには、ᐅ を押してください。
- 「音声映像選択モード」で、「音声（MP3）」が設定されているとき、スライドショーの機能は働きません。
- JPEG 画像のファイルサイズによっては、表示するまでに時間がかかることがあります。

スライドショーの間隔を設定する(スライド送り時間)

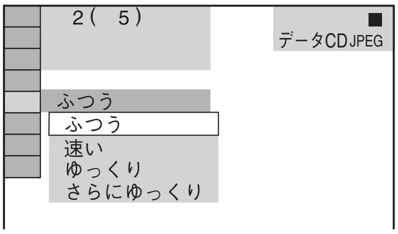
スライドが画面に表示される時間を設定できます。

1 画面表示ボタンを 2 回押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で (スライド送り時間)を選び、決定ボタンを押す。

「スライド送り時間」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓ で設定項目を選ぶ。

お買い上げ時の設定は下線の項目です。

- ふつう:通常はこの設定にする。
- 速い:「ふつう」より短く表示する。
- ゆっくり:「ふつう」より長く表示する。
- さらにゆっくり:「ゆっくり」より長く表示する。

4 決定ボタンを押す。

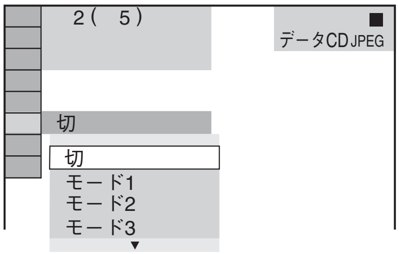
スライドの表示のしかたを設定する(スライド効果)

スライド切り換え時の効果を選べます。

1 画面表示ボタンを 2 回押す。

2 ↑/↓ で (スライド効果)を選び、決定ボタンを押す。

「スライド効果」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓ でで設定項目を選ぶ。

お買い上げ時の設定は下線の項目です。

- 切:スライド効果は働きません。
- モード1:画像が上から下に向かって表示されます。
- モード2:画像が左から右に向かって表示されます。
- モード3:画像が画面中央から外側に向かって表示されます。
- モード4:スライド効果がランダムに選ばれます。
- モード5:次の画像が前の画像に重なって表示されます。

4 決定ボタンを押す。

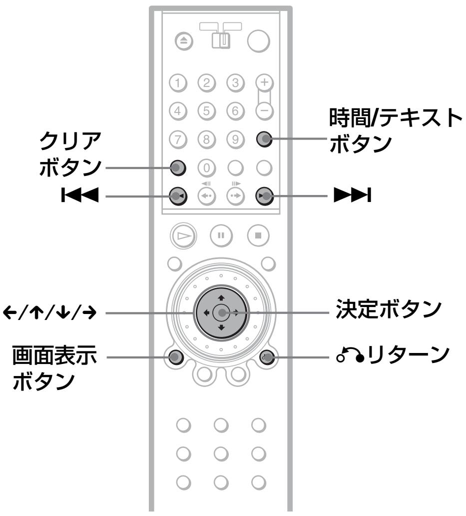
ご注意

プログレッシブ JPEG 画像ファイルや 300 万画素以上の JPEG 画像ファイルでは、表示するまでに時間がかかるものがあります。

ディスクに名前をつける

（ディスクメモ）

テキストが記録されていないディスクであれば、ディスクに名前をつけることができます。ディスクメモはそれぞれのディスクに20文字まで入力できます。
記録したディスクメモはディスクを取り出しても記録されています。ディスクメモは、タイトルや、ミュージシャンの名前、カテゴリー、購入日時など好きなものを記録できます。

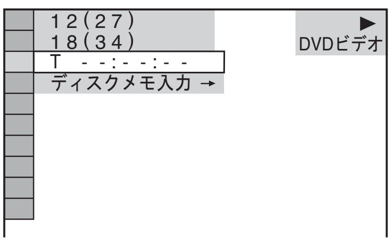


ディスクに名前をつける DVD-V VIDEO CD Super Audio CD CD

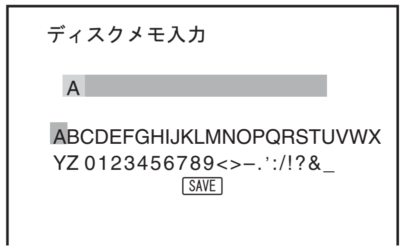
1 名前を付けたいディスクを入れる。

2 画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

3 ↑/↓で （時間/メモ）を選び、決定ボタンを押す。
「ディスクメモ入力 →」が表示されます。

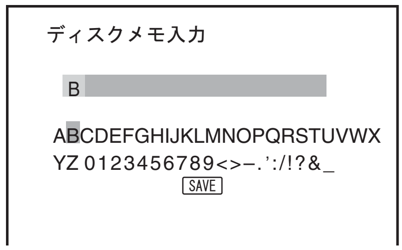


4 ↓を押して「ディスクメモ入力 →」を選び、決定ボタンを押す。
ディスクメモ入力画面が表示されます。



5 ←/↑/↓/→を押すか、クリックシャトルを回して文字を選ぶ。
選んだ文字の色が変わります。

6 決定ボタンを押す。



7 手順5と6を繰り返して文字を入力する。

8 すべての文字を入力したら、←/↑/↓/→を押して「SAVE」を選び、決定ボタンを押す。
ディスクメモが記録されます。

画面表示を消すには

リターンを押します。

文字を削除するには

1 「ディスクに名前をつける」の手順5で、⏮/⏭を押して、削除したい文字にカーソルをあわせる。

2 クリアボタンを押す。

ご注意

400枚まで名前が付けられ、401枚目に付けると1枚目の名前が消えます。

文字を挿入するには

1 「ディスクに名前をつける」の手順5または6で、⏮または ⏭ を押して、修正したい文字にカーソルをあわせる。

2 ←/↑/↓/→を押すか、クリックシャトルを回して文字を選ぶ。

3 決定ボタンを押す。

ディスクメモを確認するには

時間/テキストボタンを押します。
ディスクメモが表示窓と、テレビ画面の下に表示されます。

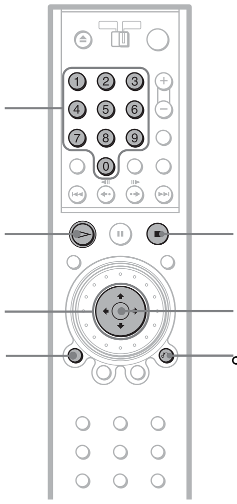
ディスクの再生を制限する

（カスタム視聴制限、視聴制限）

本機には、ディスクの再生を制限する次の2種類の機能があります。

- カスタム視聴制限
  本機で特定のディスクを再生できないようにする。
- 視聴制限
  視聴制限つきDVDビデオの再生できるシーンを制限する。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し替えて再生します。

カスタム視聴制限も視聴制限も、登録した同じ暗証番号を使って設定します。



カスタム視聴制限―設定する DVD-V DVD-RW VIDEO CD Super Audio CD CD DATA-CD

登録した暗証番号を使って、400枚までのディスクにカスタム視聴制限を設定できます。401枚目のディスクを設定すると、1番最初に設定したディスクの制限が解除されます。

1 設定したいディスクを入れる（27 ページ）。
ディスクを再生しているときは、■を押して再生を止めます。

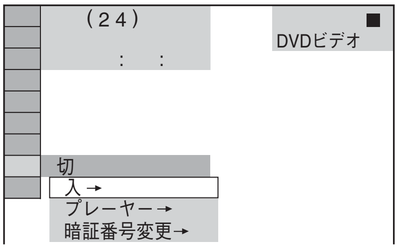
2 画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

ちょっと一言
暗証番号を忘れてしまったときは、「カスタム視聴制限」画面で、暗証番号を入力する案内が表示されているとき、6 桁の数字「199703」を数字ボタンで入力します。画面に、新しい 4 桁の暗証番号を入力する案内が表示されます。

つづく

3 ↑/↓ で（視聴制限）を選び、決定ボタンを押す。

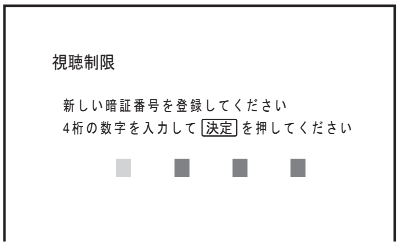
「視聴制限」の設定項目が表示されます。



4 ↑/↓ で「入 →」を選び、決定ボタンを押す。

暗証番号が登録されていないとき

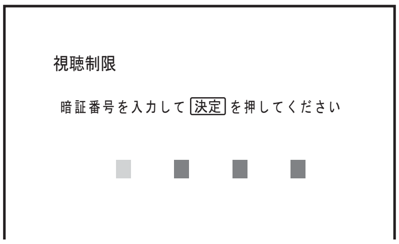
暗証番号登録の画面が表示されます。



数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押します。
暗証番号確認の画面が出ます。

暗証番号がすでに登録されているとき

暗証番号入力の画面が出ます。



5 数字ボタンで４桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

「カスタム視聴制限を設定しました」と表示され、コントロールメニュー画面に戻ります。

カスタム視聴制限を解除するには

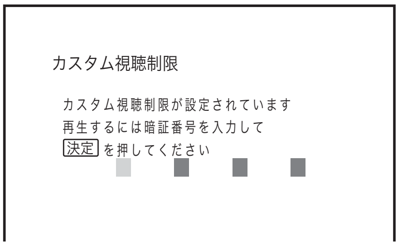
1 「カスタム視聴制限―設定する」の手順１～３を繰り返す。

2 ↑/↓で「切→」を選び、決定ボタンを押す。

3 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

カスタム視聴制限―再生する

1 カスタム視聴制限が設定されたディスクを入れる。
「カスタム視聴制限」の画面が表示されます。



2 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
再生できる状態になります。

視聴制限―設定する DVD-V

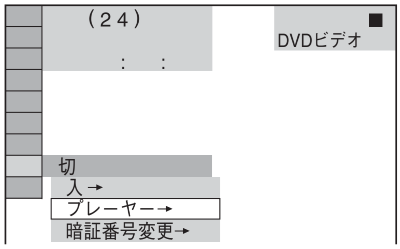
DVDビデオには、地域ごとに設けられたレベル（見る人の年齢など）によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。視聴制限機能を使うと、この視聴制限レベルを設定できます。

1 停止中に画面表示ボタンを押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で（視聴制限）を選び、決定ボタンを押す。

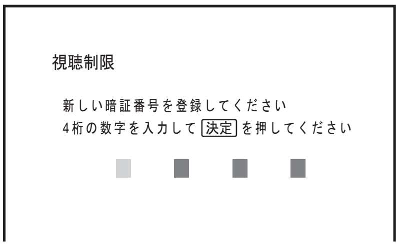
「視聴制限」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓で「プレーヤー→」を選び、決定ボタンを押す。

暗証番号が登録されていないとき

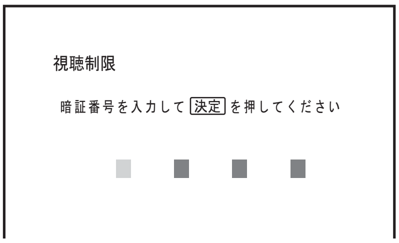
暗証番号登録の画面が表示されます。



数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
暗証番号確認の画面が出ます。

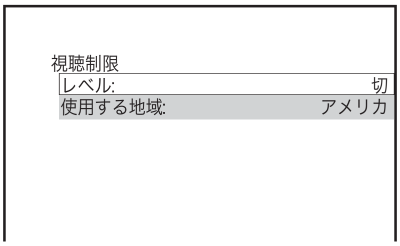
暗証番号がすでに登録されているとき

暗証番号入力の画面が出ます。



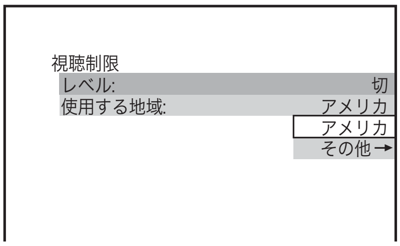
4 数字ボタンで４桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

視聴制限のレベル設定変更の画面が表示されます。



5 ↑/↓で「使用する地域」を選び、決定ボタンを押す。

「使用する地域」の選択項目が表示されます。

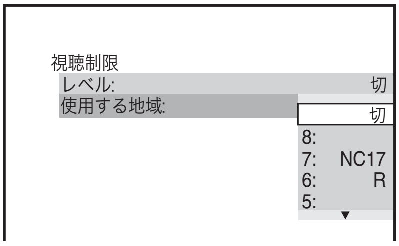


6 ↑/↓で視聴制限レベルの基準にする地域を選び、決定ボタンを押す。

地域が選ばれます。
「その他→」を選んだときは、76ページの表から地域コードを選び、数字ボタンで入力します。

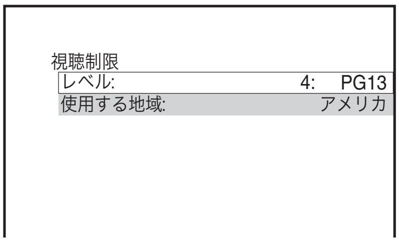
7 ↑/↓で「レベル」を選び、決定ボタンを押す。

「レベル」の選択項目が表示されます。



8 ↑/↓で制限するレベルを選び、決定ボタンを押す。

視聴年齢制限の設定が終了します。



レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

ご注意

- 視聴制限機能がないディスクは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。
- ディスクによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。つづき再生が解除されたときに、設定したもとのレベルに戻ります。

ちょっと一言

登録した暗証番号を忘れてしまったときは、ディスクを取り出し、「視聴制限―設定する」の手順１～３にしたがって操作します。暗証番号を入力する案内が表示されたら、６桁の数字「199703」を数字ボタンで入力して、決定ボタンを押します。画面に新しい４桁の暗証番号を登録する案内が表示されます。新しい暗証番号を入力して、ディスクを本機に入れなおし、▷を押します。暗証番号入力画面が表示されるので、新しい暗証番号を入力します。

つづく

視聴制限を解除するときは

手順8で「レベル」を「切」にします。

視聴制限―再生する

1 ディスクを入れて、▷ を押す。
視聴制限の暗証番号入力画面が表示されます。

2 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
再生が始まります。

暗証番号を変更するには

1 停止中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で  (視聴制限)を選び、決定ボタンを押す。
「視聴制限」の設定項目が表示されます。

3 ↑/↓で「暗証番号変更→」を選び、決定ボタンを押す。
暗証番号入力の画面が表示されます。

4 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

5 数字ボタンで新しい4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

6 確認のため、数字ボタンでもう一度暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

暗証番号を間違えたときは

決定ボタンを押す前に、←を押して入力しなおします。

間違えたときは

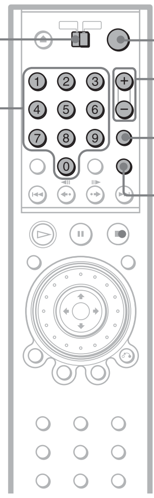
リターンを押します。

画面表示を消すには

画面表示が消えるまで、画面表示ボタンを繰り返し押します。

付属のリモコンでテレビやアンプを操作する

リモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせると、本機のリモコンでテレビの音量や電源などを操作できます。
また、AVアンプに本機をつないでいるときは、本機のリモコンでアンプの音量を調整することもできます。



リモコンで各社のテレビを操作する

1 TV/DVD スイッチを「TV」にする。

2 リモコンの電源ボタンを押したまま、テレビのメーカー番号を数字ボタンで入力する(「テレビのメーカー番号」をご覧ください)。

3 電源ボタンをはなす。
TV/DVDスイッチを「TV」にすると、以下のボタンを使ってテレビの操作ができるようになります。

押すボタン	できること
電源	テレビの電源を入/切する
音量+/−	テレビの音量を調整する
入力切換	テレビの入力を切り換える
ワイド切換	テレビのワイドモードを切り換える

テレビのメーカー番号

メーカー番号が2つ以上あるときは、順に試してテレビが操作できる番号を選んでください。

メーカー	メーカー番号
ソニー	01、12
アイワ	01、17
NEC	09
三星電子（SAMSUNG）	19、18
三洋電機	07、15
シャープ	08、16
東芝	03
日本ビクター	06
パイオニア	10
日立製作所	04
富士通	11
フナイ	14
松下電器	02、13
三菱電機	05

AVアンプの音量を操作する

1 TV/DVD スイッチを「DVD」にする。

2 リモコンの電源ボタンを押したまま、AV アンプのメーカー番号を数字ボタンで入力する（「AV アンプのメーカー番号」をご覧ください）。

3 電源ボタンをはなす。

音量＋/－ボタンでAVアンプの音量を調整できるようになります。

テレビの音量を調整するには

TV/DVDスイッチを「TV」にしてから操作します。

AVアンプのメーカー番号

メーカー番号が2つ以上あるときは、順に試してAVアンプが操作できるものを選んでください。

メーカー	メーカー番号
ソニー *	78、79、80、91
デノン	84、85、86
ケンウッド	92、93
オンキヨー	81、82、83
パイオニア	99
山水電気	87
テクニクス	97、98
ヤマハ	94、95、96

* ソニー製の AV アンプをリモコンで操作できない場合、メーカー番号に 91 を入力して、AV アンプのコマンドモードを「コマンドモード（AV1）」（AV アンプによっては設定項目にない場合もあります。）に変更してください。詳しくは、お使いの AV アンプの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

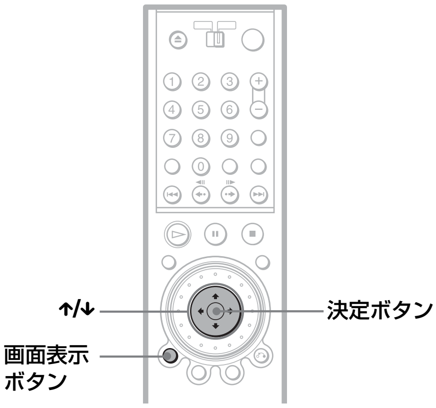
- 接続している機器によってはメーカー番号を合わせてもテレビを操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。
- メーカー番号を入力すると、それまでのメーカー番号は消えます。
- リモコンの電池を取り換えたときは、メーカー番号が自動的にお買い上げ時の設定に戻ることがあります。その場合は、メーカー番号をもう一度入力し直してください。

ちょっと一言

90（お買い上げ時の設定）に設定すると、TV/DVD スイッチが「DVD」のときでもテレビの音量を調整できます。

設定画面を使う

設定画面を使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。また、DVDの字幕の言語やメニューの表示言語の設定などもできます。各項目について詳しくは、61～68ページをご覧ください。

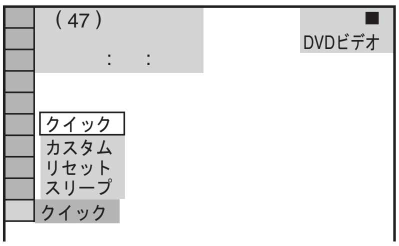


1 停止中に画面表示ボタンを押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

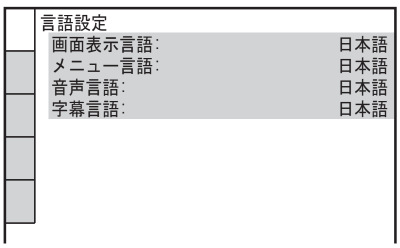
2 ↑/↓ で （設定）を選び、決定ボタンを押す。

「設定」の設定項目が表示されます。



3 ↑/↓ で「カスタム」を選び、決定ボタンを押す。

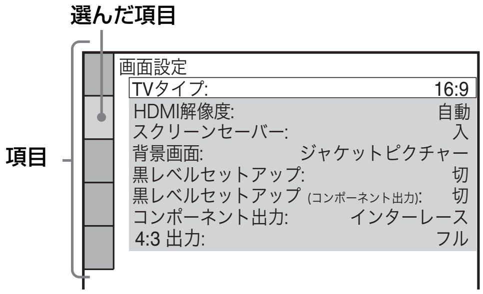
設定画面が表示されます。



4 ↑/↓ で「言語設定」「画面設定」「視聴設定」「オーディオ設定」「スピーカー設定」の中から、設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。

選んだ項目の画面が表示されます。

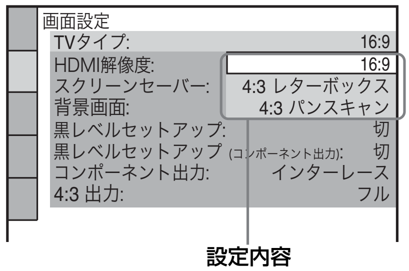
例：「画面設定」



5 ↑/↓ でさらに設定項目を選び、決定ボタンを押す。

設定項目の内容が一覧表示されます。

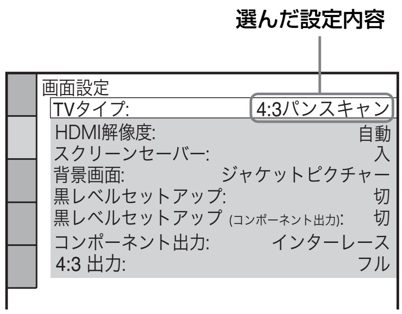
例：「TVタイプ」の設定内容



6 ↑/↓ で設定内容を選び、決定ボタンを押す。

設定内容が選ばれ、設定が終了します。

例：「4:3レターボックス」



ご注意

あらかじめ再生条件がディスクに設定されているものがあります。その場合はディスクの情報が有効になります。

画面表示を消すには

画面表示が消えるまで画面表示ボタンを繰り返し押します。

クイック設定をするには

手順2の後で「クイック」を選びます。決定ボタンを押すとクイック設定ができます。「手順6：クイック設定をする」（24ページ）の手順5以降にしたがって、設定していきます。

お買い上げ時の設定に戻すには

1 手順２の後で「リセット」を選び、決定ボタンを押す。

2 ↑/↓で「はい」を選ぶ。

3 決定ボタンを押す。
61ページから68ページまでのすべての設定は、お買い上げの設定に戻ります。
すべての設定をリセットするまで数秒かかります。リセット中はリモコンの電源ボタンや本体のI/⏻（電源）ボタンを押して、電源を切らないでください。

スリープタイマーを設定するには

1 手順２の後で「スリープ」を選び、決定ボタンを押す。

2 ↑/↓で時間を選ぶ。
時間の単位は「分」です。

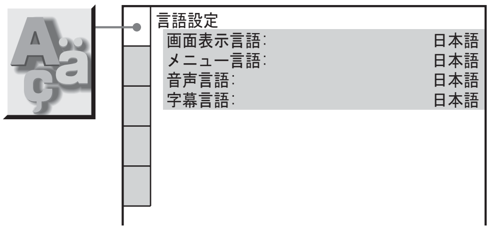
3 決定ボタンを押す。

表示言語や音声言語の設定

（言語設定）

画面や音声の言語を設定します。

設定画面で「言語設定」を選びます（「設定画面を使う」60ページ）。



■画面表示言語
画面の表示言語を切り換えます。

■メニュー言語（DVDビデオのみ）
ディスクのメニューの言語を切り換えます。

■音声言語（DVDビデオのみ）
音声の言語を切り換えます。

■字幕言語（DVDビデオのみ）
DVDビデオに記録されている字幕の言語を切り換えます。

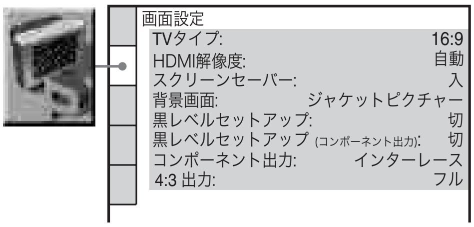
ご注意
スリープタイマーを設定したあと、経過時間は表示されません。

ちょっと一言
- 「メニュー言語」、「字幕言語」または「音声言語」で選んだ言語が DVD ビデオに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。
- 「メニュー言語」「音声言語」「字幕言語」で「その他 →」を選んだときは、言語コード一覧表（76 ページ）から言語コードを選び入力してください。数字ボタンで言語コードを入力します。

画像に関する設定(画面設定)

接続するテレビに合わせて設定します。

設定画面で「画面設定」を選びます（「設定画面を使う」60ページ）。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

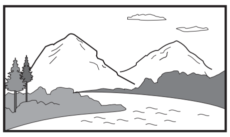


■TVタイプ

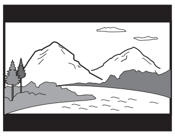
接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の4:3画面テレビ）を設定します。

- 16:9
  ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき
- **4:3レターボックス**
  4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する
- **4:3パンスキャン**
  4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する

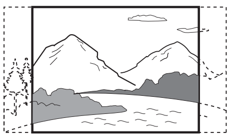
16:9



4:3レターボックス



4:3 パンスキャン



■HDMI解像度

HDMI OUT端子から出力される映像信号の種類を選びます。「自動」（お買い上げ時の設定）を選んだとき、本機はテレビが受信できる最も高い解像度の映像信号を出力します。画面が明瞭でない場合、ディスクまたはテレビ、プロジェクターに合う別の設定項目を設定してください。詳しくは、テレビやプロジェクターなどに付属の取扱説明書をご覧ください。

- **自動**
  通常はこの設定にする
- 1920×1080i
  1920×1080iの映像信号を送る
- 1280×720p
  1280×720pの映像信号を送る
- 720×480p
  720×480pの映像信号を送る

■スクリーンセーバー

一時停止または停止したままで15分経つか、スーパーオーディオCDやCD、データCD（MP3音声）を15分以上再生すると、スクリーンセーバーの画面に切り換わるよう設定します。画像の焼き付き（残像現象）を防ぐのに役立ちます。▷を押すと、スクリーンセーバー画面は消えます。

- **入**
  スクリーンセーバーを使う
- **切**
  スクリーンセーバーを使わない

ご注意

- DVDによっては「4:3 レターボックス」あるいは「4:3 パンスキャン」に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。
- 接続しているテレビが設定した解像度を受信できない場合は、「自動」以外の設定が選ばれていても、自動的にテレビに合わせた映像信号を出力します。

■背景画面

停止中やスーパーオーディオCD/CD/データCD（MP3音声）再生中などの、画面の背景色や背景画面を設定します。

- **ジャケットピクチャー**
  ディスク（DVDなど）にあらかじめ記録されているジャケットピクチャー（静止画像）を表示する。ディスクにジャケットピクチャーが記録されていないときは、「グラフィックス」の画像が表示される
- **グラフィックス**
  あらかじめ本機に記録されている静止画像を表示する
- **青**
  背景色を「青」にする
- **黒**
  背景色を「黒」にする

■黒レベルセットアップ

本機のCOMPONENT VIDEO OUT/HDMI OUT端子以外から出力された映像信号の、黒レベル（セットアップレベル）の基準レベルを切り換えます。

- **切**
  出力信号の黒レベルを基準レベルにする。通常はこの設定にする
- **入**
  黒レベルの基準レベルを上げる。テレビに映る画像が極端に暗いときは、この設定にする

■黒レベルセットアップ（コンポーネント出力）

本機のCOMPONENT VIDEO OUT端子から出力された映像信号の、黒レベル（セットアップレベル）の基準レベルを切り換えます。「コンポーネント出力」で「プログレッシブ」が選ばれていると設定できません。

- **切**
  出力信号の黒レベルを基準レベルにする。通常はこの設定にする
- **入**
  黒レベルの基準レベルを上げる。テレビに映る画像が極端に暗いときは、この設定にする

■コンポーネント出力

本機のCOMPONENT VIDEO OUTから出力される映像信号の方式を選びます。2つの異なる映像信号の方式について詳しくは、72ページをご覧ください。

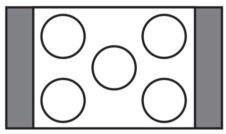
- **インターレース**
  通常のテレビ（インターレース方式）につないでいるときに選ぶ
- **プログレッシブ**
  プログレッシブ方式に対応したテレビにつないでいるときに選ぶ

設定を変えた場合、確認画面が表示されます。10秒以内に「はい」または「いいえ」を選ばなかった場合、設定は中止され、設定画面に戻ります。

■4:3出力

「画面設定」で「TVタイプ」を「16:9」に設定したとき有効です。プログレッシブ（480p）方式対応のテレビでアスペクト比を変更できるときは、テレビの設定を変更してください。
この設定は、HDMI接続のとき、またはCOMPONENT VIDEO OUT端子からプログレッシブ出力されるときのみ有効です。

- **フル**
  接続しているテレビでアスペクト比を切り換えられるときに選ぶ
- **ノーマル**
  アスペクト比が固定で、テレビで切り換えられないときに選ぶ。16:9のテレビでは左右に黒い帯が入った状態で表示される



16:9のテレビ

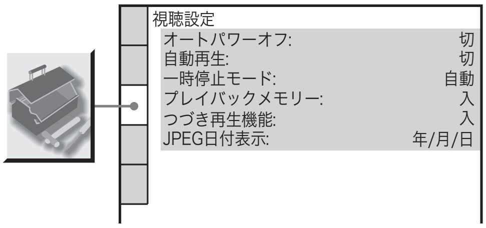
ちょっと一言

「プログレッシブ」を選んでいるときに、強制的にインターレースに切り換えるには、本体の ■ を押したまま、► を押します。

視聴に関する設定（視聴設定）

再生するときの視聴に関する設定を再生などの条件に合わせて設定します。

設定画面で「視聴設定」を選びます（「設定画面を使う」60ページ）。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。



■オートパワーオフ

オートパワーオフの設定をします。

- **切**
  オートパワーオフの機能を使わない
- **入**
  ディスクを再生していないときに30分以上本体またはリモコンを操作しないと、自動的にスタンバイモード（待機状態）になる

■自動再生

電源が入ったときの動作を設定します。本機をタイマー（別売り）と接続したときに設定すると便利です。

- **切**
  自動再生しない
- **入**
  電源が入ったとき、自動で再生を始める

■一時停止モード（DVDビデオ/DVD-RWのみ）

一時停止にしたときの画像のモードを設定します。

- **自動**
  大きく動きのある被写体のある画像がぶれずに見られる。通常はこの設定にする
- **フレーム**
  動きの少ない被写体の画像が高い解像度で見られる

■プレイバックメモリー（DVDビデオ/ビデオCD/データCD（JPEG）のみ）

各ディスクごとの「ビデオコントロール」の設定をディスク400枚まで本機に記憶させておくことができます（プレイバックメモリー）。ディスクの設定を記憶させるかどうかの設定をします。

- **入**
  ディスクを取り出すとき、およびディスクを入れたままスタンバイモードにしたとき、設定を記憶する
- **切**
  設定を記憶しない

■つづき再生機能（DVDビデオ/ビデオCDのみ）

つづき再生を設定します。設定すると40枚のディスクまでつづき再生を本機に記録することができます（29ページ）。

- **入**
  40枚のディスクまでつづき再生を記録する（「切」に設定しても、記録は消去されません）
- **切**
  本機にディスクを入れたままのときを除き、つづき再生を記録しない

■JPEG日付表示（データCDのみ）

JPEG日付情報の表示方法を切り換えます。

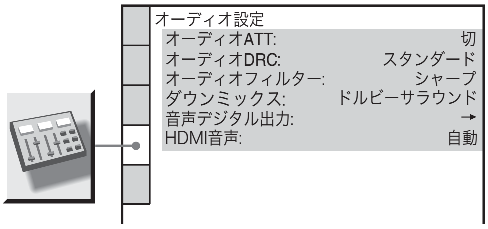
- **年/月/日**
- **月/日/年**
- **日/月/年**

ご注意

プレイバックメモリーは、ディスク 400 枚まで設定を記憶できます。401 枚を越えると、記憶された順序の古いディスクから上書きされます。

音声に関する設定（オーディオ設定）

再生するときの音の設定を、再生や接続などの条件に合わせて
設定します。
設定画面で「オーディオ設定」を選びます（「設定画面を使う」60ページ）。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。



オーディオ設定の有効範囲

項目	端子				
	AUDIO OUT L/R 1/2	**5.1CH OUTPUT**	**DIGITAL OUT（COAXIALまたはOPTICAL）**	**HDMI OUT**	**i.LINK S200（AUDIO）**
オーディオATT	○	○	–	–	–
オーディオDRC	–	○	–	–	–
オーディオフィルター	○	○	–	–	–
ダウンミックス	○	–	○	○	○
音声デジタル出力					
入/切	–	–	○	–	–
ドルビーデジタル	–	–	○	○*	○
DTS	–	–	○	○*	○
48 kHz/96 kHz PCM	–	–	○	–	○**
HDMI音声	–	–	–	○	–

* 設定された信号を受信できない機器が HDMI OUT 端子に接続されているとき、自動的に接続された機器に合わせて信号を切り換えます。

** ディスクによっては、「96kHz/24bit」に設定していても、48kHz/16bit で出力される場合があります。

■オーディオATT（attenuation）

（アテニュエイション）

本機の音声出力レベルを低くして、音が歪まないようにします。
この機能は、次の端子からの出力に効果があります。
— AUDIO OUT L/R（1、2）端子
— 5.1CH OUTPUT端子

- **<u>切</u>**
  通常はこの設定にする
- **入**
  スピーカーからの音が歪むときなどにこの設定を選ぶ

■オーディオDRC（Dynamic Range Control）（DVDビデオ/DVD-RWのみ）

（ダイナミック レンジ コントロール）

DVDの音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。オーディオDRCに対応のDVDにのみ効果があります。
この機能は、次の端子からの出力に効果があります。
— 5.1CH OUTPUT端子

- **<u>スタンダード</u>**
  通常はこの設定にする
- **ワイドレンジ**
  迫力のある音になる

ご注意

- 「オーディオ DRC」が「ワイドレンジ」に設定されているとき、AUDIO OUT L/R（1、2）または HDMI OUT 端子に接続されている機器から音声が出力されないことがあります。
- 「ドルビーデジタル」が「ダウンミックス PCM」に設定されているとき、「オーディオ DRC」は「ワイドレンジ」に設定できません。すでに、「オーディオ DRC」が「ワイドレンジ」に設定されているときに、「ドルビーデジタル」を「ダウンミックス PCM」に設定すると、強制的に、「オーディオ DRC」は「スタンダード」になります。

つづく

■オーディオフィルター（スーパーオーディオCDを除く）

22.05kHz（Fs - サンプリング周波数 - 44.1kHzのとき）、24kHz（Fs 48kHz）、48kHz（Fs 96kHzのとき）以上の雑音を除去するために使う、デジタルフィルターの種類を選びます。

- シャープ
  フラットな音質で明瞭な音像定位が得られる。通常はこの設定にする
- スロー
  雰囲気のあるあたたかい音が得られる

■ダウンミックス（DVDビデオ/DVD-RWのみ）

リアスピーカーの音声成分（チャンネル）を含むドルビーデジタルまたはDTS方式で記録されているDVDを2チャンネルに変換して再生するとき、この設定を切り換えます。リア音声成分（チャンネル）について詳しくは「再生中のチャンネルを表示する」（43ページ）をご覧ください。
この設定は、次の端子からの出力に効果があります。
— AUDIO OUT L/R（1、2）端子
— 「ドルビーデジタル」と「DTS」を「ダウンミックスPCM」に設定したときのDIGITAL OUT (COAXIALまたはOPTICAL)/HDMI OUT/i.LINK端子（66ページ）

- ドルビーサラウンド
  ドルビーサラウンド（プロロジック）対応のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ
- ノーマル
  ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応していないオーディオ機器を接続したときに選ぶ

■音声デジタル出力（スーパーオーディオCDを除く）

DIGITAL OUT（COAXIALまたはOPTICAL）端子から音声信号を出力するかしないかを選びます。

- 入
  通常はこの設定にする。
- 切
  デジタル回路がアナログ回路に与える影響を最小限に抑えられる

■ドルビーデジタル（DVDビデオ/DVD-RWのみ）

ドルビーデジタル信号のデジタル出力方式を選びます。

- ダウンミックスPCM
  ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。出力される信号のサラウンド効果の有無は「オーディオ設定」の「ダウンミックス」の設定によって決まる（66ページ）
- ドルビーデジタル
  ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ

■DTS（DVDビデオ/DTS-CDのみ）

DTS信号のデジタル出力方式を選びます。

- ダウンミックスPCM
  DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときに選ぶ
- DTS
  DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ

■48kHz/96kHz PCM（DVDビデオのみ）

オーディオ信号のサンプリング周波数を選びます。

- 48kHz/16bit
  DVDビデオのオーディオ信号は48kHz/16bitに変換されて出力される
- 96kHz/24bit
  96kHz/24bitの信号を含むすべての信号がそのまま出力される。ただし、著作権保護のための信号が含まれているときは48kHz/16bitで出力される

■HDMI音声

HDMI OUT端子から出力される音声信号の種類を選ぶ。

- 自動
  通常、この設定を選ぶ。「音声デジタル出力」（66ページ）の設定によって音声信号を出力する
- PCM
  ドルビーデジタルまたはDTS、96kHz/24bitのPCMの信号を48kHz/16bitのPCMの信号に変換する

ご注意

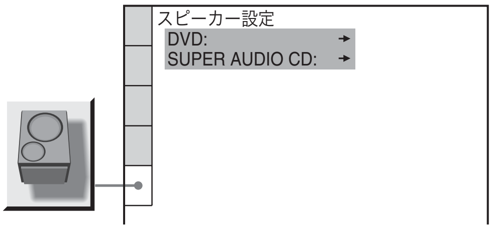
- ディスクや視聴条件によっては、効果がわかりにくいことがあります。
- 「DTS」を DTS に設定し、DTS-CD を再生しているとき、音声信号は AUDIO OUT L/R（1、2）端子からは出力されません。DTS の信号を受信できない機器が HDMI OUT 端子に接続されているとき、音声信号は HDMI OUT 端子から出力されません。
- AUDIO OUT L/R（1、2）端子または 5.1CH OUTPUT 端子から出力されるアナログ信号には、サンプリング周波数「48kHz/96kHz PCM」の設定は働きません。
- HDMI OUT 端子が接続している機器が 96kHz/24bit に対応していない場合、「96kHz/24bit」に設定していても、出力は 48kHz/16bit に変換されます。
- スーパーオーディオ CD は DIGITAL OUT（COAXIAL または OPTICAL）/HDMI OUT 端子からは出力されません。
- 設定した音声信号の出力方式に対応していない機器を接続していると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。
- 本機に接続したテレビがドルビーデジタルや DTS の信号に対応してなかったり、「HDMI 音声」で「自動」が選ばれていたりすると、音が出なかったり異音が出たりすることがあります。この場合、「PCM」を選んでください。

スピーカーの設定をする

（スピーカー設定）

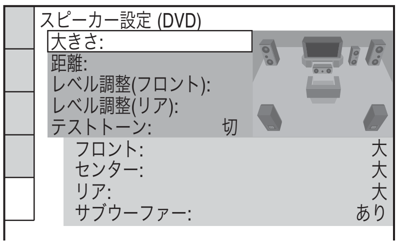
サラウンド効果を充分に楽しむために、つないだスピーカーの大きさと、リスニングポジションからスピーカーまでの距離を設定します。またテストトーンを使って、各スピーカーの音量が同じレベルになるように調整します。
この設定は、5.1 CH OUTPUT端子でスピーカーを接続している場合に有効です（20ページ）。
スーパーオーディオCD用とそれ以外のディスク用に、別々の設定をすることができます。
i.LINKの出力には、この設定は働きません。

1 **「設定画面を使う」（60 ページ）の手順 1 〜 4 で、「スピーカー設定」を選ぶ。**



2 **↑/↓ で「DVD」または「SUPER AUDIO CD」を選び、決定ボタンを押す。**

例：「DVD」を選んだとき



3 **下の説明を見ながら、順番に次の項目を設定する。**

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

最初の設定に戻すには

項目を選んでクリアボタンを押します。「大きさ」の設定は戻すことはできません。

■大きさ

つないだスピーカーの大きさを選びます。

フロント

- **大**
  通常はこの設定にする
- **小**
  低音再生が充分にできないスピーカーをつないだときに選ぶ

センター

- **大**
  通常はこの設定にする
- **小**
  低音再生が充分にできないスピーカーをつないだときに選ぶ
- **なし**
  センタースピーカーを接続しない場合に選ぶ

リア

- **大**
  通常はこの設定にする
- **小**
  低音再生が充分にできないスピーカーをつないだときに選ぶ。
- **なし**
  リアスピーカーを接続しない場合に選ぶ

サブウーファー

- **あり**
  サブウーファーを接続した場合に選ぶ。LFE（低音増強）信号はサブウーファーから出力される
- **なし**
  サブウーファーを接続しない場合に選ぶ

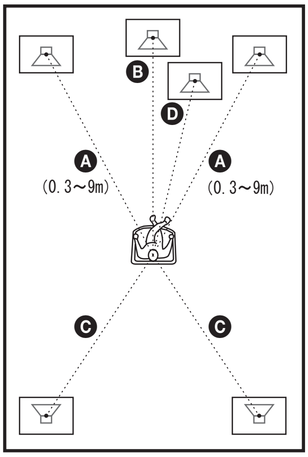
ご注意

- ご使用のスピーカーで低音再生が充分にできない場合は、低音再生用にサブウーファーをお使いいただくことをおすすめします。スピーカー設定を「小」に設定すると、低域再配分回路が働き、設定されたスピーカーの低域成分がサブウーファーから出力されます。
- 6 個以下のスピーカーに接続しているときは、本機の音声信号は、フロントスピーカーに配分されます。
- フロントスピーカーを「小」に設定したときは、センターおよびリアスピーカーを「大」に設定したり、サブウーファーを「なし」に設定することはできません。

つづく

■距離

各スピーカーの距離は次のように設定します。まず、「フロント」でリスニングポジションからフロントスピーカーまでの距離Ⓐを設定します。続いて、実際のセンターとリア、サブウーファーのスピーカーの距離になるように「センター」Ⓑと「リア」Ⓒ、「サブウーファー」Ⓓの値を調整します。



スピーカーを動かしたときは、スピーカーの位置に合うようにフロントから設定をやり直してください。
カッコ内の数値はお買い上げ時の設定値です。

- **フロント(3m)**
  0.3～9mの範囲。0.3m刻み
- **センター(3m)**
  「フロント」の設定距離から、－1.5mの範囲。0.3m刻み。例えば、「フロント」を6mに設定した場合、「センター」は4.5～6mの範囲に設定できる
- **リア(3m)**
  「フロント」の設定距離から、－4.5m以内の範囲。0.3m刻み。例えば、「フロント」を6mに設定した場合、「リア」は1.5～6mの範囲で設定できる
- **サブウーファー(3m)**
  「フロント」の設定距離から、－4.5m以内の範囲。0.3m刻み。例えば、「フロント」を6mに設定した場合、「サブウーファー」は1.5～6mの範囲で設定できる

■レベル調整(フロント)

各フロントスピーカーのレベルは次のように調整します。「テストトーン」を「入」に設定しておくと簡単に調整できます。
カッコ内の数値はお買い上げ時の設定値です。

- L(0dB)
  －6dB～0dBの範囲。0.5dB刻み
- R(0dB)
  －6dB～0dBの範囲。0.5dB刻み
- **センター(0dB)**
  －12dB～0dBの範囲。0.5dB刻み
- **サブウーファー(0dB)**
  －10dB ～0dBの範囲。0.5dB刻み

■レベル調整(リア)

各リアスピーカーのレベルは次のように調整します。「テストトーン」を「入」に設定しておくと簡単に調整できます。
カッコ内の数値はお買い上げ時の設定値です。

- L(0dB)
  －12dB～0dBの範囲。0.5dB刻み
- R(0dB)
  －12dB～0dBの範囲。0.5dB刻み

すべてのスピーカーの音量を同時に調整するには

アンプ側で音量調整をします。

■テストトーン

スピーカーからテストトーンを聞くことができます。5.1CH OUTPUT端子で接続しているときにこの設定をして、「レベル調整(フロント)」と「レベル調整(リア)」を調整します。

- **切**
  テストトーンは出ない
- **入**
  レベルを調整している間、調整しているスピーカーから順番にテストトーンが聞こえる

スピーカーの音量を調節する

1 **設定画面で「スピーカー設定」を選び、決定ボタンを押す。**

2 **「テストトーン」を選び、「入」にする。**
各スピーカーから順番にテストトーンが聞こえます。

3 **リスニングポジションの位置から、「レベル調整(フロント)」または「レベル調整(リア)」を選び、↑/↓ で設定を調整する。**

4 **調整が終わったら、「切」にして、テストトーンを消す。**

ご注意

- DIGITAL OUT(COAXIAL または OPTICAL)/HDMI OUT/i.LINK S200(AUDIO) 端子からテストトーンは出力されません。
- 距離の最低設定値は 0.3m です。
- フロントやリアの左右のスピーカーがリスニングポジションから等しい位置に置かれていない場合、最も近いスピーカーの位置に合わせて距離を設定してください。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう1度点検してください。正常に動作しないときは、本機の設定をお買い上げ時の状態に戻し（61ページ）、電源コードをつなぎ直してください。それでも正常に動作しないときは、お客様ご相談センターまたは、ソニーサービス窓口、お買い上げ店にお問い合わせください。

症状	原因と対応のしかた
電源が入らない。	→ 電源コードをしっかり差し込む。
映像が出ない、乱れる。	→ 接続コードをしっかり差し込む。 → 接続コードが断線している。 → テレビの接続を確認し（14ページ）、テレビの入力を本機の映像が映るように切り換える。 → ディスクに汚れや傷がある。 → 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続したり、ビデオ一体型テレビに接続している。この場合は、一部のDVDプログラムに使用されているコピープロテクション信号が画質に悪影響を及ぼす可能性があります。 本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子へ接続してみる（14ページ）。 → プログレッシブ方式に対応していないテレビとつないでいるときに、設定画面の「画面設定」の「コンポーネント出力」で「プログレッシブ」を選んでいる。この場合は、「コンポーネント出力」を「インターレース」に設定する（63ページ）。 → プログレッシブ（525）方式に対応しているテレビでも、設定画面の「画面設定」の「コンポーネント出力」で「プログレッシブ」を選ぶと映像が乱れることがあるため、この場合も、「コンポーネント出力」を「インターレース」に設定する（63ページ）。 → 「ビデオオフ」機能が設定されている（27ページ）。 → HDCPに対応していない入力機器を接続している（HDMIインジケーターが点灯しない）（15ページ）。 → HDMI OUT端子を映像出力端子として使っている場合、設定画面の「画面設定」の「HDMI解像度」の設定を変更してみる（62ページ）。 **1** HDMI OUT端子以外の映像端子を使ってテレビと本機をつないで、テレビの入力をつないだ映像端子の入力に切り換えて、映像を表示させる。 **2** 設定画面の「画面設定」の「HDMI解像度」の設定を変更し、テレビの入力をHDMIに戻す。それでも画面が表示されなければ、手順を繰り返し、他の設定を試してみる。
設定画面の「画面設定」の「TVタイプ」で設定した画像の形で再生できない。	→ 画像の形が固定されているDVDを再生している。
音が出ない。	→ 接続コードをしっかり差し込む。 → 接続コードが断線している。 → アンプの入力端子を間違えている（18～20ページ）。 → アンプの入力切換で本機の音声が出るように切り換えていない。 → 一時停止、スロー再生になっている。 → 早送りまたは早戻しになっている。 → i.LINKランプが点灯している。この場合は、i.LINK S200（AUDIO）端子からのみ音声が出力されているため、他の端子からは音が出ません。 → DIGITAL OUT（COAXIALまたはOPTICAL）/HDMI OUT端子から音が出ないときは設定画面の「オーディオ設定」の「音声デジタル出力」を「入」にする。またはスーパーオーディオCD以外を再生する（スーパーオーディオCDの音声信号はDIGITAL OUT（COAXIALまたはOPTICAL）/HDMI OUT端子から出力されません）（66ページ）。 → HDMI OUT端子につないでいる機器が音声信号フォーマットに対応していない。この場合、「オーディオ設定」の「HDMI音声」を「PCM」に設定する（66ページ）。 → 「オーディオDRC」を「スタンダード」に設定する（65ページ）。

つづく

症状	原因と対応のしかた
HDMI OUT端子から音が出ない。	→ HDMI OUT端子がDVI端子につながれている。DVI端子は音声信号に対応していません → スーパーオーディオCDを再生している。HDMI OUT端子からはスーパーオーディオCDは出力されません。 → 「ビデオオフ」機能が設定されている（27ページ）。 → 設定画面の「オーディオ設定」の「HDMI音声」を「PCM」に設定する（66ページ）。 → i.LINKランプが点灯しているときは、i.LINK S200（AUDIO）端子からのみ音声が出力されます。
音がひずむ。	→ 設定画面の「オーディオ設定」の「オーディオATT」を「入」にする（65ページ）。
音が小さい。	→ 設定画面の「オーディオ設定」の「オーディオATT」を「切」にする（65ページ）。
ドルビーデジタルやDTSの音声を再生しているとき、サラウンド効果がわかりづらい。	→ スピーカーの接続や設定を確認する（20、24、67ページ）。 → 5.1CH音声で記録されていないディスクを再生している。
センタースピーカーの音しか聞こえない。	→ 別のディスクを再生してみる。 ディスクによっては、センタースピーカーからだけ音声が聞こえることがあります。
「スピーカー設定」の設定が効かない。	→ i.LINK以外でつないだ機器を再生してみる。 i.LINKでつないだ機器には「スピーカー設定」は働きません。
リモコンで操作できない。	→ TV/DVDスイッチがTV側に切り換わっている。 → リモコンの電池が消耗している。 → リモコンと本体との間に障害物がある。 → リモコンと本体との距離が離れている。 → 本体のリモコン受光部に向けて操作していない。 → リモコンのコマンドモードの設定が本体の設定と合っていない（13ページ）。
再生が始まらない。	→ ディスクが裏返しに入っている。再生面を下にする。 → 再生できないディスクを入れている（4ページ）。 → 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている。 → 結露している（3ページ）。 → ファイナライズされていないディスクを再生しようとしている（5ページ）。
MP3音声を再生できない（48ページ）。	→ データCDがISO9660レベル1、レベル2、Jolietに準拠したMP3フォーマットで記録されていない。 → ファイルの拡張子が「.MP3」以外になっている。 → MP3ファイルのサンプリング周波数が44.1kHzまたは48kHz以外である。 → ファイルの拡張子が「.MP3」だが、MP3形式以外のデータである。 → MPEG 1 Audio Layer 3以外の音声である。 → MP3PROで記録された音声である。
JPEG画像を再生できない（48ページ）。	→ データCDがISOレベル１/レベル2またはJoliet に準拠するJPEGフォーマットで記録されていない。 → ファイルの拡張子が「.JPG」または「.JPEG」以外になっている。 → サイズがノーマルモードで5760（幅）×3840（高さ）以上、またはプログレッシブJPEG で800万画素以上である（これ以下でも表示できない場合があります）。 → 画面に適合しない（映像が縮小されている）。 → 「音声映像選択モード」の設定が「音声（MP3）」になっている（51ページ）。
MP3音声のアルバム/トラック名が正しく表示されない。	→ アルファベットと数字以外で名前が付けられている。 本機で表示できる文字はアルファベットと数字のみです。それ以外の文字は「＊」で表示されます。 → 再生しているMP3音声がID3タグを持っている。この場合は、ID3タグ情報がトラック名として表示されます。
再生がディスクの最初から始まらない。	→ プログラムまたはシャッフル、リピート、A-Bリピート再生になっている（32ページ）。 → つづき再生になっている（29ページ）。
再生が自動的に始まる。	→ 自動的に再生が始まるディスクを入れている。 → 設定画面の「視聴設定」の「自動再生」で「入」を選んでいる（64ページ）。
再生が自動的に止まる。	→ オートポーズ信号が記録されているディスクを再生している。この場合は、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。
停止、サーチ、スロー、リピート再生、シャッフル再生、プログラム再生などの操作ができない。	→ 操作を禁止しているディスクを再生している。ディスクに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

症状	原因と対応のしかた
音声言語を変更できない。	➔ リモコンで直接操作する代わりに、DVDメニューから操作する。 ➔ 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。 ➔ 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。
字幕を変更できない、または消すことができない。	➔ リモコンで直接操作する代わりに、DVDメニューから操作する（29ページ）。 ➔ 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。 ➔ 字幕の変更または消す事を禁止しているDVDを再生している。
アングルを変更して見ることができない。	➔ リモコンで直接操作する代わりに、DVDメニューから操作する（29ページ）。 ➔ 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。 ➔ 表示窓の「ANGLE」表示が点灯していない場面で、アングルを切り換えている（7ページ）。 ➔ アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。
正常に動作しない。	➔ 本体電源を抜いてみる（静電気などの影響が考えられます）。
ディスクトレイが開かず、表示窓に「LOCKED」と表示される。	➔ チャイルドロックが設定されている（28ページ）。
ディスクトレイが開かず、表示窓に「TRAY LOCKED」と表示される。	➔ お客様ご相談センター、ソニーサービス窓口、お買い上げ店に問い合わせてください。
データCDを再生中、テレビ画面に「データエラー」と表示される。	➔ MP3音声またはJPEG画像が壊れている。 ➔ MPEG1 Audio Layer3 以外の音声を再生している。 ➔ JPEG画像の形式がDCFに準拠していない（48ページ）。 ➔ 拡張子は「.JPG」または「.JPEG」だが、JPEG形式以外で記録されている。
テレビの入力が自動的に切り換わる。	➔ 「ビデオオフ」機能が設定されているときは、テレビが入力を自動的に切り換えることがあります。
「オーディオDRC」の設定が変更できない。	➔ 「デジタル出力」の「ドルビーデジタル」の設定が「ダウンミックスPCM」になっている（66ページ）。
表示窓が暗い、または消えている。	➔ 「DIMMER」機能が設定されている（8ページ）。

エラーメッセージ

症状	原因と対応のしかた
BUSFULL	つないだ機器の出力でi.LINKのバスが混み合っているため、本機から音声信号を出力できない。 ➔ つないだ機器から出力信号を送るのを止める（機器の電源を切るまたは停止ボタンを押すなど）。本機の電源をいったん切ってから入れ、もう一度再生を始める。
LOOP CONNECT	i.LINKの接続が輪（ループ）になっている。 ➔ 接続を確認する（22ページ）。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

この説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。
症状が改善されないときは、お客様ご相談センターへお問い合わせください。詳しくは、添付の「本機の調子がおかしいと思ったら」、「ソニーご相談窓口のご案内」、または裏表紙をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、CD/DVDプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

- 型名：DVP-NS9100ES
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 再生していたディスクのタイトル名：
- 再生していたディスクの種類（DVDビデオ、DVD-RW、DVD-Rなど）：
- つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

今後とも、ソニー製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

用語解説

■インターレース（飛び越し走査）（63ページ）

映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方式。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示するようになっている。

■インデックス（CD/スーパーオーディオCD）/ビデオインデックス（ビデオCD）（7、11、37ページ）

再生したい部分を見つけやすいように、1つのトラックをいくつかの部分に区切って番号を付けたもの。インデックスが記録されていないディスクもある。

■シーン（7ページ）

PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDで、メニュー画面や動画、静止画の区切りのこと。

■スーパーオーディオCD（30ページ）

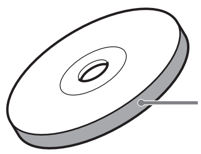
スーパーオーディオCDとは、現在のCDなどに用いられているPCM方式とは異なるDSD（ダイレクトストリームデジタル）方式で記録された、新しい高音質オーディオディスクの規格です。DSD方式は、CDの64倍にあたるサンプリング周波数で、1ビットの量子化の採用により、現行のCDをはるかに超える広い再生帯域と可聴帯域における充分なダイナミックレンジを確保し、原音をより忠実に再現します。

スーパーオーディオCDディスクの種類

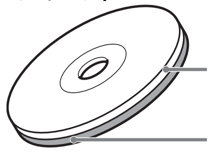
スーパーオーディオCDレイヤーとCDレイヤーの組み合わせにより2種類のディスクがあります。

- スーパーオーディオCDレイヤー：スーパーオーディオCDの高密度信号層
- CDレイヤー[1]：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層

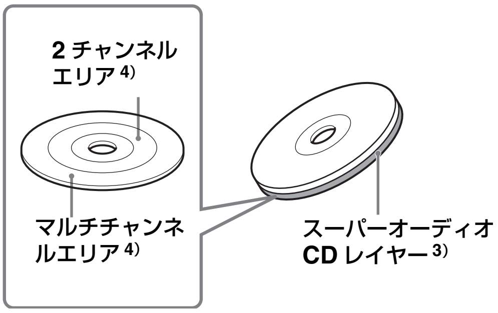
シングルレイヤーディスク
（スーパーオーディオ CD レイヤー単層のみのディスク）



ハイブリッドディスク[2]
（スーパーオーディオ CD レイヤーと CD レイヤーとが 2 層になっているディスク）



またスーパーオーディオCDレイヤーには、2チャンネルエリアとマルチチャンネルエリアがあります。
- 2チャンネルエリア：2チャンネルのステレオ用トラックを記録したエリア
- マルチチャンネルエリア：5.1チャンネルまでのマルチチャンネルトラックを記録したエリア



[1)] CD レイヤーの内容は通常の CD プレーヤーでも再生できます。
[2)] 2 層構成ですが片面読み出しのため、ディスクを裏返す必要はありません。
[3)] レイヤーを選ぶには、「スーパーオーディオ CD の再生エリアを選ぶ」(30 ページ)をご覧ください。
[4)] エリアを選ぶには、「スーパーオーディオ CD の再生エリアを選ぶ」(30 ページ)をご覧ください。

■ タイトル(7、11、37ページ)
DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚(または1曲)にあたる。

■ チャプター(7、11、37ページ)
DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成される。チャプターが記録されていないディスクもある。

■ トラック(8、11、37ページ)
ビデオCD、スーパーオーディオCD、CDまたはデータCD(MP3)に記録されている映像や曲の区切り(1曲分)。

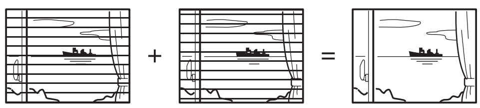
■ ドルビーサラウンド(プロロジック)(19、66ページ)
ドルビーラボラトリーズ社がサラウンド音声のために開発した音声信号の処理技術。入力信号にサラウンド信号があるとき、プロロジック処理をして、フロント、センター、リアに信号を出力する。リアチャンネルはモノラルになる。

■ ドルビーデジタル(20、66ページ)
ドルビーラボラトリーズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。映画館の立体音響システム「ドルビーデジタル」と同様の高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

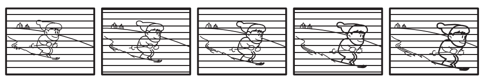
■ ビデオ素材、フィルム素材
DVDの映像素材の種類。ビデオ素材はテレビドラマやテレビアニメーションやコンサートなどの音楽番組(1秒30フレーム、60フィールド)をDVDに記録したもの。フィルム素材とは映画フィルム(1秒24コマ)をDVDに記録したもの。

■ プログレッシブ(順次走査)(63ページ)
映像の1 フレーム（コマ）を2 つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1 フレームを1つの画像で表示する方式。従来のインターレース方式が1 秒を30 フレーム(60フィールド)で構成するのに対して、はじめから、1 秒を60 フレームで構成するため、静止画や文字、横線の多い場面などで高品質な映像を再現できる。
本機は480(525)プログレッシブ方式に対応。

■ プログレッシブ方式への変換方法(63ページ)
- ビデオ素材の変換方法
  ビデオ素材は、フィールドという走査線を1つずつ飛ばした間欠画像を2枚組み合わせて、30フレーム(60フィールド)の画像で1秒の映像を構成しています(インターレース方式)。



インターレース方式の映像は1秒あたり30フレーム(60フィールド)で構成されていますが、1コマ1コマを上記のフィールド画像で構成すると、走査線が目立つ映像になってしまいます。
また、フィールド画像は走査線を1つずつ飛ばした間欠画像のため、画像そのものの情報量が少なくなってしまいます。そのため映像は密度のない、荒いものとなってしまいます。

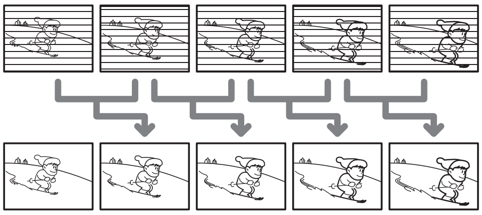


その他

つづく

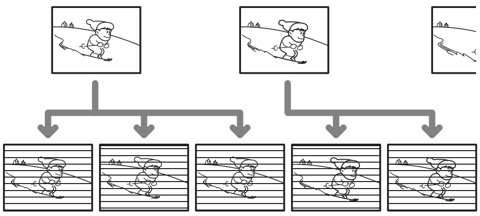
プログレッシブ方式の映像は、1秒あたり60フレームで構成されています。本機では映像の動きを検出して、フィールドやフレーム間での補間方法を動きにあわせて判別し、プログレッシブ方式に変換しています。
例えば、動きのない画像の場合には、前フィールドの画像情報を使って補間します。動きのある映像の場合は、画像の動きを検出して、その動く量に応じて同じフィールドの画像情報を使用し、なめらかな映像になるように補間しています。
このような処理を行うことで、インターレース方式と比較して、高品質なプログレッシブ方式の映像をお楽しみいただけます。

インターレースの画



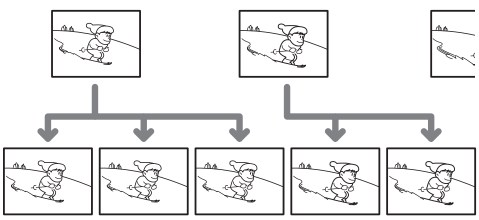
プログレッシブ変換した画

- フィルム素材の変換方法
  フィルム素材は、24コマの画像で1秒の映像を構成してます。通常のテレビでフィルム素材を再生するときは、24コマの画像を、走査線を1つずつ飛ばした間欠(フィールド)画像に分解して表示するため、フィルム素材の持つ本来の情報量を生かすことができませんでした。



インターレースの画

この問題を解決するために、本機では1秒あたり24コマの画像を、3フレームと2フレームずつ交互に割り当てることで、1秒60フレームの画像に変換しています。



プログレッシブ変換した画

この処理を行うことで、フィルム素材本来の原画により近い映像を再現するだけでなく、プログレッシブ方式ならではの密度感の高い、高品質な映像をお楽しみいただけます。

■DTS(20、66ページ)

デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。
全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

■DVDビデオ(4ページ)

CDと同じ直径で最大8時間までの動画が記録できるディスク。
片面1層で4.7GB(Giga Byte)とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できる。
画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」を採用し、映像データを約1/40(平均)に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。
またマルチアングル、マルチランゲージ、視聴年齢制限などさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

■DVD-RW(4ページ)

DVD-RWは、DVDビデオと同じサイズで、記録や書き換えることができるディスク。DVD-RWには、ビデオモード、VRモードという2つの記録モードがある。
ビデオモードは、DVDビデオフォーマットと互換性があるモード。
VR(ビデオレコーディング)モードは、ビデオモードではできない様々な編集や録画が可能。

■DVD+RW(4ページ)

DVD+RWは、DVDビデオと同じサイズで、記録や書き換えることができるディスク。
DVD+RWは、DVDビデオフォーマットと互換性のとれる記録方式を採用している。

■HDMI(ハイディフィニション マルチメディア インターフェース)

ディスプレイ接続技術のDVI(Digital Visual Interface)をAV向けにアレンジ仕様したものです。映像・音声・制御信号をデジタルで伝送できるインターフェースです。

■ID3タグ

ID3タグはMP3音声にあるテキスト情報(トラック名/アルバム名前/アーティスト名など)を表示します。

主な仕様

システム

形式：CD/DVDプレーヤー
信号方式：JEITA標準、NTSCカラー方式

音声特性

周波数特性：DVD VIDEO（PCM 96 kHz再生時）：2 Hz～44 kHz（44 kHz時：－2 dB±1 dB）、スーパーオーディオCD：2 Hz～100 kHz（50 kHz時：－3 dB±1 dB）、CD：2 Hz～20 kHz（±0.5 dB）
信号対雑音比：112 dB
全高調波ひずみ率：
スーパーオーディオCD：0.0008%、
CD：0.0015%
ダイナミックレンジ：
DVD ビデオ：115 dB
スーパーオーディオCD：108 dB
CD：100 dB
ワウ・フラッター：測定限界（±0.001% W PEAK）以下

出力端子

（**端子名**：端子形状/出力レベル/負荷インピーダンス）
DIGITAL OUT OPTICAL：光出力コネクター/－18 dBm（発光波長660 nm）
DIGITAL OUT COAXIAL：ピンジャック/0.5 V_{P-P}/75 Ω
HDMI OUT：タイプA（19ピン）
5.1CH OUTPUT：ピンジャック/2 Vrms/10 kΩ
AUDIO OUT L/R (1、2)：ピンジャック/2 Vrms/10 kΩ
VIDEO OUT（1、2）：ピンジャック/1.0 V_{P-P}/75 Ω
S1 VIDEO OUT（1、2）：4 ピンミニDIN/輝度信号：1.0 V_{P-P}、色信号：0.286 V_{P-P}/75 Ω
COMPONENT VIDEO OUT（Y、P_B/C_B、P_R/C_R）：
ピンジャック/Y：1.0 V_{P-P}、P_B/C_B、P_R/C_R：インターレース*=0.648 V_{P-P}、プログレッシブまたはインターレース**=0.7 V_{P-P}/75Ω
COMPONENT VIDEO OUT（D1/D2）：
D端子/Y：1.0 V_{P-P}、C_B、C_R：
インターレース*=0.648 V_{P-P}、
プログレッシブまたはインターレース**=0.7 V_{P-P}/75 Ω
i.LINK S200（AUDIO） 1/2：4ピン
（最大データ転送速度：200 Mbps）

*　「黒レベルセットアップ」が「入」のとき
**　「黒レベルセットアップ」が「切」のとき

電源、その他

電源：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力：31 W
0.1W（スタンバイ時）
最大外形寸法：430×125×390 mm（幅/高さ/奥行き）
質量：約10 kg
許容動作温度：5～35℃
許容動作湿度：25～80 %

付属品

13ページをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

言語コード一覧表

詳しくは43、44、61ページをご覧ください。
言語名表記はISO639：1988（E/F）に準拠

コード　言語	コード　言語	コード　言語	コード　言語
1027 Afar	1183 Irish	1347 Maori	1509 Somali
1028 Abkhazian	1186 Scots Gaelic	1349 Macedonian	1511 Albanian
1032 Afrikaans	1194 Galician	1350 Malayalam	1512 Serbian
1039 Amharic	1196 Guarani	1352 Mongolian	1513 Siswati
1044 Arabic	1203 Gujarati	1353 Moldavian	1514 Sesotho
1045 Assamese	1209 Hausa	1356 Marathi	1515 Sundanese
1051 Aymara	1217 Hindi	1357 Malay	1516 Swedish
1052 Azerbaijani	1226 Croatian	1358 Maltese	1517 Swahili
1053 Bashkir	1229 Hungarian	1363 Burmese	1521 Tamil
1057 Byelorussian	1233 Armenian	1365 Nauru	1525 Telugu
1059 Bulgarian	1235 Interlingua	1369 Nepali	1527 Tajik
1060 Bihari	1239 Interlingue	1376 Dutch	1528 Thai
1061 Bislama	1245 Inupiak	1379 Norwegian	1529 Tigrinya
1066 Bengali; Bangla	1248 Indonesian	1393 Occitan	1531 Turkmen
1067 Tibetan	1253 Icelandic	1403 ÅiAfanÅjOromo	1532 Tagalog
1070 Breton	1254 Italian	1408 Oriya	1534 Setswana
1079 Catalan	1257 Hebrew	1417 Punjabi	1535 Tonga
1093 Corsican	1261 Japanese	1428 Polish	1538 Turkish
1097 Czech	1269 Yiddish	1435 Pashto; Pushto	1539 Tsonga
1103 Welsh	1283 Javanese	1436 Portuguese	1540 Tatar
1105 Danish	1287 Georgian	1463 Quechua	1543 Twi
1109 German	1297 Kazakh	1481 Rhaeto-Romance	1557 Ukrainian
1130 Bhutani	1298 Greenlandic	1482 Kirundi	1564Urdu
1142 Greek	1299 Cambodian	1483 Romanian	1572 Uzbek
1144 English	1300 Kannada	1489 Russian	1581 Vietnamese
1145 Esperanto	1301 Korean	1491 Kinyarwanda	1587 Volapük
1149 Spanish	1305 Kashmiri	1495 Sanskrit	1613 Wolof
1150 Estonian	1307 Kurdish	1498 Sindhi	1632 Xhosa
1151 Basque	1311 Kirghiz	1501 Sangho	1665 Yoruba
1157 Persian	1313 Latin	1502 Serbo-Croatian	1684 Chinese
1165 Finnish	1326 Lingala	1503 Singhalese	1697 Zulu
1166 Fiji	1327 Laothian	1505 Slovak	
1171 Faroese	1332 Lithuanian	1506 Slovenian	1703 無指定
1174 French	1334 Latvian; Lettish	1507 Samoan	
1181 Frisian	1345 Malagasy	1508 Shona	

地域コード

詳しくは、56ページをご覧ください。

コード　言語	コード　言語	コード　言語	コード　言語
2044 Argentina	2115 Denmark	2304 Korea	2436 Portugal
2047 Australia	2165 Finland	2363 Malaysia	2489 Russia
2046 Austria	2174 France	2362 Mexico	2501 Singapore
2057 Belgium	2109 Germany	2376 Netherlands	2149 Spain
2070 Brazil	2248 India	2390 New Zealand	2499 Sweden
2079 Canada	2238 Indonesia	2379 Norway	2086 Switzerland
2090 Chile	2254 Italy	2427 Pakistan	2528 Thailand
2092 China	2276 Japan	2424 Philippines	2184 United Kingdom

索引

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

A-Z

数字